

若者かしわざき住みたい度調査研究

報 告 書

(その1)

平成19年度柏崎市委託研究

平成20年3月31日

新潟産業大学住みたい度調査研究委員会

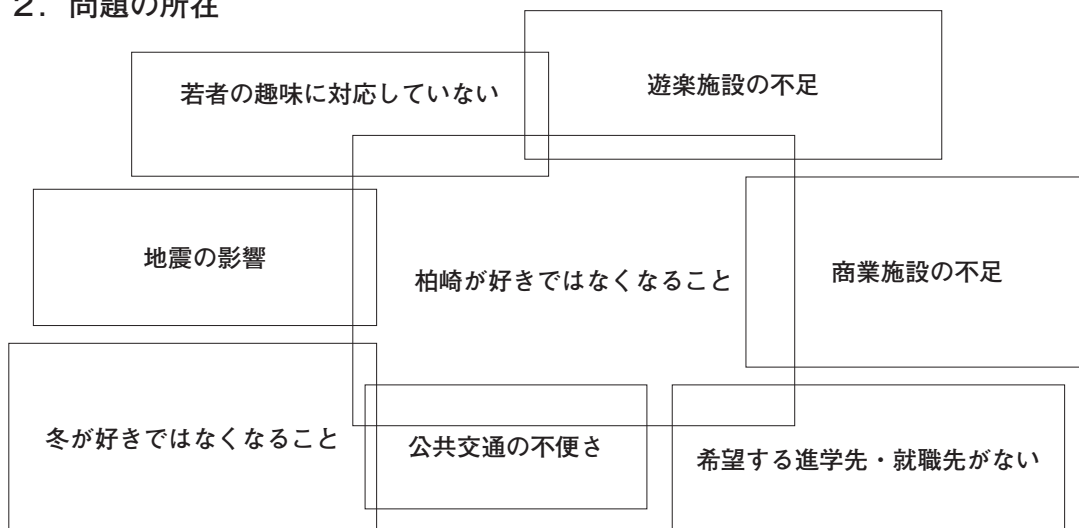
山崎 一輝・江口 潜・山本 康太

若者かしわざき住みたい度調査研究 要旨

1. 目 標

『かしわざき住みたい度を上げること』

2. 問題の所在



相互関連性と循環性（柏崎離れが住みたい度を低下させ、さらに柏崎離れを促進する悪循環）と言う点から、1点のみ解決しても問題解決には至らない可能性が高い。根深い問題と言える。

3. 解決の方向性

- すでに柏崎を離れてしまった若者たちに対して
 - ①魅力的な日帰り里帰りプラン提供（県内転出者むけ）
 - ②デートスポット整備（県内転出者むけ）
 - ③Jターン・Uターン促進
- これから柏崎を出ていこうとしている若者たちに対して
 - ①都会に対する差別化
 - ②都会の現実に対する予備情報
 - ③進路先整備
- 柏崎に残ろうとしている若者たちに対して
 - ①柏崎に自信と愛情を
 - ②青と緑の町づくりに参加
- 親世代・お年寄り・地域の方々に対して
 - ①若者たちとのつながりの強化・意識の転換
 - ②若者好みの町づくり
 - ③地元回帰願望共有
- 柏崎に対して ～モデルエリアの決定・共有
 - ①理想とする町並みのイメージ化
 - ②具体的な先行都市から学ぶ
 - ③柏崎ブランド力測定

4. 住みたい度を向上させるアイデア

(1) 趣味

- スポーツを通じた柏崎への愛着心の向上
- 映画館の誘致や若者向けコンサートの開催

(2) 冬が好きか

■学校教育によるウィンタースポーツの更なる定着 ■面倒な除雪や雪かきのマイナスイメージの排除 ■降雪時の歩道の除雪や歩行者にとって歩きやすい工夫 ■イルミネーションを活用した暖かい雰囲気づくり

(3) 柏崎のメリット

■海を大切にすること ■水のおいしさの魅力アピール ■祭り参加による愛着度の向上
 ■柏崎の良いところのアピール ■イルカウォッチングのWeb活用によるリアルタイム情報発信
 ■パーティー付きサンセットクルージング ■海と商店街を利用した日帰り旅行コースの立案
 ■Webを利用した若い世代からの情報発信 ■柏崎の良いところを紹介しあうプレコンの開催
 ■海の幸を堪能できるバーベキュー料理の提供 ■かしわぎき最適人間空間化計画

■景観スポットに愛称をつけ定着化を図る（思い出の渚、嵐が丘…）

(4) 柏崎のデメリット

■公共交通の充実 ■子どもがバスに乗りたくなるような工夫
 ■歩いて必要な買い物ができること ■商店街近辺に無料駐車場の設置
 ■御用聞き制度の全市的立ち上げ ■潮風による建物の劣化を防ぎ街並の清潔感を保つこと
 ■エコライクな色調による景観の統一 ■アウトレットショッピングモールの設営
 ■商店街の抜本的な再開発 ■自然エネルギー発電
 ■歩行者天国に骨董品やリサイクル品のバザール

(5) 都会と田舎のどちらに住みたいか

■都会への交換留学制度
 ■都市に対する差別化（都市に近づこうとするよりも、住みやすさの差別化を磨き上げる）

(6) 働くことへの意識

■中学・高校での早期インターンシップ制度の確立 ■アパレル企業の誘致

(7) 地震による住みたい度への影響

■超長期かしわぎき景観ビジョン策定
 ■精神的ダメージを受けた人へのカウンセリングの充実
 ■災害に強い町づくり

5. 提 言

- ① 「地贄地奨」をテーマに、柏崎の良いところを紹介しメリットを共有しあうプレコンの開催
- ② 「海と松林」という柏崎が元来持っていた美しい景観の整備と、海の幸を使った柏崎の魅力付け。花がいっぱいの丘と海の町、日本で一番夕日が美しい海…
- ③ 柏崎の文化や風土を活かした街並の整備、手入れの行き届いた建物の保存

6. 施 策

- ① かしわぎきを学ぶ機会充実（各教育機関の連携）
- ② 「若者かしわぎき住みたい度」底上げ具体化（住みたい度ネットワークとデータベース構築）

[目 次]

1. 概 要 編

- (1) 調査目的
- (2) 調査概要

2. 本 編

- (1) 住みたい度に対する総合的な評価
- (2) 重点分析
- (3) その他の項目の分析とクロス集計分析
- (4) 高校ごとの傾向分析
- (5) 市街地の小中学校と郊外の小中学校の傾向分析
- (6) まとめ

3. 資 料 編

1. 概要編

(1) 調査目的

現在、柏崎市では、若者の柏崎離れが深刻化してきている。0歳から24歳までの若年層を過去3年の人口統計で見ると、平成17年22,173人、平成18年21,134人、平成19年5月末21,053人と減少傾向にあるのは明らかである。若者の減少は、現在から未来の柏崎において、若さ溢れる活力の低下や将来世代の更なる減少を引き起こす懸念がある。

しかし、柏崎を離れる若者の中には、風光明媚な郷土である柏崎を愛し、本当は柏崎に住みたいが働く場や商業施設がない、または、将来的には柏崎に住みたいという潜在的居住願望者が存在するはずである。

そこで、若者の潜在的居住願望者の存在を明らかにし、柏崎から離れていく理由である阻害要因を把握する。そして、若者の柏崎離れに関して潜在的居住願望度からみえる現状を分析するとともに、柏崎の既存の観光スポットや施設・海や山などの観光資源・食や地域の文化資源・マリンスポーツ等を再度検証し、若者の視点からみた魅力ならびに価値を向上させるための手段や手法を検討する。また、単なる住みたい度調査ではなく、若者を意識した生活利便性や教養文化性を数値化する調査項目を重点的に分析する。

(2) 調査概要

今回のアンケート調査では、(i)小学生から大学院生までの全数を対象にした調査と、(ii)18歳以上の柏崎に興味のある方を対象にしたインターネット調査という2つの方法を用いてアンケートを実施した。

■調査方法等

調査対象	調査方法	調査期間
小学校1年生～大学院2年生	各学校で実施	平成19年12月17日～平成20年1月28日
18歳以上の柏崎に興味のある方	インターネット調査	平成20年2月14日～平成20年3月10日

(i) 小学生から大学院生までを対象にしたアンケート調査

■調査対象および対象人数

(単位：人)

小学校		中学校	
学 校 名	人 数	学 校 名	人 数
柏崎	504	第一	276
比角	518	第二	216
枇杷島	323	第三	353
半田	434	鏡が沖	329
大洲	163	瑞穂	254
剣野	324	松浜	125
鯨波	80	南	203
上米山	10	東	343
槇原	254	第五	76
日吉	210	北条	76
荒浜	310	高柳	32
新道	308	西山	158
田尻	549	小 計	2,441
北鯖石	194	高 校	
中通	72	学 校 名	人 数
米山	49	柏崎	456
高浜	13	常盤	631
南鯖石	49	柏崎工業	453
鯖石	63	柏崎総合	588
野田	29	新潟産業大学附属	389
北条南	100	柏崎翔洋中等	398
北条北	42	小 計	2,915
高柳	41	大 学	
門出	16	学 校 名	人 数
二田	119	新潟工科大学	1,015
内郷	109	新潟産業大学	675
石地	24		
小 計	4,907	小 計	1,690

■回答者の属性

(単位：人)

小学校			中学校（翔洋1～3年生含む）		
男	女	無回答	男	女	無回答
2,468	2,310	3	1,311	1,257	0
高校（翔洋4～5年生含む）			大学		
男	女	無回答	男	女	無回答
1,267	1,284	1	1,067	137	0

■回収率

配布数	11,953枚
有効回収数	11,105枚
回収率	92.9%

(ii) インターネット調査

当委員会では、市内外に居住する社会人への調査も重要だと考え、ホームページを立ち上げインターネットによるアンケート調査を行った。なお、インターネット調査の注意事項として、回答者の年齢や性別等が全て信頼のおけるものとは限らないことがあげられる。

■回答者数

56名

■回答者の属性

(単位：人)

市内			市外		
男	女	無回答	男	女	無回答
39	3	0	13	1	0

2. 本 編

(1) 住みたい度に対する総合的な評価

当委員会では、若者の柏崎離れが起きている現状を認識する一方で、それに反して、実はかしわざき住みたい度は高いのではないかと考えた。その理由として、①ホクゲン経済研究所が示した住みよさ指標 の生活環境と教養文化部門で柏崎が上位にきていたこと、②車移動を前提にしたとき、広大で無料の駐車場が多いことから買い物の利便性が高いと考えられること、という2点があげられる。

また、上記理由を受けて、柏崎は生活環境もよく、生活利便性も高いので、柏崎を離れる若者の中には、本当は柏崎に住みたいが何らかの理由で柏崎を離れざるを得ない、または、将来的には柏崎に住みたいという潜在的居住願望者が多いのではないかと考えた。

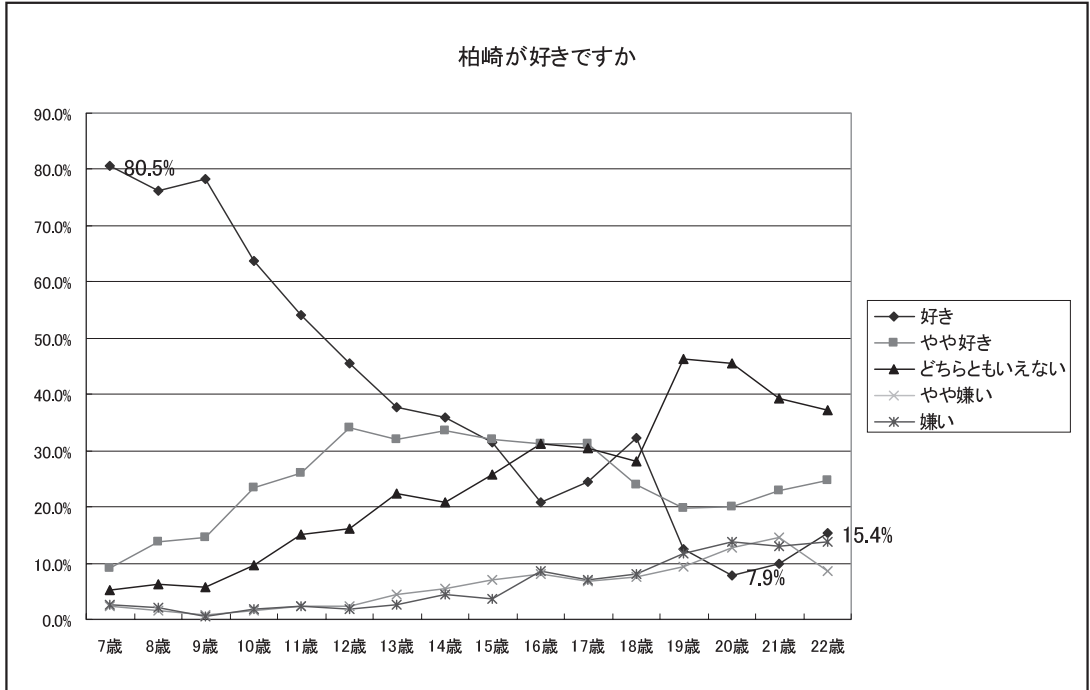
すなわち、現実的住みたい度（現実として柏崎に住むか）と潜在的住みたい度（本当は住みたい、または将来的に住みたい）の間には大きなギャップが存在し、現実的住みたい度を低下させている阻害要因を探り、それを解決することで現実的住みたい度を向上させることができ、若者の柏崎離れを止めることができると考えた。

そこで、本調査研究では、「柏崎が好きか（資料編 共通インデックス（17）参照）」という質問の回答を現実的住みたい度の指標とし、また、「将来柏崎に住みたいと思うか（資料編 共通インデックス（18）参照）」という質問の回答を潜在的住みたい度の指標として捉えた。年齢による住みたい度の変化を探るべく、7歳から22歳までの推移表を作成し分析を行った。

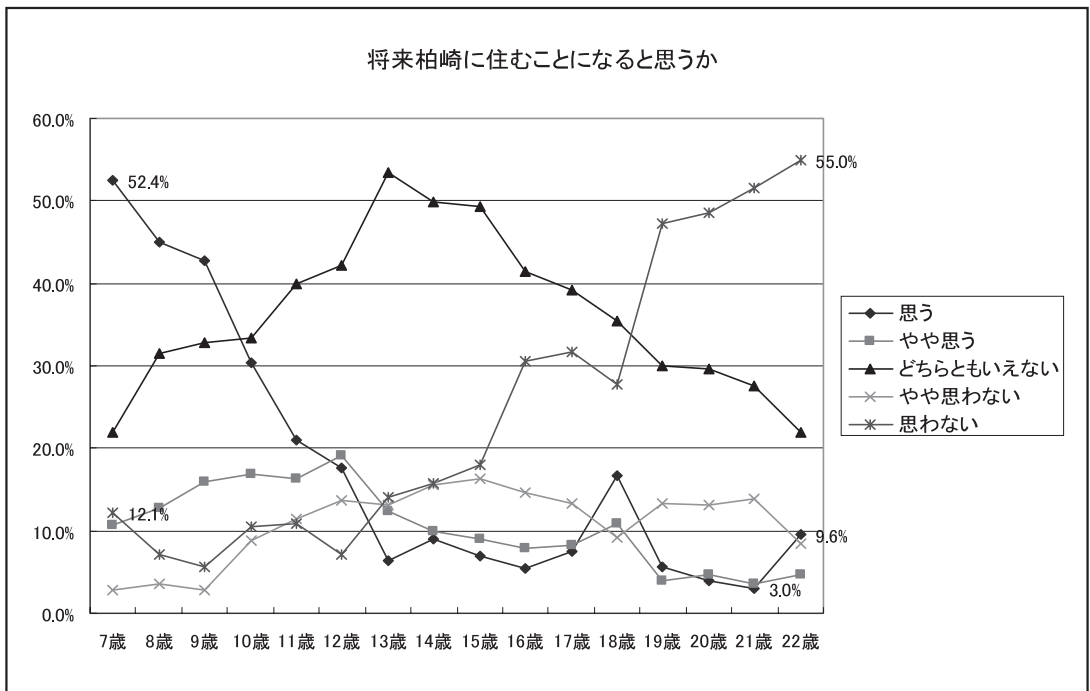
まず、現実的住みたい度について、「柏崎が好きだ」という回答は7歳の80.5%をピークに下降を始め、最終的に22歳では若干持ち直すものの15.4%まで下落している（図1-1）。このことから、現実的住みたい度は年齢上昇とともに著しく下降するといえる。なお、男女の違いにおける現実的住みたい度の変化に有意な差は見られなかった。

次に、潜在的住みたい度について、「将来柏崎に住むと思う」という回答は7歳の52.4%をピークに下降を始め、最終的に22歳では9.6%まで下落している（図1-2）。このことは、現実的住みたい度と同様に、潜在的住みたい度も年齢上昇とともに著しく下降するといえる。さらに、潜在的住みたい度の特徴として、「将来柏崎に住むと思わない」という回答が年齢上昇とともに著しく増加していることが確認された。なお、男女の違いにおける潜在的住みたい度の変化に有意な差は見られなかった。

以上のことから、現実的住みたい度および潜在的住みたい度は年齢上昇とともに下降し、二つが同じような変化をすることから両者の間に大きなギャップを認めることはできず、現状のままでは柏崎の若者離れは深刻化する一方である。



(図1-1)

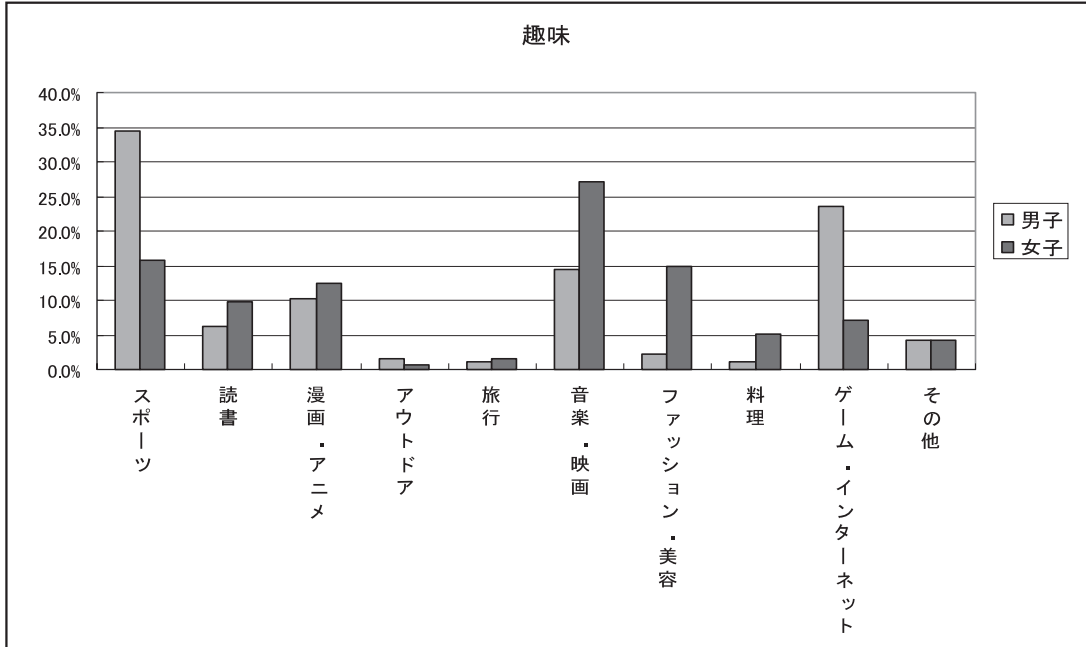


(図1-2)

(2) 重点分析

以下では、①趣味、②冬が好きか、③柏崎のメリット、④柏崎のデメリット、⑤都会と田舎のどちらに住みたいか、⑥若者の働くことへの意識、⑦地震の影響という7点を重点分析していく。

① 趣味から見た若者の実態



(図2-1)

ここでは、年齢推移表を基に、10歳から22歳までの趣味（資料編 共通インデックス（8）参照）を男女別に集計した（図2-1）。

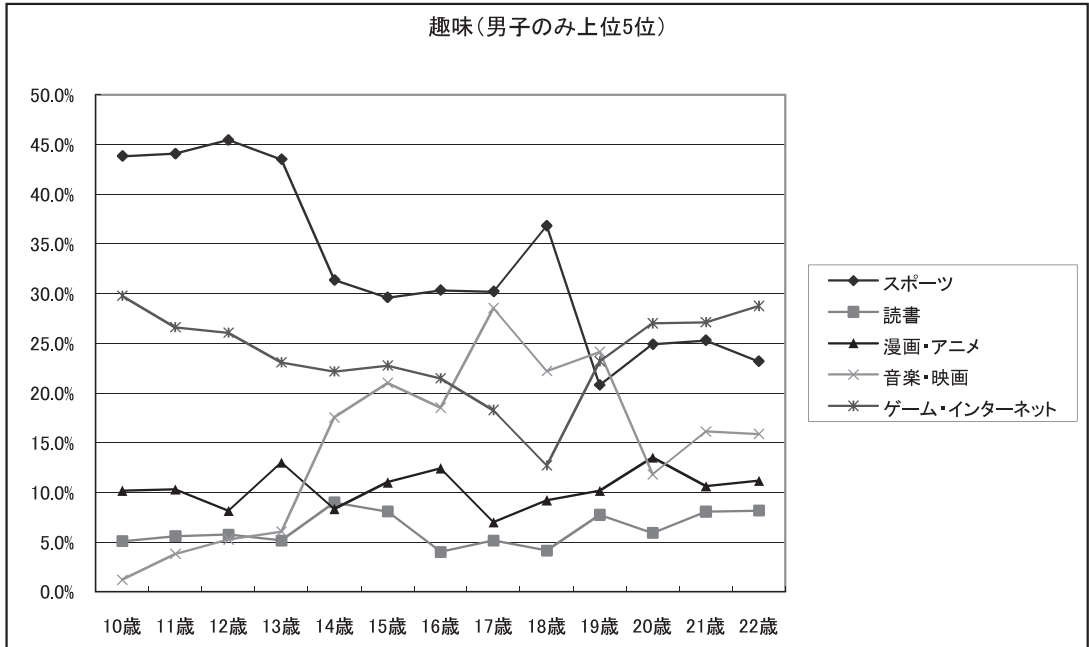
まず、全体として、スポーツという回答が2,266人（26.1%）で1位であった。以下、音楽・映画1,741人（20.1%）、ゲーム・インターネット1,407人（16.2%）と続く。

また、男子は「スポーツ」と答えた割合が高いのに対し、女子は「音楽・映画」と答えた割合が高くなっている。

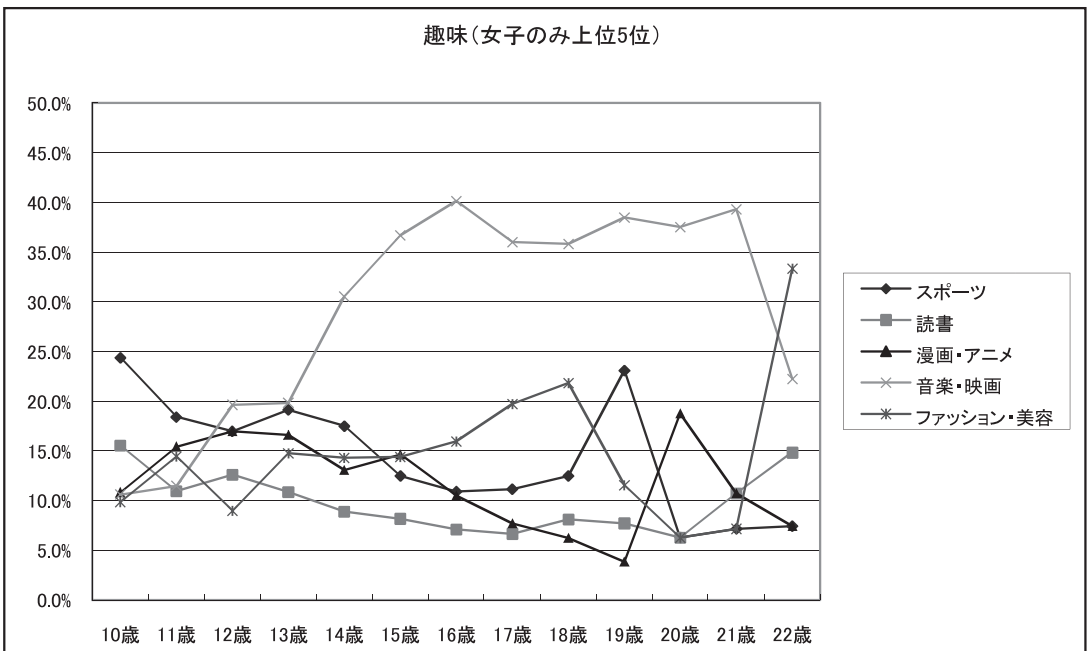
次に、男女における趣味の違いを年齢の推移とともに見ていく（図2-2、2-3）。なお、グラフの簡素化のため上位5位までを表示している。

男子については、10歳から13歳まではスポーツという回答が40%を超え圧倒的に多いことがわかる。年齢上昇とともに徐々に下降するが、男子全体としては34.4%で1位であった。これに代わって14歳以降は音楽・映画という回答が台頭し、19歳ではスポーツを抑え24.2%でトップになっている。男子全体としては14.4%で3位であった。また、男子においては、ゲーム・インターネットという回答が上位で推移していることも特徴としてあげることができる。

女子については、音楽・映画という回答が多く女子全体で27.2%と1位であった。特に14歳からの伸びが大きく16歳では40%を超えている。その後も21歳まで35%を超えるところで推移してい



(図2-2)



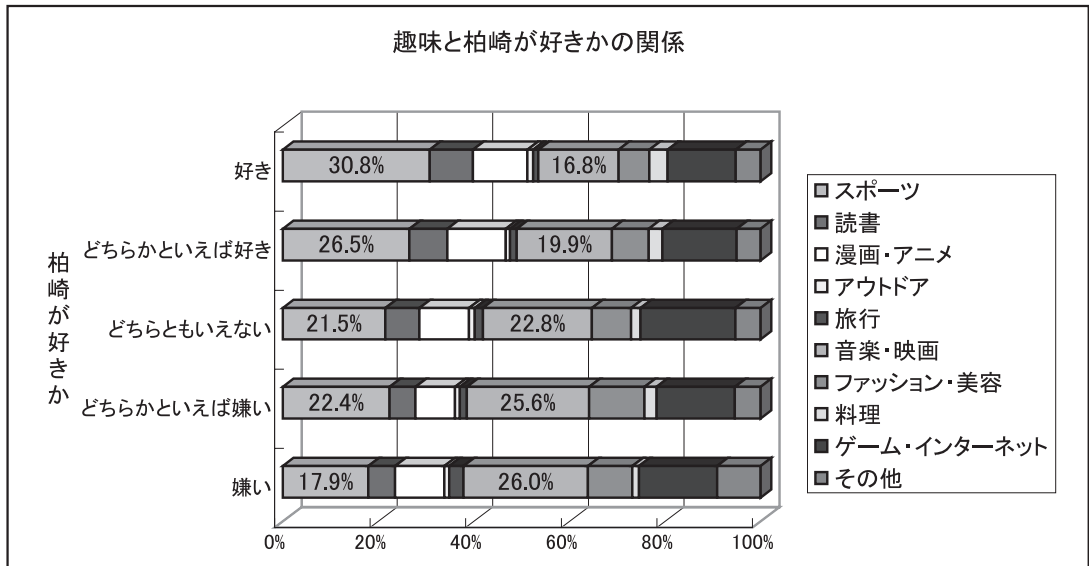
(図2-3)

る。これは女子における特徴的なものとして捉えることができる。

また、「趣味」と「柏崎が好きか嫌いか」というアンケート結果のクロス集計を行った(図2-

4)。特徴的なのは「スポーツ」と「音楽・映画」の動き方である。「柏崎が好き」と答えた人の趣味の多くは「スポーツ」であった（30.8%）。その割合は、「柏崎が嫌い」という答えに向かうに従って低くなっている。

一方で、趣味が「音楽・映画」という人はそれとは対照的な動きを見せる。「柏崎が好き」で、かつ趣味は「音楽・映画」と答えた人の割合は16.8%であった。しかし、「柏崎が嫌い」という答えに向かうに従ってその割合は増加し、「柏崎が嫌い」との答えでは26.0%を占めることになる。



(図2-4)

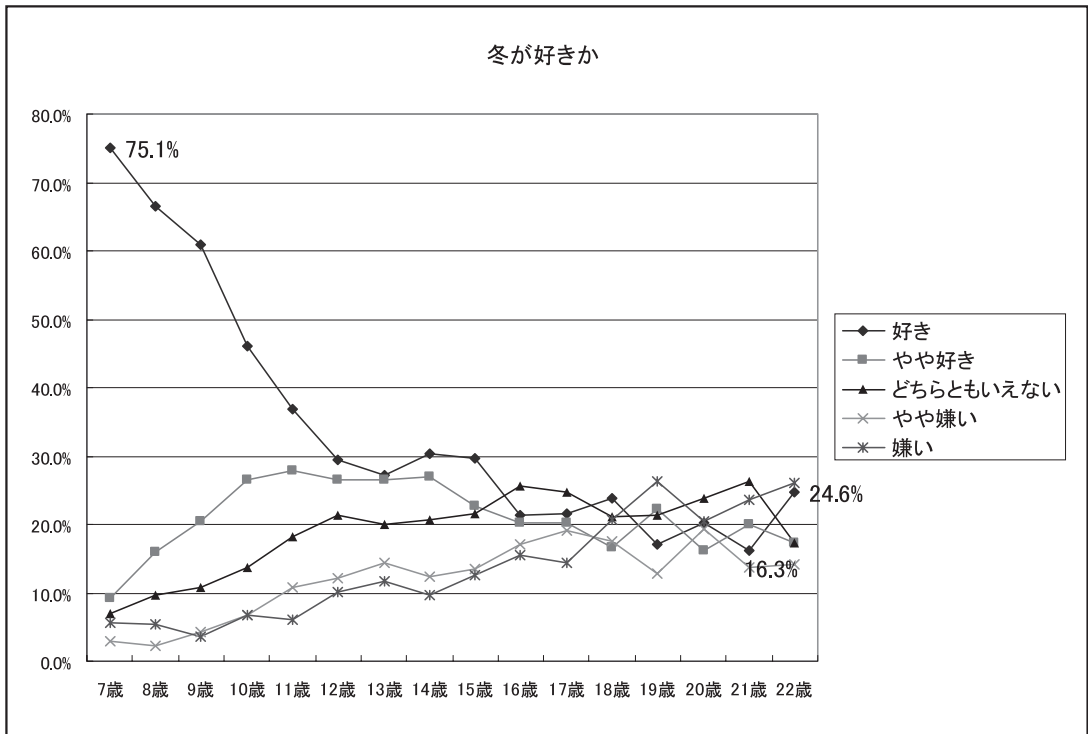
この結果を踏まえ、柏崎の施設状況を勘案すると、柏崎には総合体育館、アクアパーク、少年広場等のスポーツ施設が多いため、スポーツを趣味とする人の満足度が高く柏崎が好きという気持ちに帰結すると推測される。一方で、柏崎には映画館や音楽を楽しむ場所及び機会が少なく、音楽・映画を趣味とする人の満足度が低く柏崎が好きという気持ちに結びつかないと推測される。

▼住みたい度を向上させるアイデア

以上のことから、住みたい度を向上させるアイデアとして、

- 全体としてスポーツを趣味としてあげる人が多いことから、市や各種スポーツ協会の協力のもと、スポーツ人口の更なる拡大を行い、スポーツを通して柏崎への愛着心を高めていく。
- 女子については、音楽・映画を趣味としてあげる人が多いことから、映画館の誘致や若者向けのコンサートを開催する。また、若者向けコンサートの開催に伴い、柏崎芸術協会が行っている会員制チケット販売方法を見直し、一般であってもチケットを購入できる道をつくる。例えば、会員価格と一般価格を設定し、一般価格は会員価格に比べ割高にするといった工夫を行う。ということがあげられる。

② 「冬が好きか」から見た若者の実態



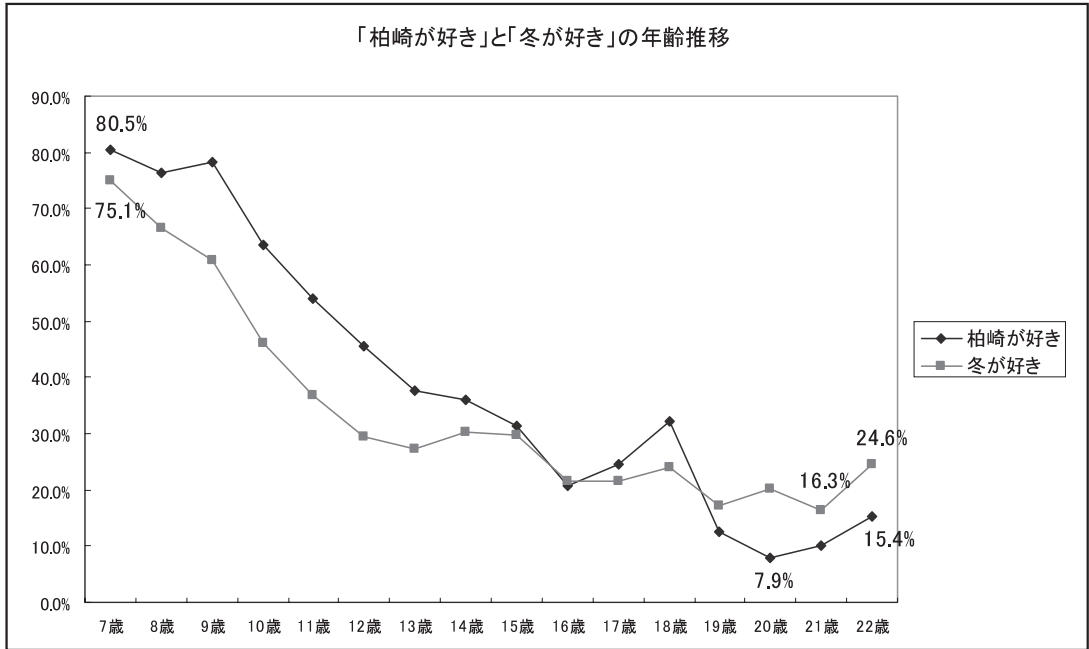
(図2-5)

ここでは、年齢推移表を基に、「冬が好きですか（資料編 共通インデックス（16）参照）」という質問の回答を7歳から22歳まで年齢順に並べたものをグラフ化した（図2-5）。

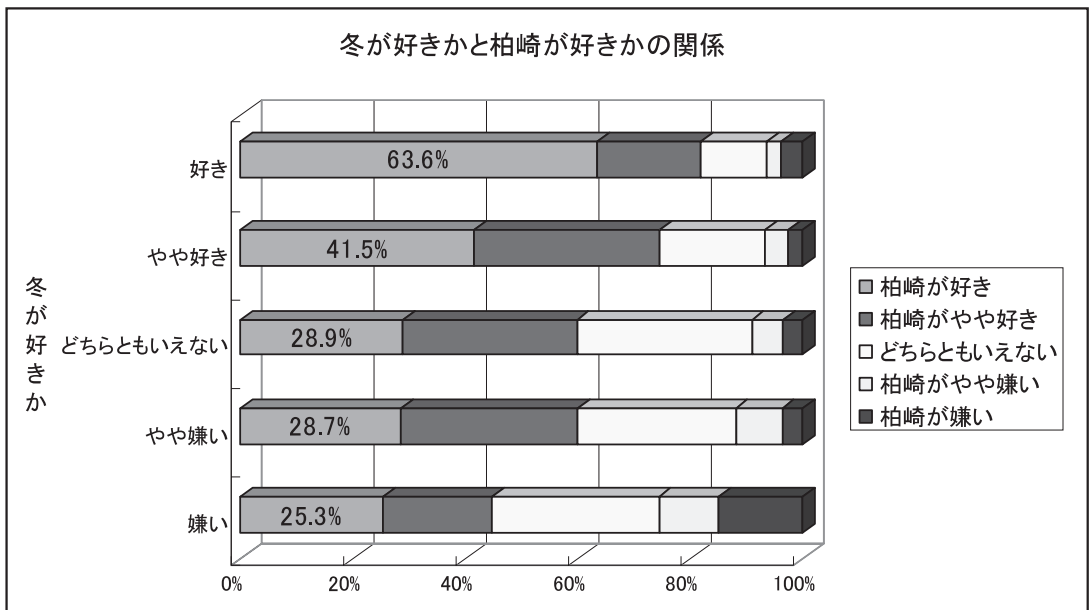
「冬が好き」という回答は7歳の75.1%をピークに下降傾向を見せる。21歳で最低値の16.3%となるが、22歳では持ち直し24.6%となった。

注目すべき点は、「冬が好き」という回答の年齢推移と、「柏崎が好き」という回答の年齢推移が似ていることである（図2-6）。

両者の関連性に着目し、「冬が好きか」と「柏崎が好きか」のクロス集計を行った（図2-7）。



(図2-6)



(図2-7)

「冬が好き」と答えた人が「柏崎が好き」と答えた割合は63.6%と高く、「冬が嫌い」という回答になるに従って「柏崎が好き」と答える割合は減少する。この結果から、冬が好きな人ほど柏崎が好きであるといえ、「冬が好き」ということが「柏崎が好き」ということに大きな影響を与えてい

ると推測される。すなわち、冬を楽しく、良いイメージにすることがかしわぎ住みたい度を向上させることにつながってくる。

▼住みたい度を向上させるアイデア

以上のことから、かしわぎ住みたい度を向上させるアイデアとして、

■学校教育によってスキーやスノーボードといったウィンタースポーツの更なる定着をはかる。

例えば、スキー教室を最終目標として、それまでに毎週高柳スキー場でスキー授業を実施する。

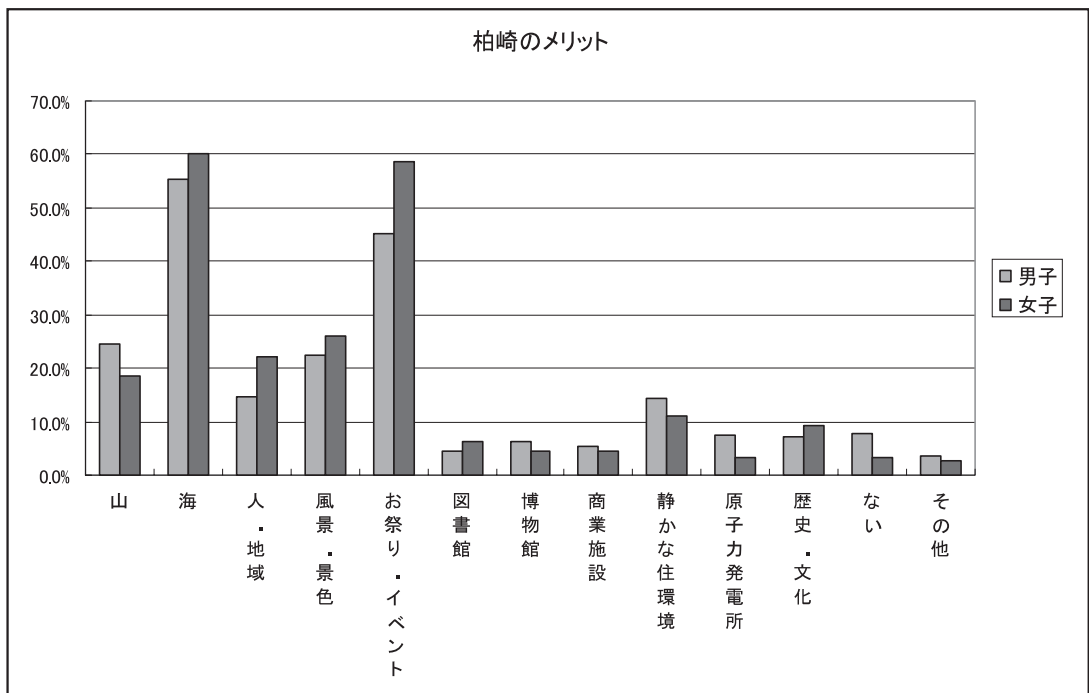
■冬特有の面倒な除雪や雪かき作業に誘引を与え、マイナスイメージを排除する。例えば、除雪や雪かきのボランティアに対し、市がポイントカードを作成し、ポイントが貯まると高柳スキー場のリフト券と交換できるようにする。

■市や町内会の協力のもと、雪が降ったときの歩道の除雪や歩行者にとって歩きやすい工夫を講じる。

■街や商店街がイルミネーションを活用して暖かい雰囲気をつくる。

ということがあげられる。

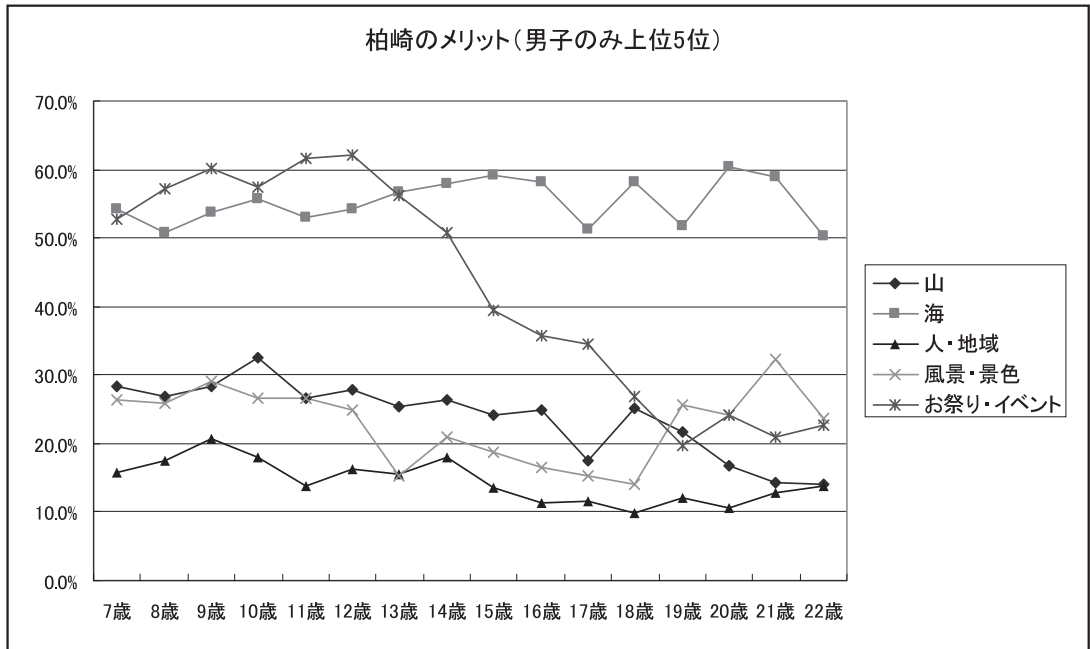
③ 柏崎のメリットから見た若者の実態



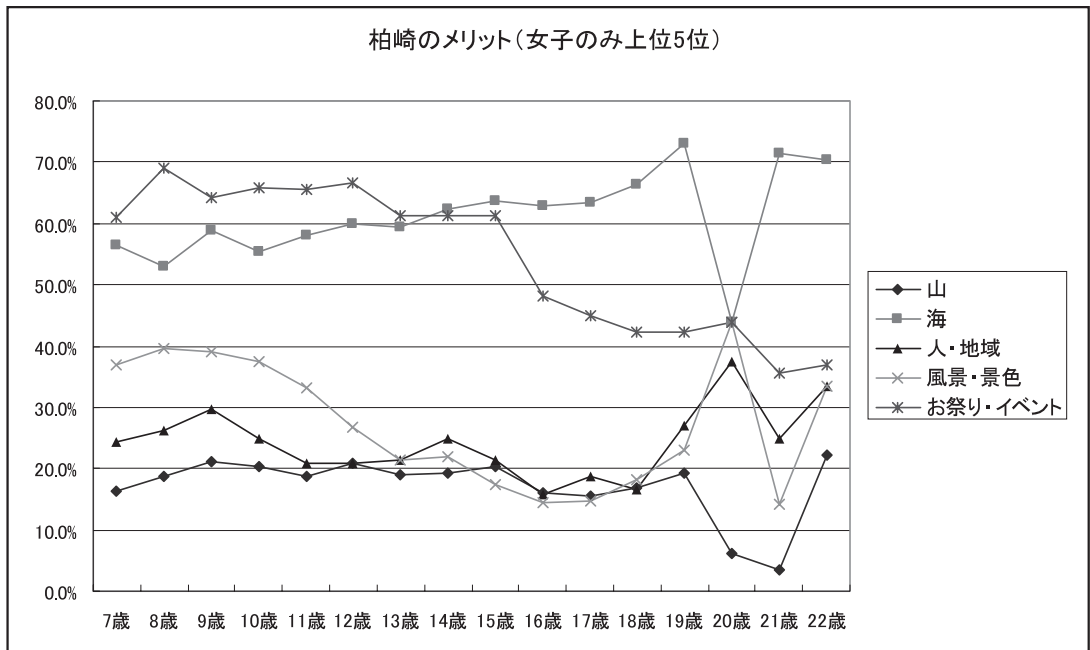
(図2-8)

ここでは、年齢推移表を基に、7歳から22歳の若者が選んだ柏崎の良い所（資料編 共通インデックス (29) 参照）を男女別に集計した（図2-8）。（なお、この質問は3つまで選択することが可能である。）

男女ともに「海」という回答が一番多い割合を占めた。次に「お祭り・イベント」が続いている。特徴としては、回答がこの2つに多く集中していることがあげられる。



(図2-9)

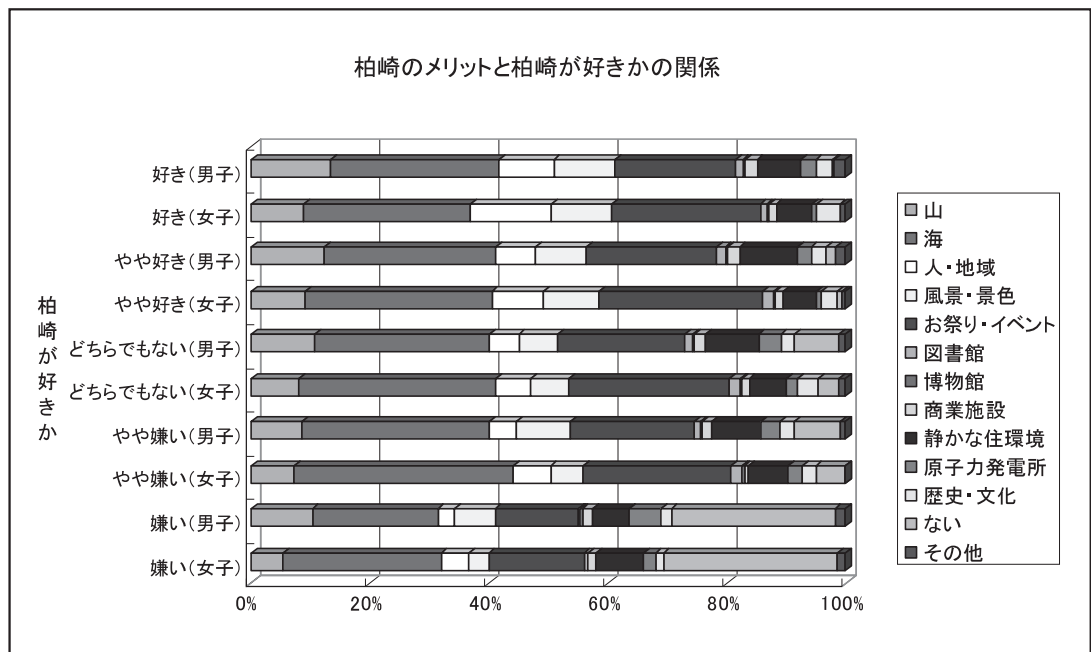


(図2-10)

次に、これを男女別に年齢の推移で見ていく（図2-9、2-10）。なお、グラフの簡素化のため上位5位までを表示している。男女ともに柏崎のメリットは「海」と答えた割合が高い位置で推移している。一方で「お祭り・イベント」は男女ともに一定の年齢に達すると下降傾向が見られる。女子は男子に比べ下降曲線が若干緩やかに推移する。

次に、「柏崎の良いところはどこか」という質問と、「柏崎が好きか」という質問のクロス集計を行った（図2-11）。ここでは中高生に絞り男女別で集計を試みた。

これによって中高生の男女ごとに、「柏崎の好き・嫌い」と「柏崎のどのようなところを良いと思っているか」という関係がわかる。それによって、柏崎のことが好きな人は「どこが良くて好き」なのか、柏崎が好きな人と嫌いな人の違いは何なのかがわかる。



(図2-11)

この結果から、柏崎が好きであるか嫌いであるかを問わず、「海」という回答が多いことが確認できる。また、「柏崎が好き」と答えた中高生で「良いところ」として選んだ人が多いのが「祭り」である。

一方、「柏崎が嫌い」という中高生の多くが、良いところが「ない」と答えている。

▼住みたい度を向上させるアイデア

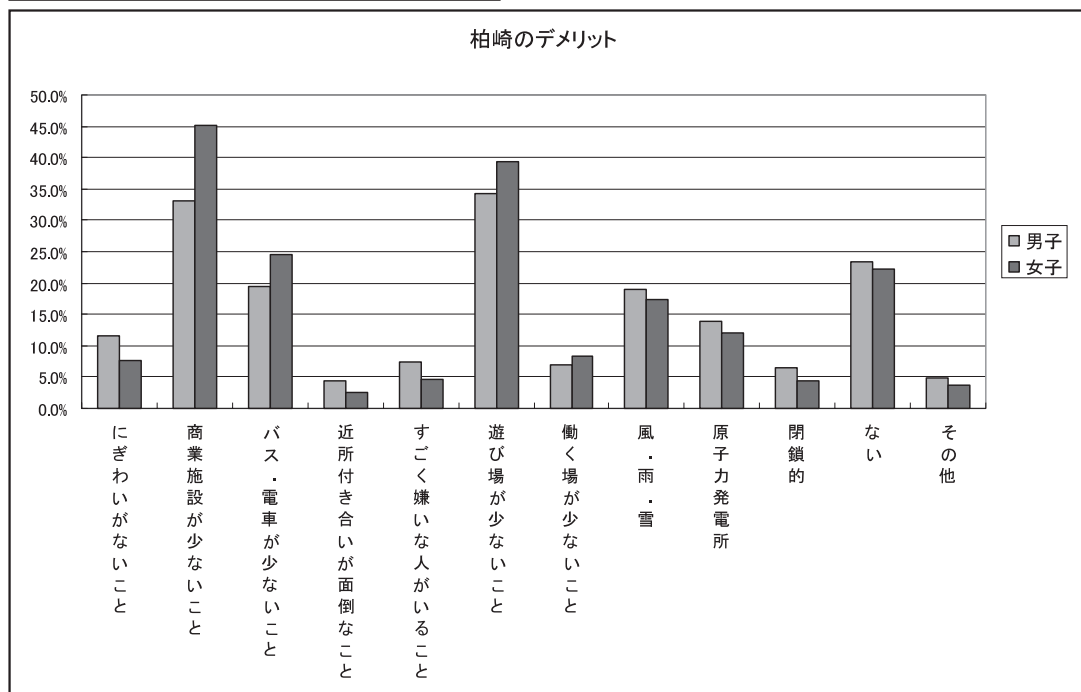
以上のことから、かしわざき住みたい度を向上させるアイデアとして、

■柏崎は、海を大切にすべき（中高生は、柏崎の海のことは良いと思っている。）

■水のおいしさの魅力をアピールする。

- 柏崎が好きな中高生は、「祭り」が好き。したがって、小学生、中学生、あるいは高校生のうちに柏崎の祭りに触れさせることは、若者の柏崎への愛着心を強くする可能性があり、推奨される。
- 一方、柏崎を嫌い、という中高生は、柏崎の良いところを「ない」と答えている。したがって、柏崎の「よいところ」というものを、より強く、小中学生、高校生にアピールする（教育活動等の場でアピールする、訴えかける）ことは、若者の柏崎愛を涵養する上で必要であると考えられ、推奨される。
- イルカウォッチングにおいて、受付窓口である夕海のホームページを作成し、イルカ目撃情報及びイルカが見られそうかといった情報発信やインターネットでの予約受付をすることで、一層客足の伸びが期待できる。
- 日本海側は夕日を見ることができ、これを観光資源として有効活用する。例えば、「はまなす」でサンセットクルージングをしながら食事やお酒を楽しめるパーティーコースをプランニングする。
- 市や観光協会の協力のもと、イルカウォッチングをして商店街で昼食、買い物をして夕方には夕日を見に行くという日帰り旅行コースのプランニングをする。
- 市・教育機関・商工会・学生などの協力のもと「かしわぎきの何でもデータベース」というホームページを開設し、若い世代からの情報発信を行う。
- 柏崎の良いところを紹介しメリットを共有しあう目的のプレゼン・コンテストを開催する。「未来かしわぎきプレコン」と銘打って、地賛地奨をテーマに柏崎の良いところを探し出し、磨き上げ、アイデアを出し合う。
また、コンテストの前段階として、小中高大の生徒たちの情報教育の授業にも組み込んでもらい、全員参加型の柏崎プレゼンをホームページに掲載する。そこでカウントの高かった人をコンテスト参加資格者とする。
コンテストは市当局だけではなく、大学や商工会議所や企業の方々から後援していただき華やかな催しとすることができれば話題性もあり、柏崎のメリットの掘り起こしとしてもうまくいく。
- 海岸線に並行する松林を整備し、「海と松林」という景観の良さをつくりあげる。そして、風の丘など景観の良い所で、海の幸を用いたバーベキューを提供できるようにする。
- かしわぎき最適空間化計画
- 景観スポットに愛称をつけ定着化を図る。例えば「思い出の渚」や「嵐が丘」といったもの。ということがあげられる。

④ 柏崎のデメリットから見た若者の実態



(図2-12)

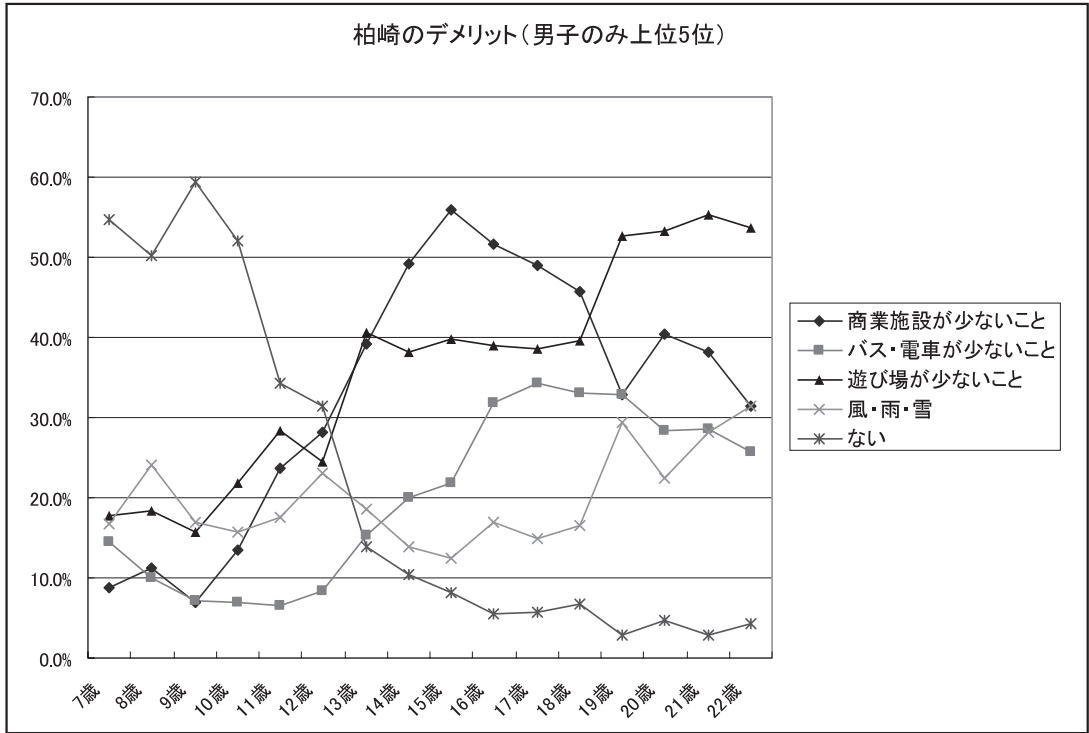
ここでは、年齢推移表を基に、7歳から22歳までの若者が選んだ柏崎の悪いところ（資料編 共通インデックス（30）参照）を男女別に集計した（図2-12）。（なお、この質問は3つまで選択することが可能である。）

男女別に見ると、男子の上位は「遊び場が少ないこと」34.2%、「商業施設が少ないこと」33.0%、「ない」23.4%と続く。一方、女子の上位は「商業施設が少ないこと」45.0%、「遊び場が少ないこと」39.4%、「バス・電車が少ないこと」24.6%と続く。

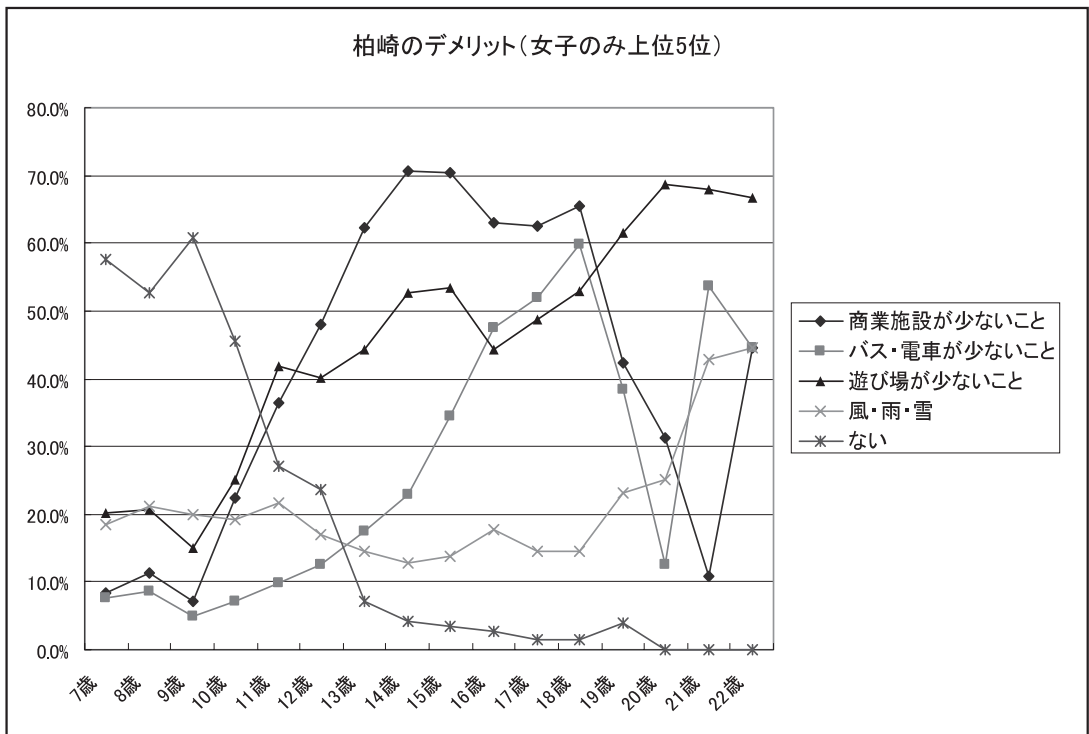
次に、これを男女別に年齢の推移で見ていく（図2-13、2-14）。なお、グラフの簡素化のため上位5位までを表示している。

男女ともに、「ない」という回答は7歳から11歳までに集中しており、その後はかなり低い位置で推移している。

女子において顕著なのは、16歳から18歳で「バス・電車が少ないこと」を選んだ割合が46.7%、52.0%、59.8%と急激に高くなっていることである。



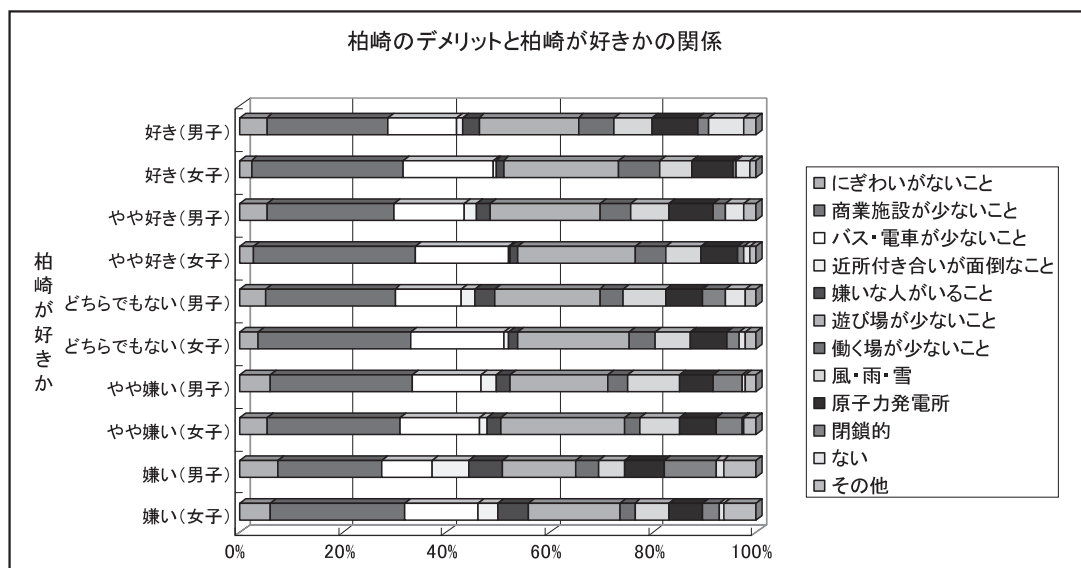
(図2-13)



(図2-14)

次に、「柏崎の悪いところはどこか」という質問と、「柏崎が好きか」という質問のクロス集計を行った（図2-15）。ここでは中高生に絞り男女別で集計を試みた。

これによって中高生の男女ごとに、「柏崎の好き・嫌い」と「柏崎のどのようなところを悪いと思っているか」という関係がわかる。それによって、柏崎のことが嫌いな人は「柏崎のどこが嫌い」なのか、あるいは柏崎が好きな人でも柏崎のどこが嫌いなのがわかる。



(図2-15)

この結果から、柏崎が好きな中高生も、「買い物ができるお店が少ない」「遊ぶところが少ない」ということを指摘していることがわかる。また、女子が「電車やバスの本数が少ない」ということを悪い点として指摘している。

したがって、この結果に従うならば、「電車とバスの便」という部分が、柏崎の女子中高生を柏崎に引きとどめるための「改善すべき点」ということになる。(なお、ここでの電車やバスの便、というのが、柏崎市内の移動のためのバスや電車の便、なのか、それとも柏崎と長岡や新潟などとの間の移動のためのバスや電車の便なのか、ということは今回のアンケートでは分からない。)

▼住みたい度を向上させるアイデア

以上のことから、かしわぎき住みたい度が向上するアイデアとして、

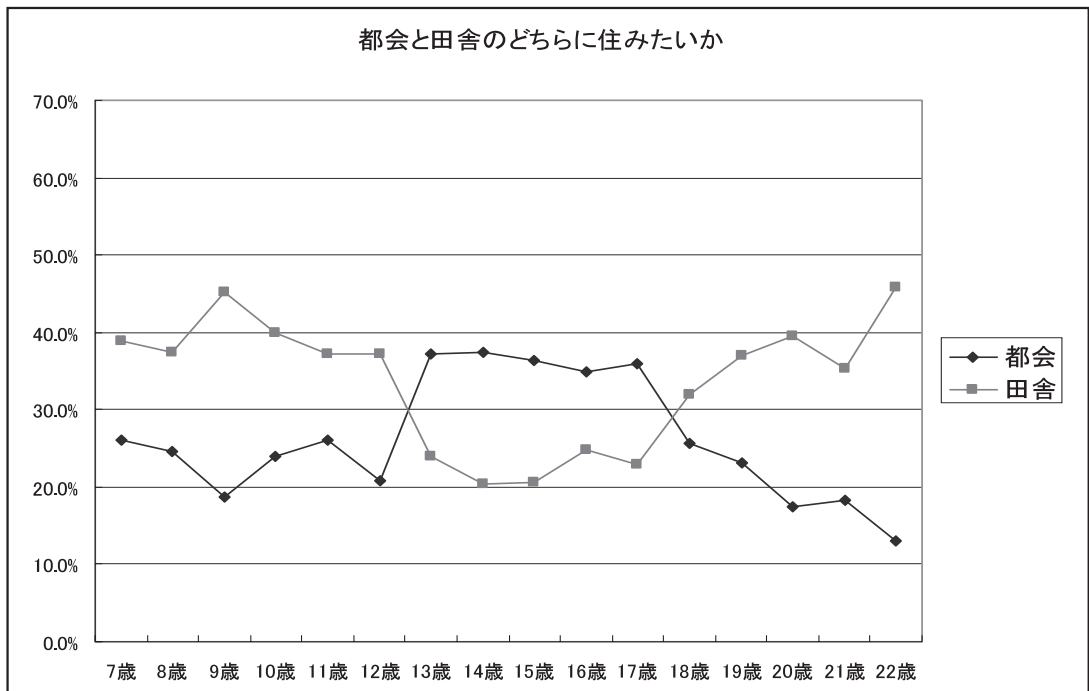
- 公共交通の充実をはかる。
- バスの車体を路線別に色分けするなど子どもがバスに乗りたくなるような工夫をする。
- コンパクトシティ化により歩いて必要な買い物ができるようにする。その際、悪天候のことも考えると、歩行者のみが歩けるショッピングモールが必要である。
- コンパクトシティ化を一歩進めて、お年寄りの生活利便性を促進する意味で、御用聞き制度を系統的に町ぐるみで立ち上げる。少なくとも町の中は、安全で環境負荷の低い物流を、他

市に先駆けて長期的にプランニングする。

- 柏崎は無料駐車場が多いため、商店街近くに無料駐車場が必要である。無料駐車場に車が置ければ商店街を歩いて回遊することができる。
- 商業施設の充実をはかる際は、エコライクな色調で、建物や構築物の景観を統一し、花や植栽を奨励することで町並みのバランスを保つ。
- 柏崎は潮風の影響によって建物の劣化（サビやカビ）が早く進むことから、新しい建物にはサビやカビに強い建材を使用し、清潔感を保つことが必要である。
- 日石跡地か小松エスト跡地に、新潟県初のアウトレットショッピングモールを設営する。海や自然と共生するオシャレな雰囲気とし、柏崎の魅力の核となるものにする。
- 東柏崎駅を若者の情報共有スペースとして再利用し、買い物情報やクーポンを置く。また、商店街を抜本的に再開発し、若者をターゲットにした商店づくりを進める。若者が諏訪町通り商店街～東本町通り商店街～駅前通り商店街を回遊し、上記に示したアウトレットモールにたどり着くようなコースを設定する。その際、各商店街に若者が集まるような仕掛けをつくり、楽しく歩けるような工夫が必要である。
- さらなる未来のエネルギーとして、エコライクな自然エネルギーを重視する。
- 歩行者天国を開催し、その中で骨董品やリサイクル品を多く揃えたバザールを行う。

ということがあげられる。

⑤ 「都会と田舎のどちらに住みたいか」から見た若者の実態



(図2-16)

ここでは、年齢推移表を基に、「都会と田舎のどちらに住みたいか（資料編 共通インデックス(19) 参照）」という質問の回答を7歳から22歳まで年齢順にしてグラフ化した（図2-16）。なお、都会か田舎かの区別をわかりやすくするため、このグラフには他の選択肢項目「わからない」及び「どちらでもいい」は含めなかった。

7歳から12歳までは都会よりも田舎に住みたいと思う人が多い。しかし、13歳で逆転し都会に住みたいと思う人が増加する。この傾向は17歳まで続いている。18歳からは再び田舎に住みたい人が増加し、都会に住みたいと思う人を追い越している。

これを男女別に見ても同じ傾向をたどることがわかる（図2-17、2-18）。しかしながら、都会に住みたいと思う人が増加する13歳から17歳の間において、男子に比べ女子の方が都会派と田舎派の乖離が小さいことから、女子の方が田舎に住みたいと思う傾向がやや強いことが推測される。

この結果から、中高生は都会に住みたいと思っている割合が高く、次の進路を決める年代であることから、柏崎を離れ、都会に住みたいと望んでいることがわかる。

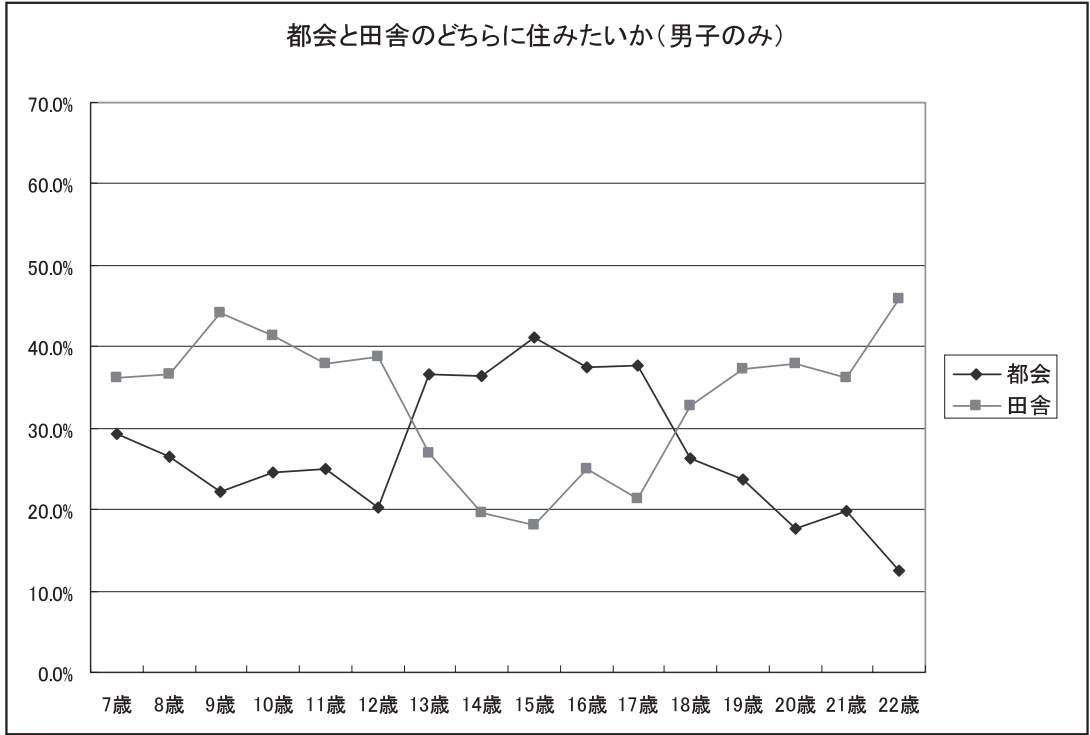
▼住みたい度を向上させるアイデア

以上のことから、かしわざき住みたい度を向上させるアイデアとして、

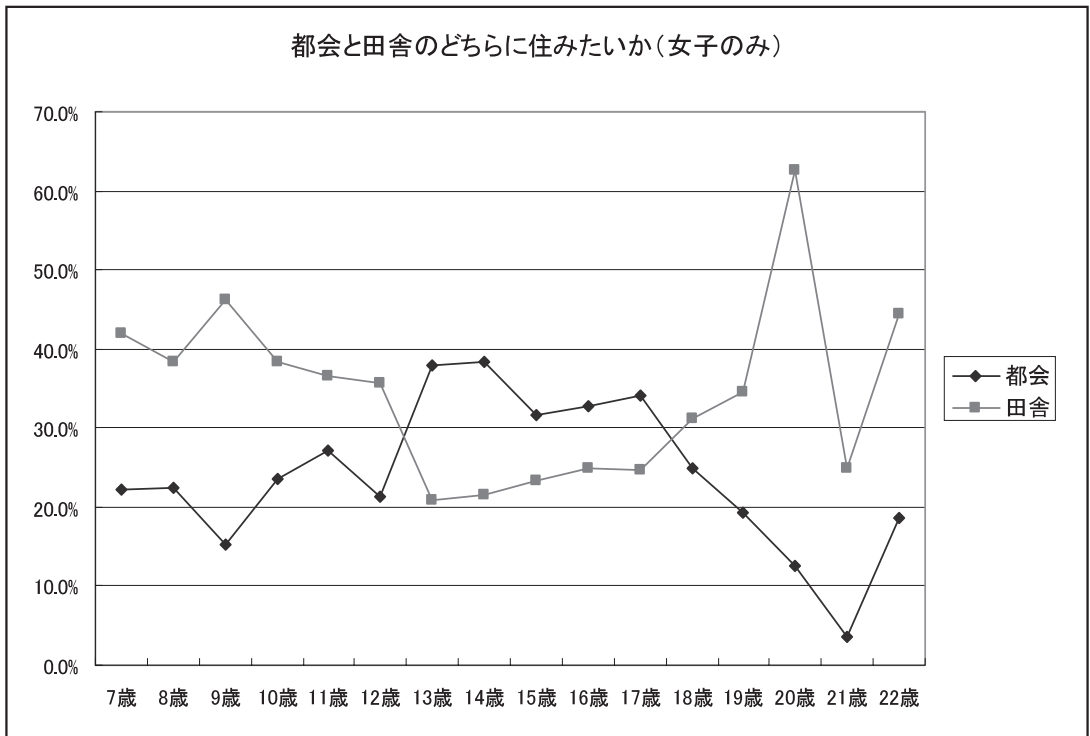
■中学または高校のカリキュラムとして、東京などの都会へ交換留学生として一定期間留学させる。柏崎を長期離れ違った目線で柏崎を見ることで、柏崎の良さに気付くことができる。また東京からきた生徒には田舎暮らしの良さを伝えることができる。学校や市・教育委員会、県などの援助を受け、姉妹都市である東村山市の中高生との交流を行う。

■都市に対する差別化を行う。都市に近づこうとするよりも、柏崎の住みやすさを磨き上げ差別化を図る。

ということがあげられる。

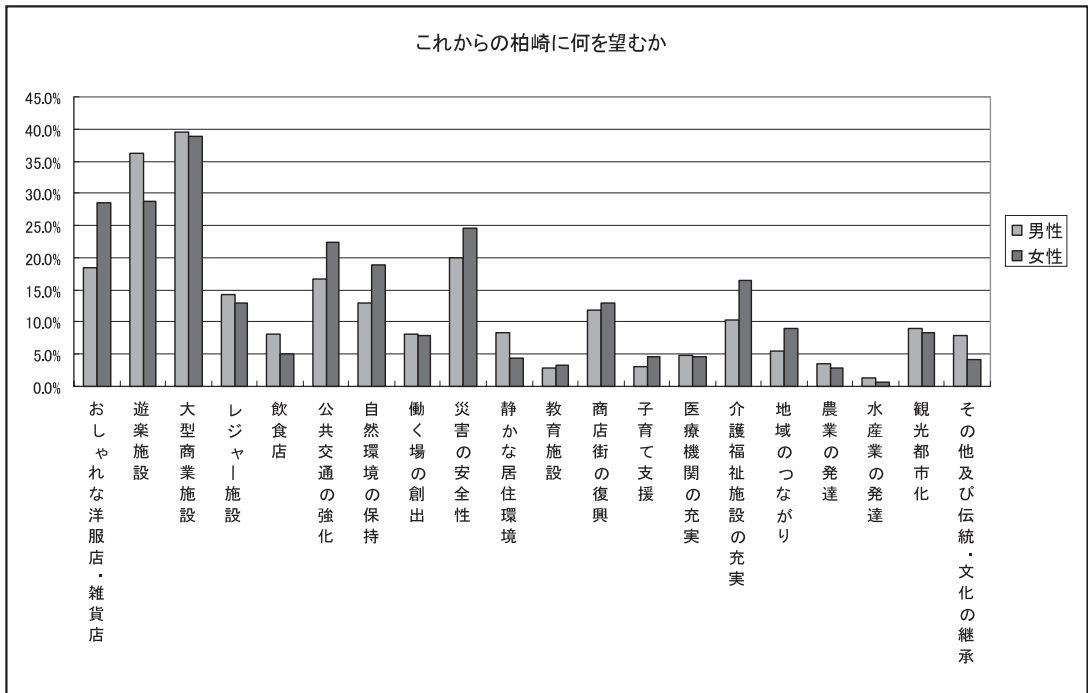


(図2-17)

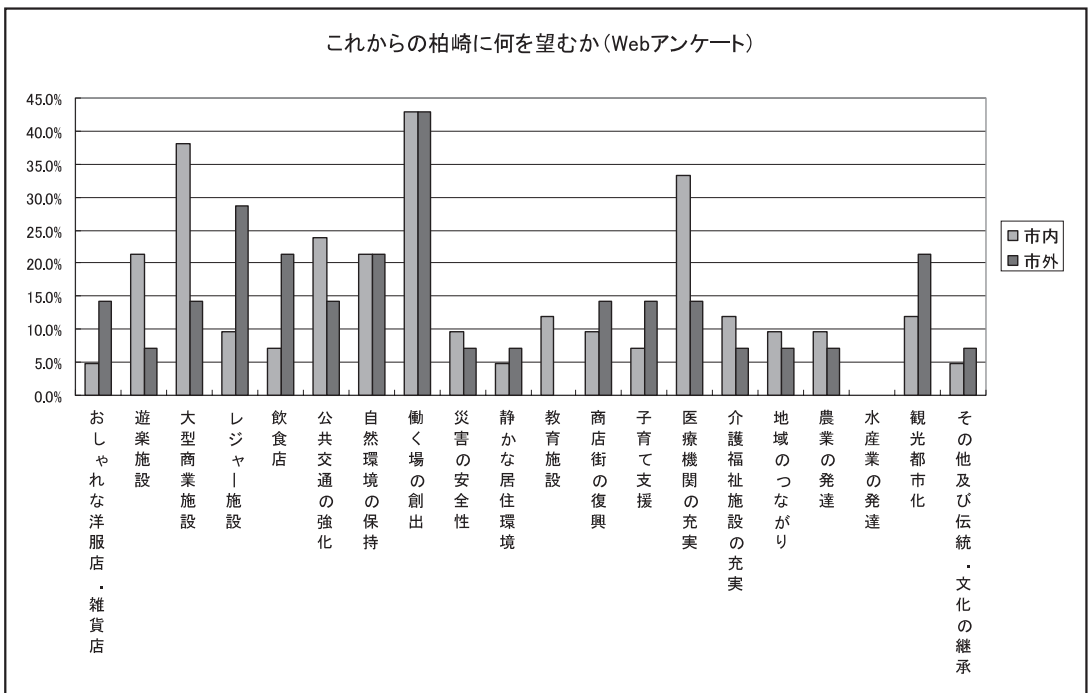


(図2-18)

⑥ 若者の働くことへの意識



(図2-19)



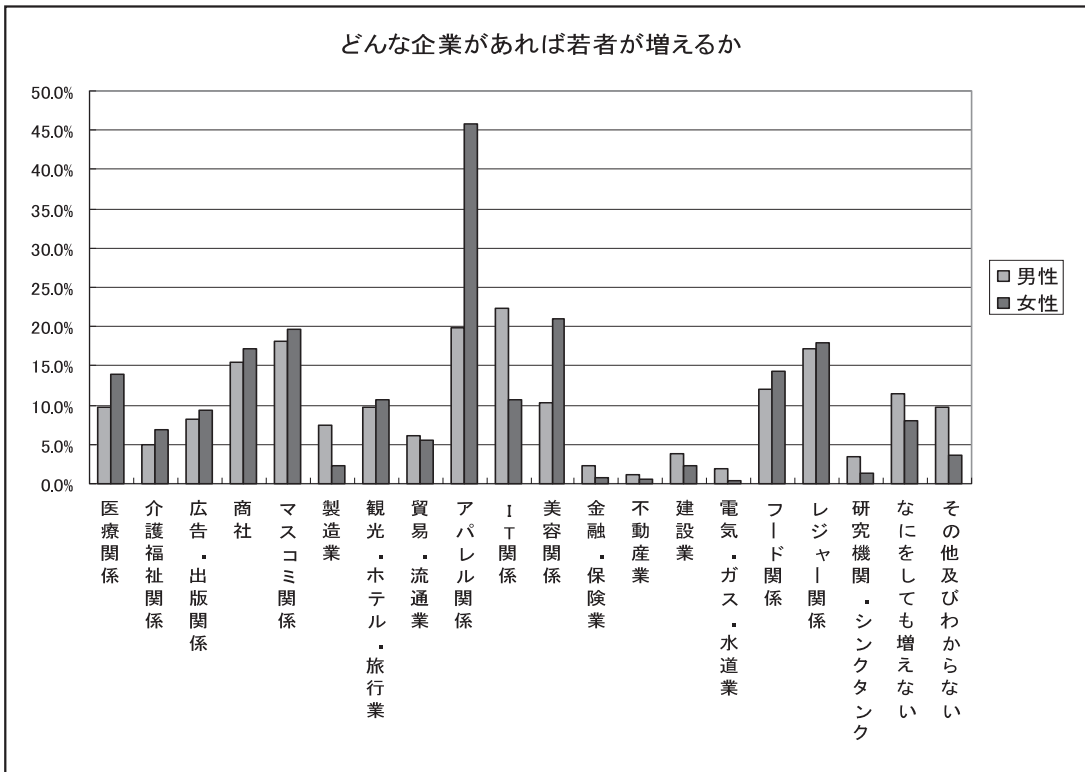
(図2-20)

ここでは、若者の「働く場」に関する意識を「これからの柏崎に何を望むか（資料編 共通インデックス (41) 参照）」という質問によって見ていく。グラフは年齢推移表を基に、10歳から22歳までの若者が選んだ柏崎に望むものを男女別に集計した（図2-19）。（なお、この質問は3つまで選択することが可能である。）

「働く場の創出」を中心に見ていくと、全体に占める割合は8.1%と低く、若者にとっての現状として、働くことや働く場への意識や関心がまだないことが推測される。

これに対して、Webで行った社会人向けのアンケート結果では、「働く場の創出」が1位となっており、若者がまだ働くことに意識や関心がないことを裏付けている（図2-20）。

しかしながら、「柏崎にどんな企業があれば若者が増えると思うか（資料編 共通インデックス (42) 参照）」という質問では、女子が圧倒的にアパレル関係をあげていることから、この調査結果に従うならば、女子学生を柏崎に引き付けるためには洋服店などのアパレル関係企業を誘致することが望まれる（図2-21）。



(図2-21)

▼住みたい度を向上させるアイデア

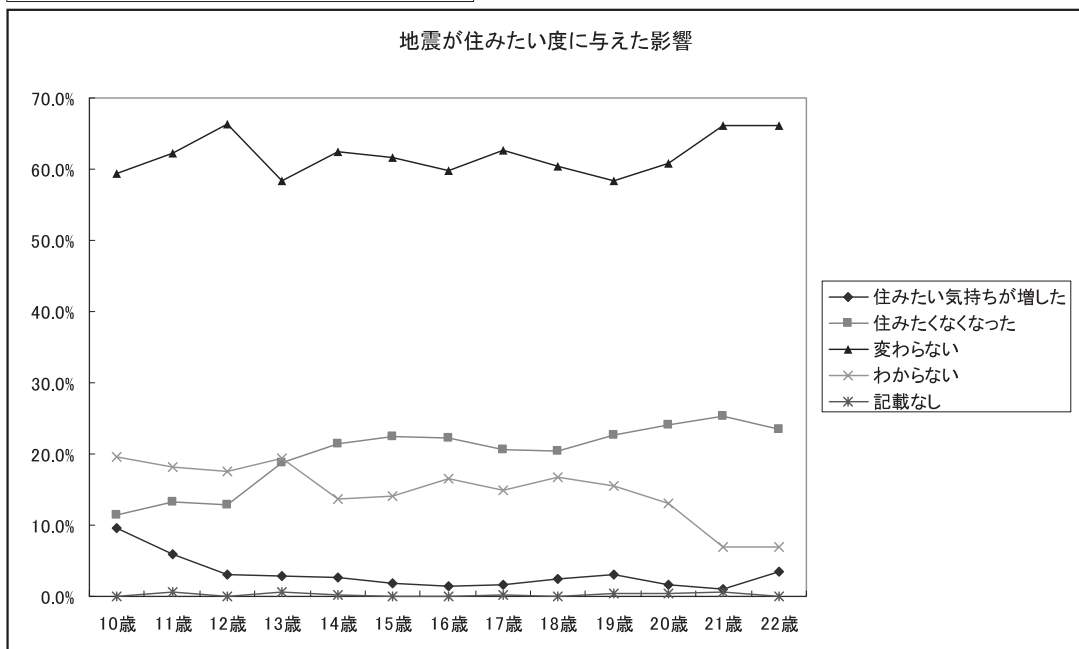
以上のことから、かしわざき住みたい度を向上させるアイデアとして、

- 若者に早い時期から働くことの意識をもたせるため、中学・高校においてインターンシップ等の職場体験制度を整備する。

■現在ある若者向けの洋服店をPRするとともに、女子学生の就職先となるようなアパレル企業の誘致が必要。

ということがあげられる。

⑦ 地震とかしわざき住みたい度の関係



(図2-22)

ここでは、地震がかしわざき住みたい度に与えた影響がどれくらいのものであったかを「地震や風評被害がかしわざき住みたい度に与えた影響は」という質問によって見ていく（資料編 共通インデックス (39) 参照）。グラフは年齢推移表を基に、10歳から22歳までの若者の回答を年齢順に並べた（図2-22）。

「変わらない」と答えた人の割合はどの年代でも60%前後で推移している。しかし、「地震の影響で柏崎に住みたくなかった」と答えた人はどの年代においても20%前後で推移していることから、地震による住みたい度への影響はあったといえる。

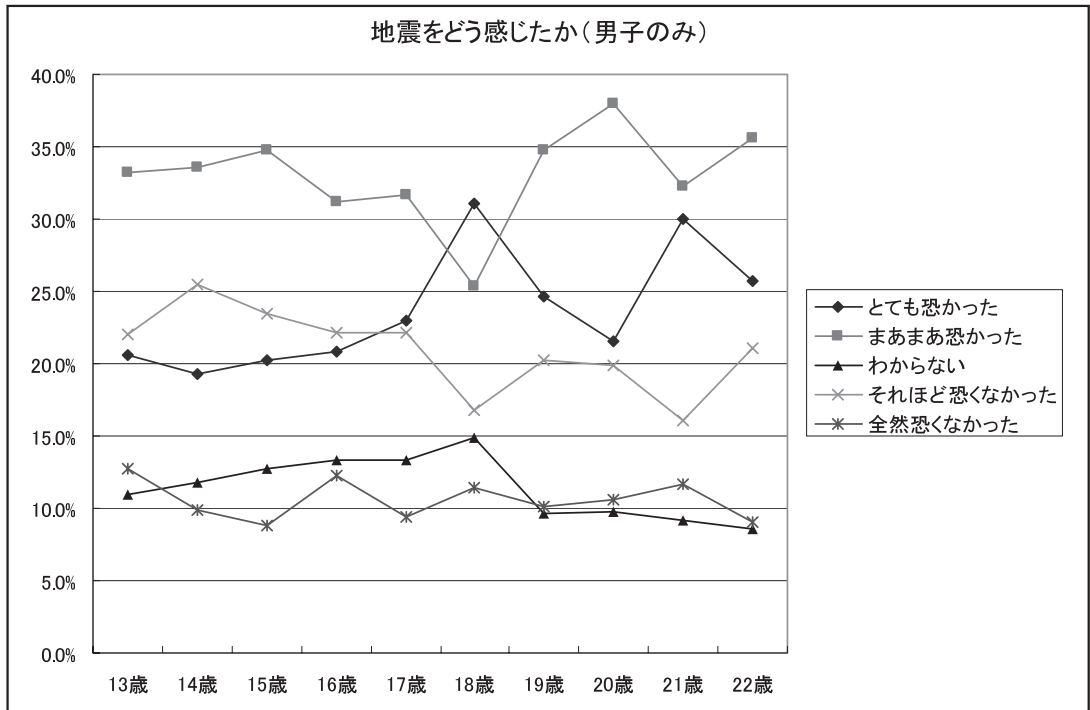
また、男女別に「地震をどう感じたか（資料編 共通インデックス (38) 参照）」の年齢推移をグラフ化した結果、男子に比べ女子の方が地震を恐かったと感じていたことが確認された（図2-23、2-24）。

▼住みたい度を向上させるアイデア

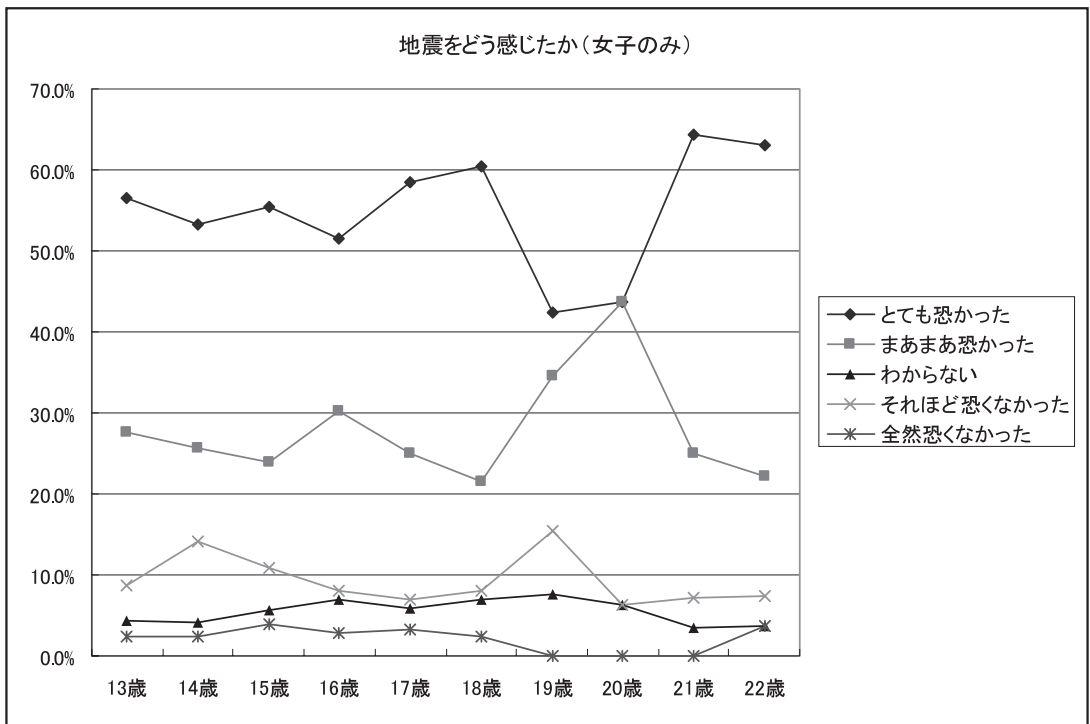
以上のことから、かしわざき住みたい度を向上させるアイデアとして、

■震災で精神的ダメージを受けた人へのカウンセリングの充実を図る。

ということがあげられる。



(図2-23)



(図2-24)

(3) その他の項目の分析とクロス集計分析

以下では、住みたい度向上のカギとなり得る項目について、グラフを用いて分析していく。

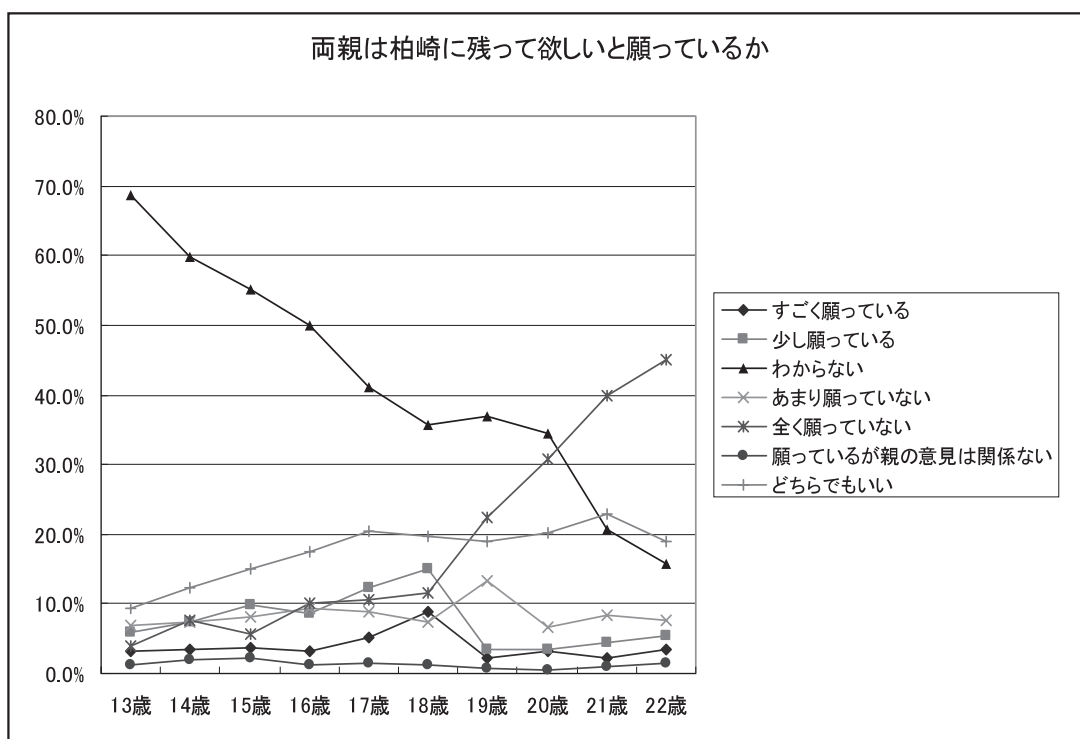
① その他の項目の分析

●両親は柏崎に残って欲しいと願っているか

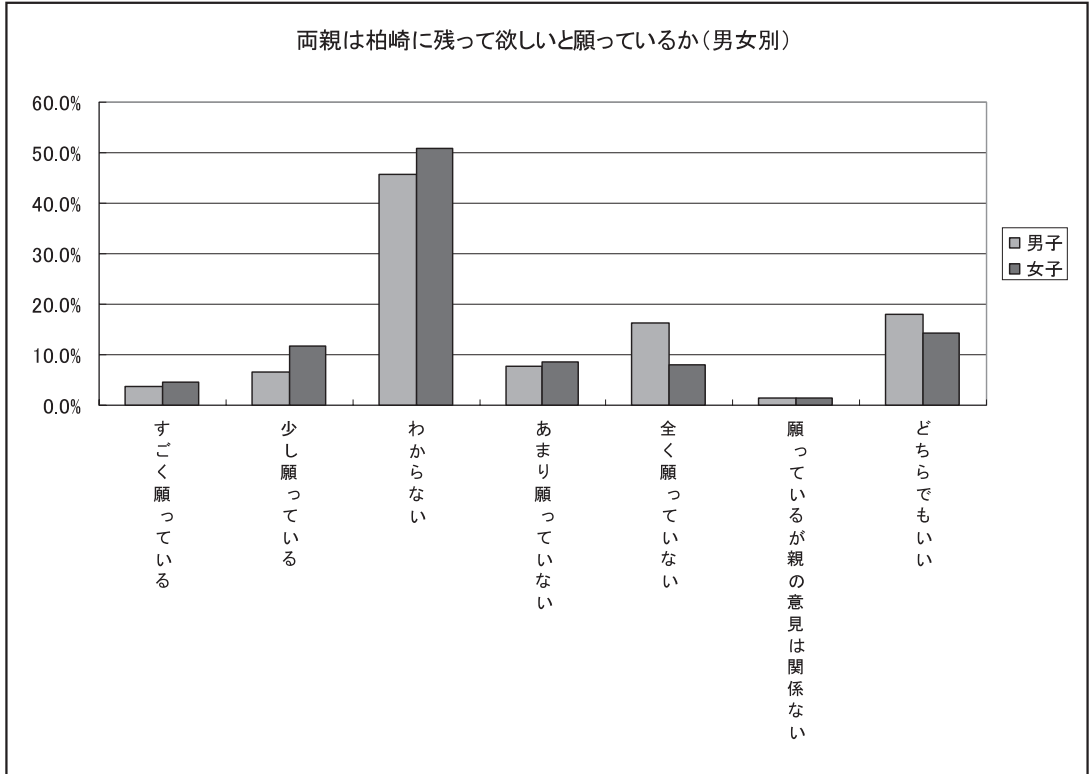
ここでは、年齢推移表を基に、両親は柏崎に残って欲しいと願っているか（資料編 共通インデックス（12）参照）を年齢別と男女別に集計した。

まず、年齢推移で見ると、13歳では「わからない」との回答は70%近くあるが、年齢上昇とともに減少し22歳では15.8%になる。また、「全く願っていない」は19歳から急増し、22歳では45%になっている（図3-1）。

男女別で見ると、若干女子の方が両親から柏崎に残って欲しいと思われている（図3-2）。



(図3-1)

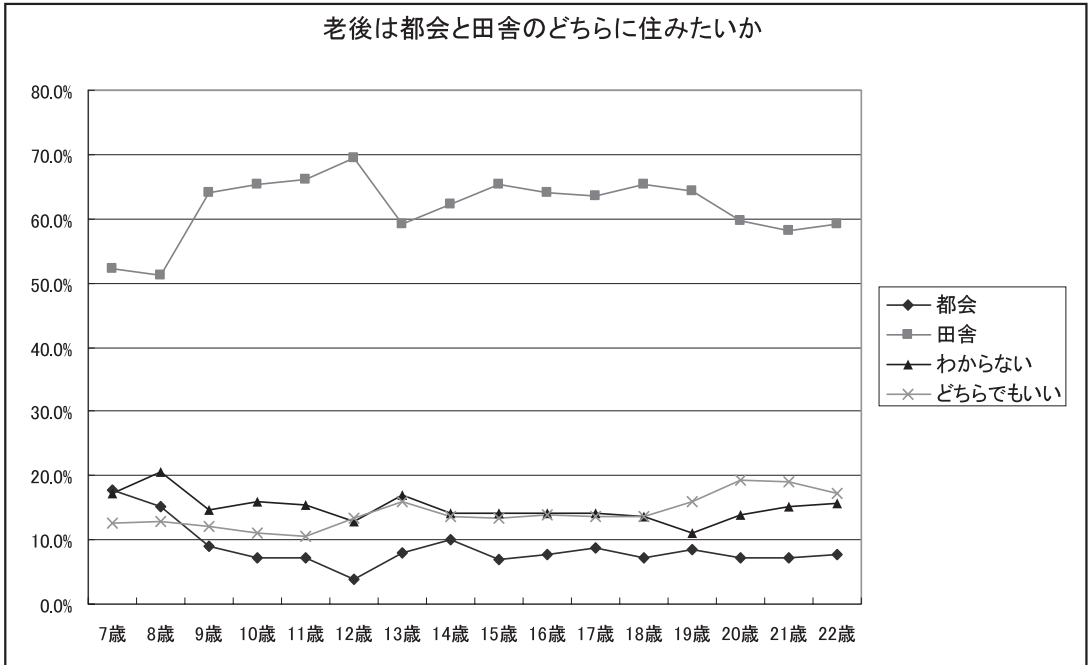


(図3-2)

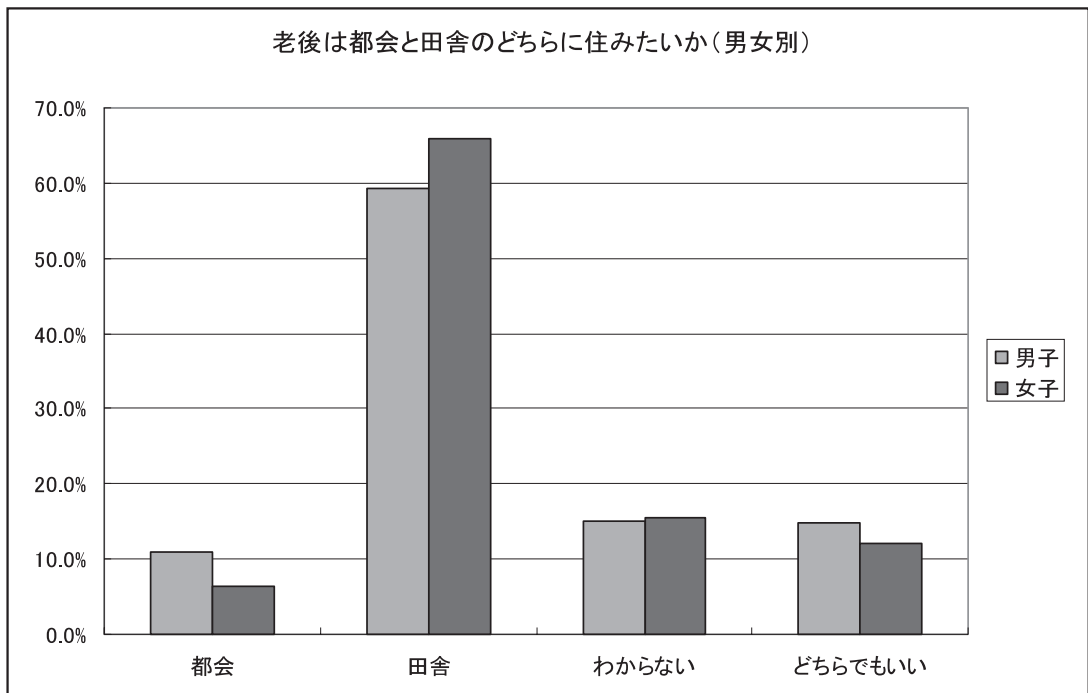
●老後は都会と田舎のどちらに住みたいか

ここでは、年齢推移表を基に、老後は都会と田舎のどちらに住みたいか（資料編 共通インデックス (20) 参照）を年齢別と男女別に集計した。

まず、年齢別で見ると、どの年代においても「田舎」という回答が高い割合で推移している（図3-3）。また、男女別に見ると、男子に比べ女子の方が田舎志向であるといえる（図3-4）。



(図3-3)



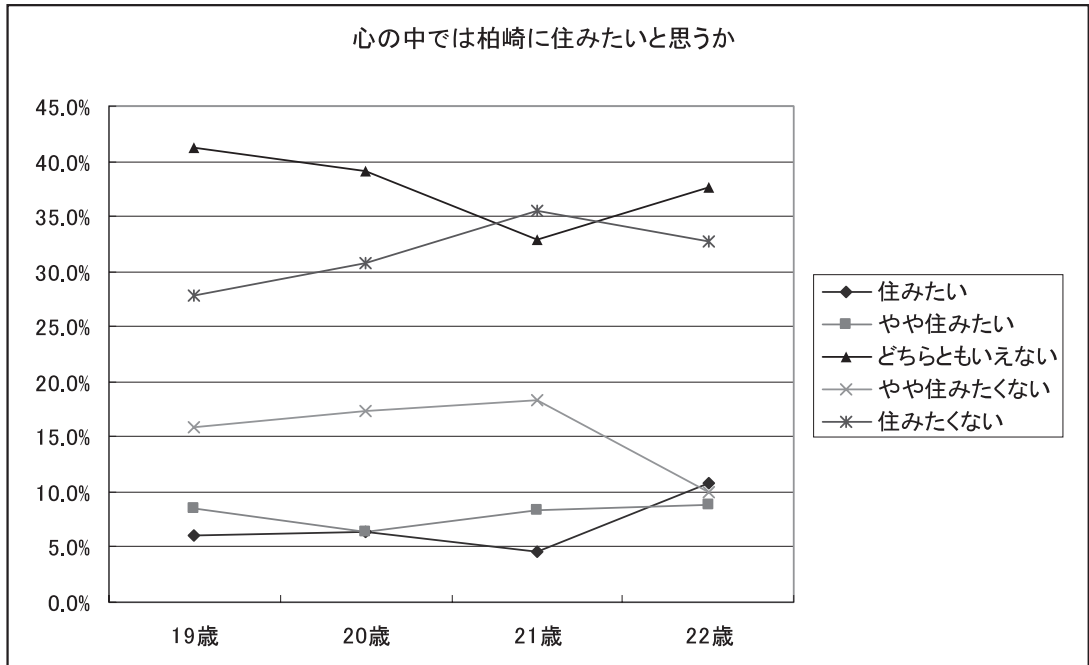
(図3-4)

●心の中では柏崎に住みたいと思うか

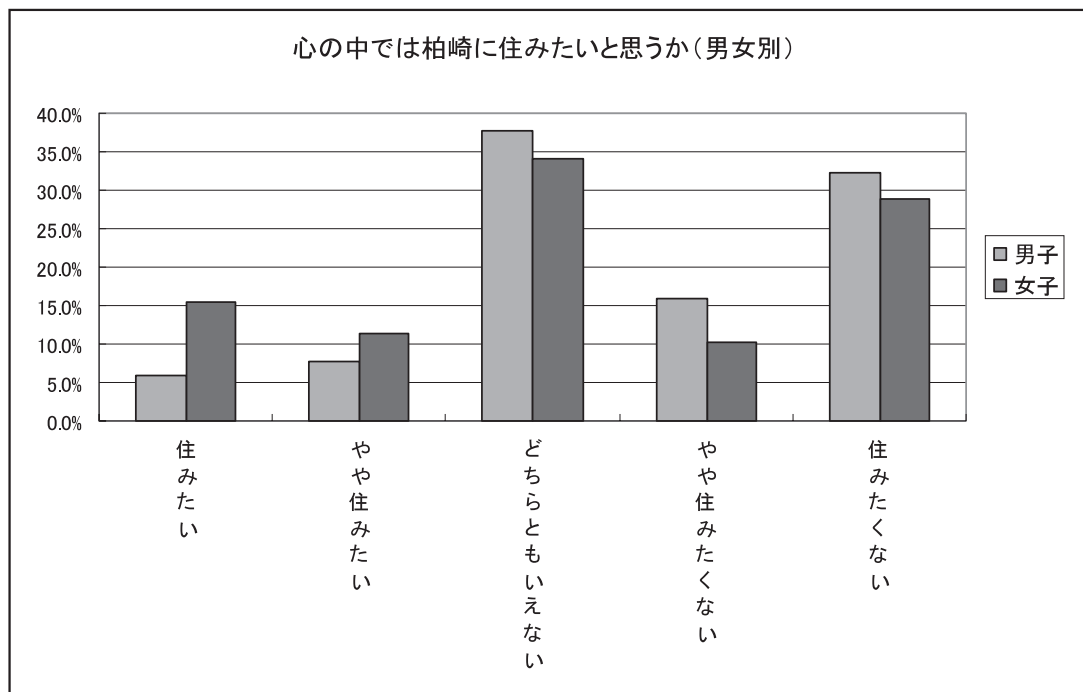
ここでは、年齢推移表を基に、心の中では柏崎に住みたいと思うか（資料編 共通インデックス (21) 参照）を年齢別と男女別に集計した。

まず、年齢別では、どの年齢でも「どちらともいえない」が30～40%で推移している。また、「住みたくない」が30%前後で推移しており、潜在的住みたい度の低さを物語っている（図3-5）。

男女別で見ると、男子よりも女子の方が「住みたい」または「やや住みたい」と思っていることがわかる（図3-6）。



(図3-5)



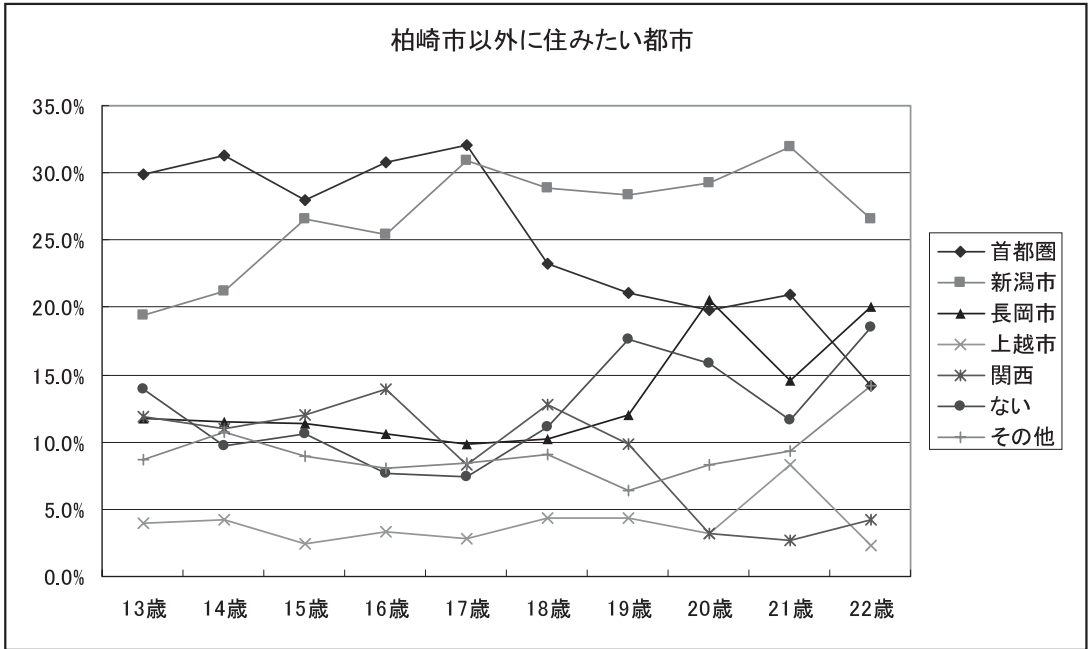
(図3-6)

●柏崎市以外に住みたい都市はどこか

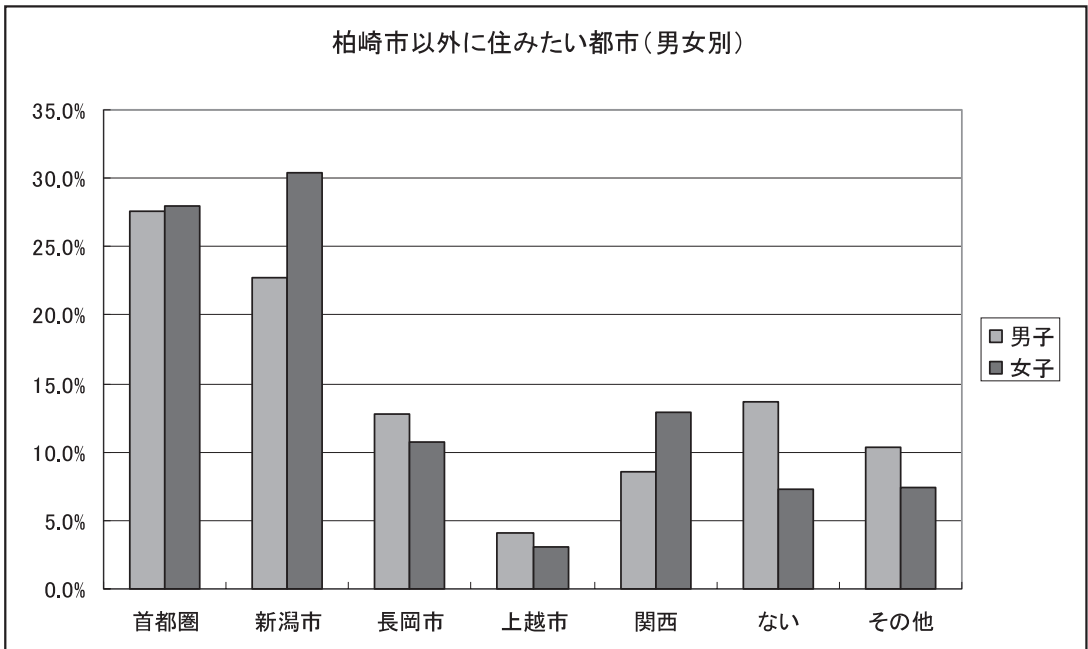
ここでは、年齢推移表を基に、柏崎市以外に住みたい都市（資料編 共通インデックス (22) 参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢の推移で見ると、13歳から17歳は「首都圏」という回答が多いが、18歳からはそれにかわって「新潟市」が1位になっている（図3-7）。

男女別で見ると、男子に比べ女子が「新潟市」と答える割合が高くなっているのが特徴的である（図3-8）。



(図3-7)



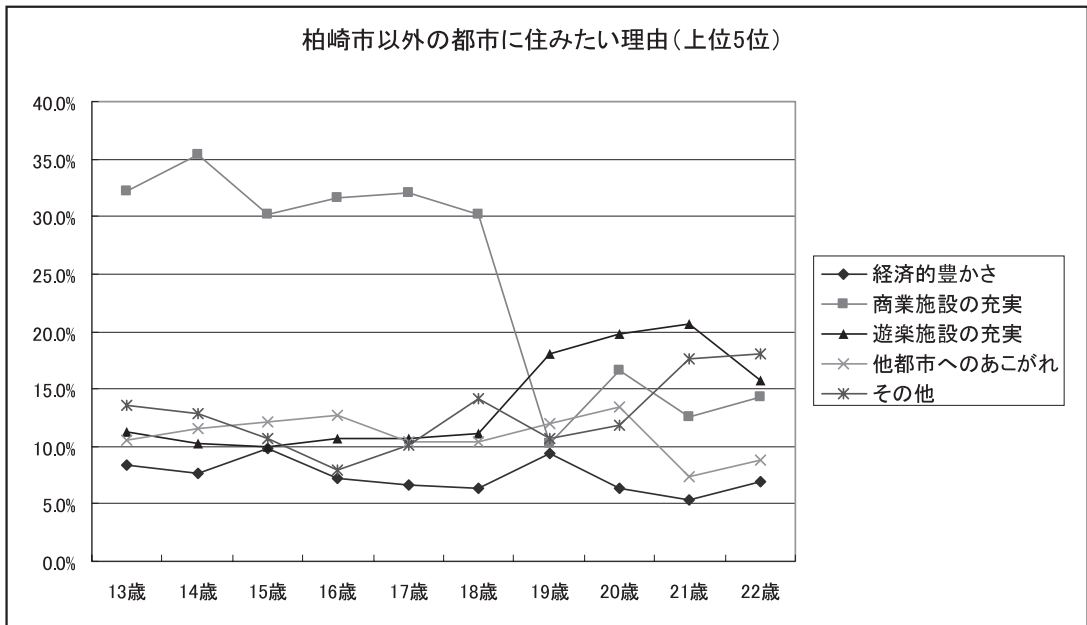
(図3-8)

●柏崎市以外の都市に住みたい理由

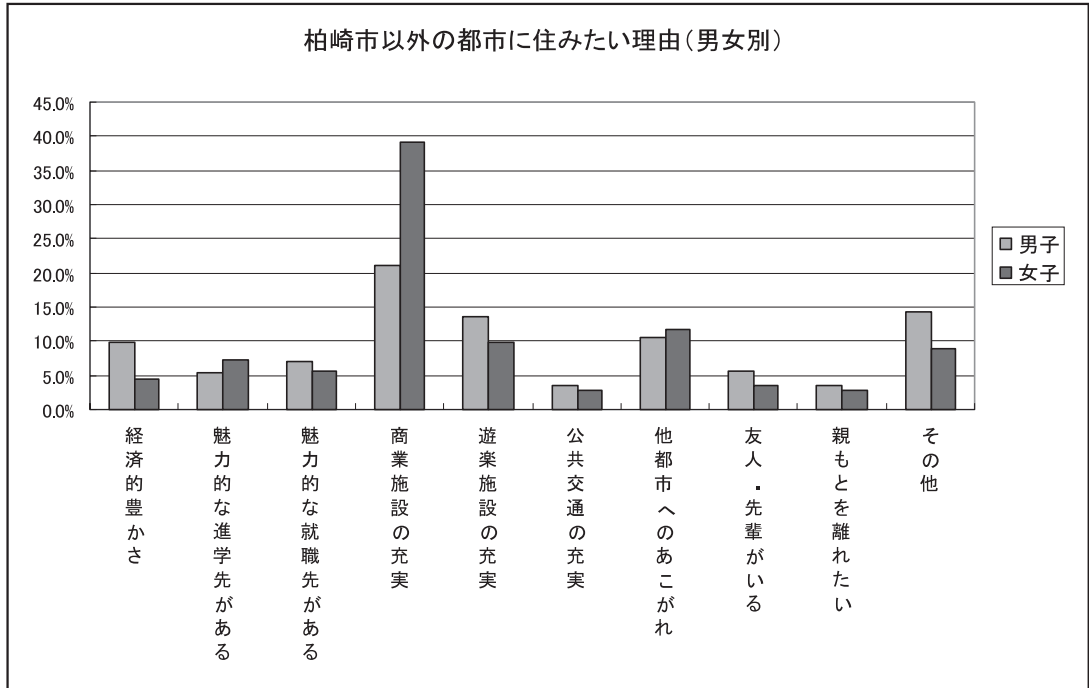
ここでは、年齢推移表を基に、柏崎市以外の都市に住みたい理由（資料編 共通インデックス (23) 参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、13歳から18歳までは30%以上が「商業施設の充実」をあげているが、19歳からはそれにかわって「遊楽施設の充実」が上位にきている（図3-9）。

また、男女別で見ると、男子に比べ女子の方が「商業施設の充実」をあげている割合が高く、およそ2倍の差が生じている。一方、男子は「遊楽施設の充実」や「経済的豊かさ」を他都市に住みたい理由として多くあげている（図3-10）。



(図3-9)



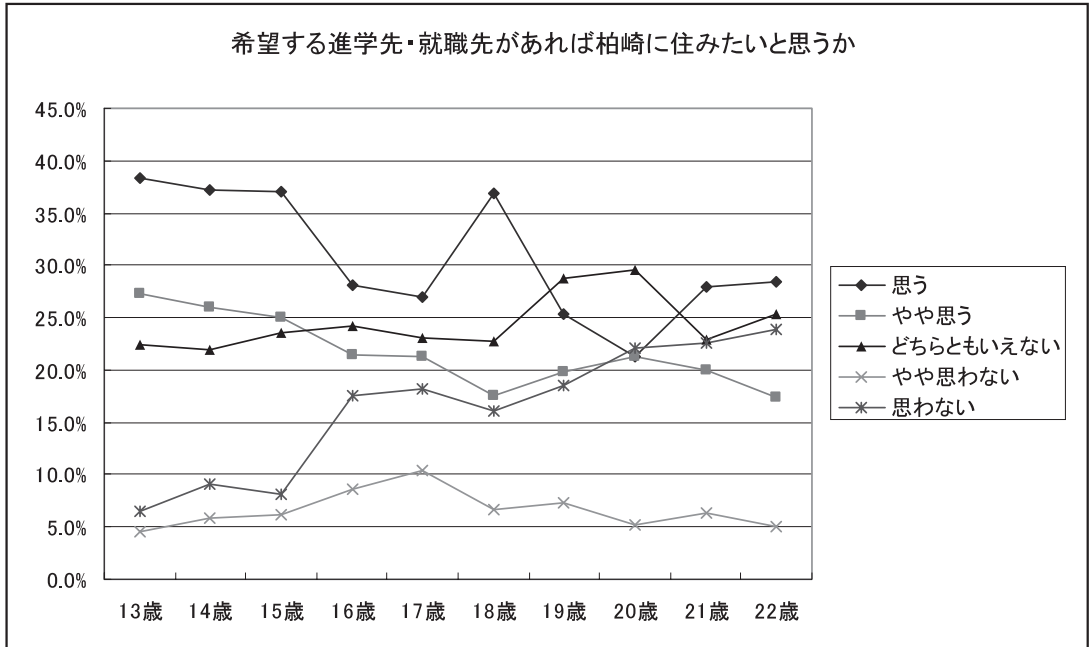
(図3-10)

●希望する進学先・就職先があれば柏崎に住みたいと思うか

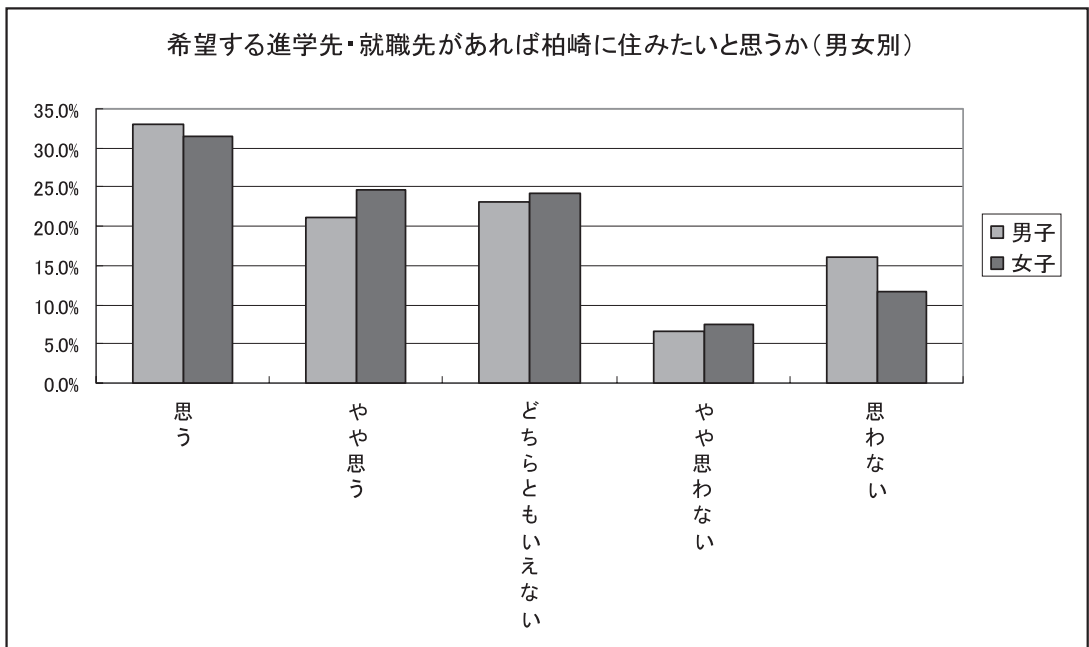
ここでは、年齢推移表を基に、希望する進学先・就職先があれば柏崎に住みたいと思うか（資料編 共通インデックス (24) 参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢の推移で見ると、「思う」という回答は上位にあるが、年齢の上昇とともに「思わない」という回答が増加していることがわかる（図3-11）。

男女別で見ると、性別の違いによる有意差はそれほど見られないが、女子に比べ男子の方が「思わない」と答えた割合が若干高くなっている（図3-12）。



(図3-11)



(図3-12)

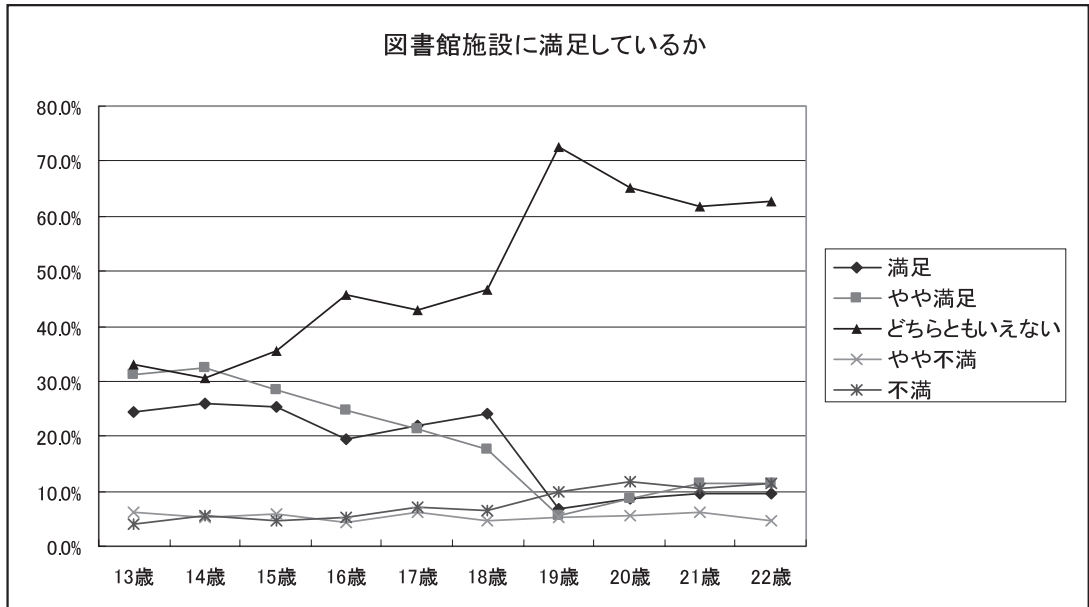
● 柏崎にある図書館施設の満足度

ここでは、年齢推移表を基に、柏崎の図書館施設の満足度（資料編 共通インデックス（31）参照）を年齢別と男女別に集計した。

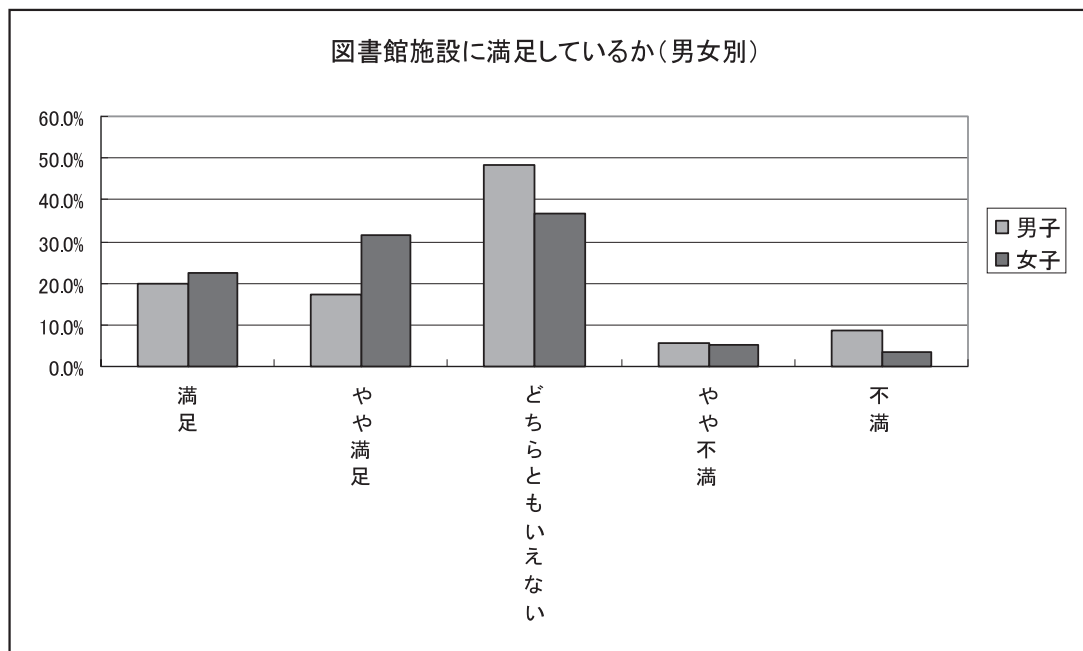
年齢推移で見ると、年齢が上昇するに従って「満足」「やや満足」が減少している。かわりに「どちらともいえない」が年齢上昇とともに増加している（図3-13）。

男女別で見ると、男子に比べ女子の方が満足度が高いことがわかる（図3-14）。

また、全体的に見ると柏崎の図書館満足度は「普通からやや高い」ということができる。



(図3-13)



(図3-14)

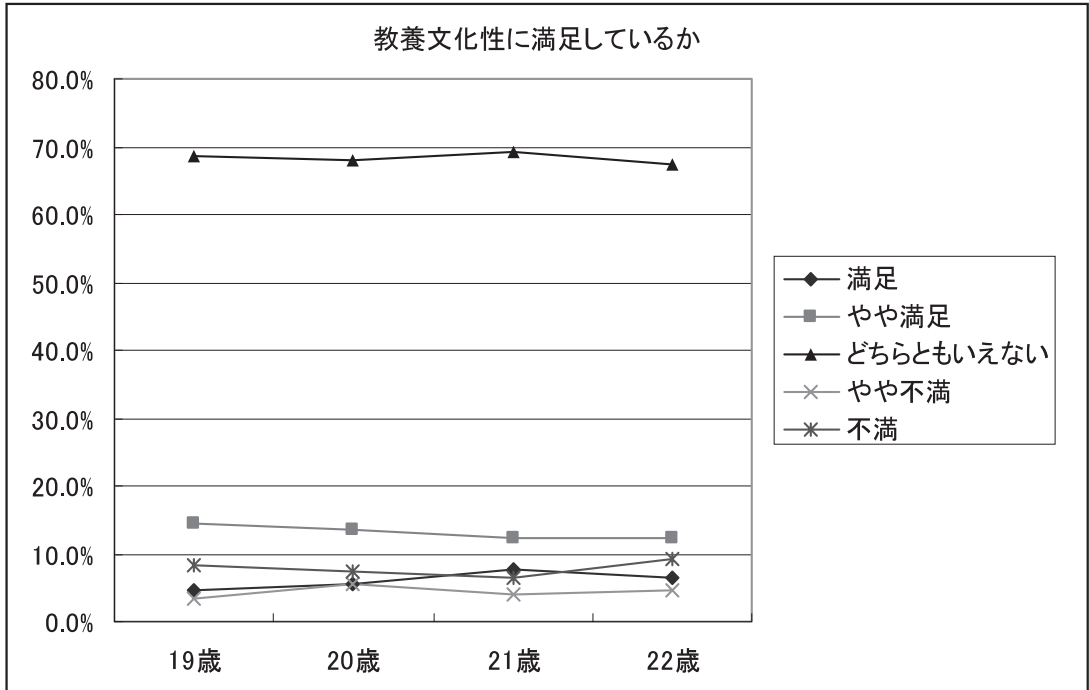
●柏崎の教養文化性の満足度

ここでは、年齢推移表を基に、柏崎の教養文化性の満足度（資料編 共通インデックス（32）参照）を年齢別と男女別に集計した。

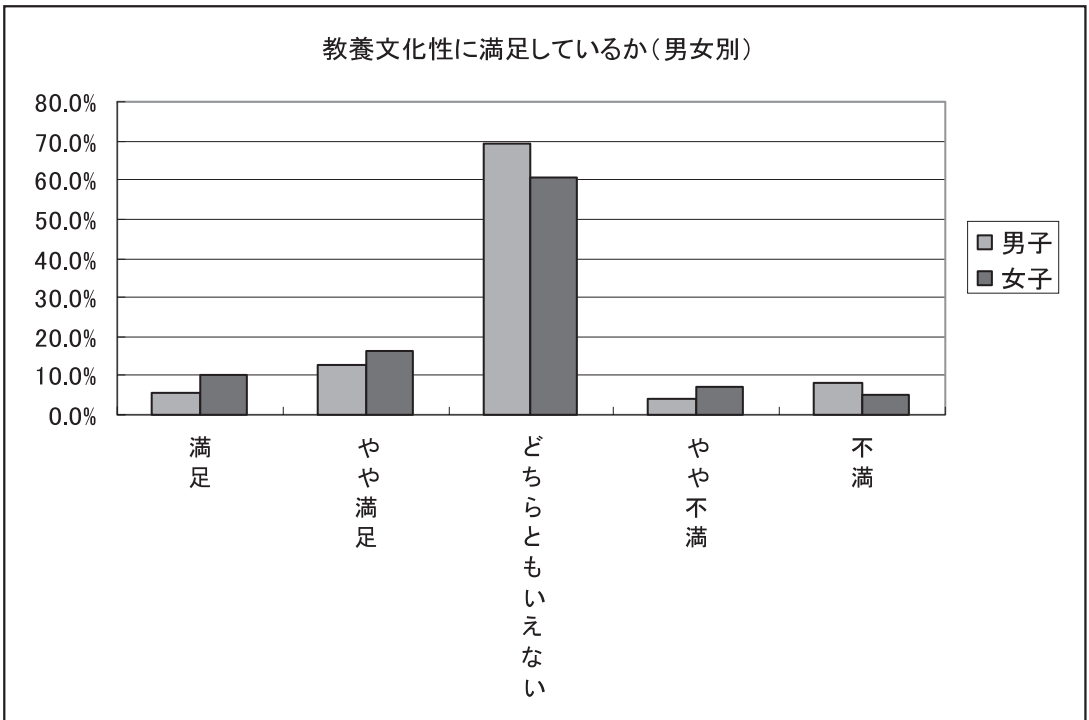
年齢推移で見ると圧倒的に「どちらともいえない」が抜けているのがわかる。次いで「やや満足」が15%前後で推移している（図3-15）。

また、男女別で見ると、性別の違いによる有意差はそれほど見られないが、男子よりも女子の方が若干満足度は高くなっている（図3-16）。

全体として見ると、柏崎の教養文化性の満足度は「普通」といえる。



(図3-15)



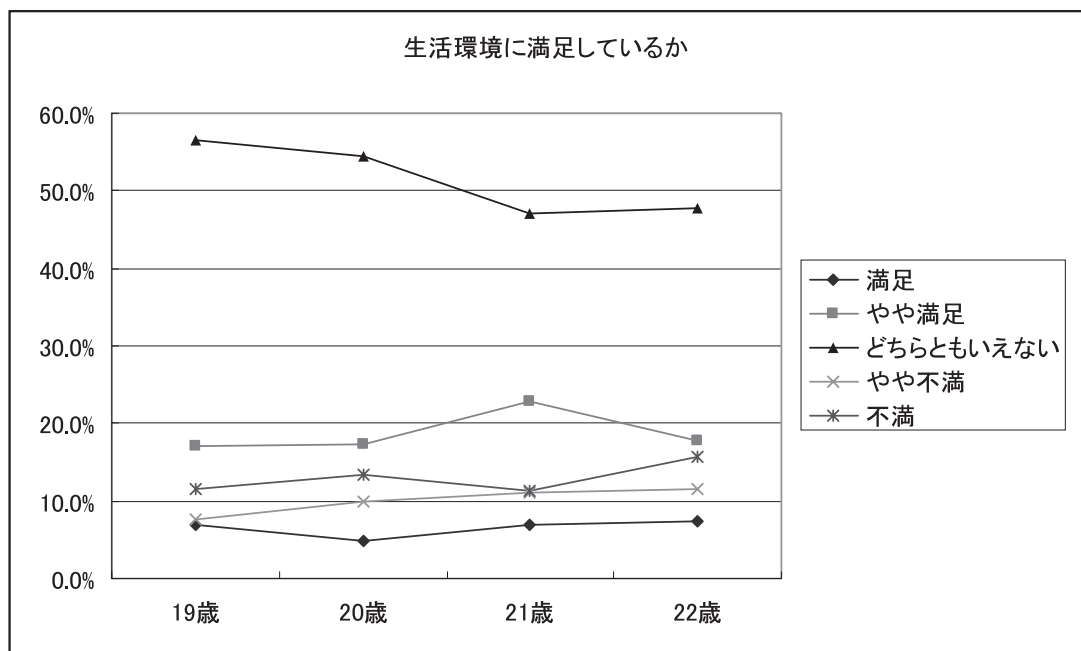
(図3-16)

● 柏崎の生活環境の満足度

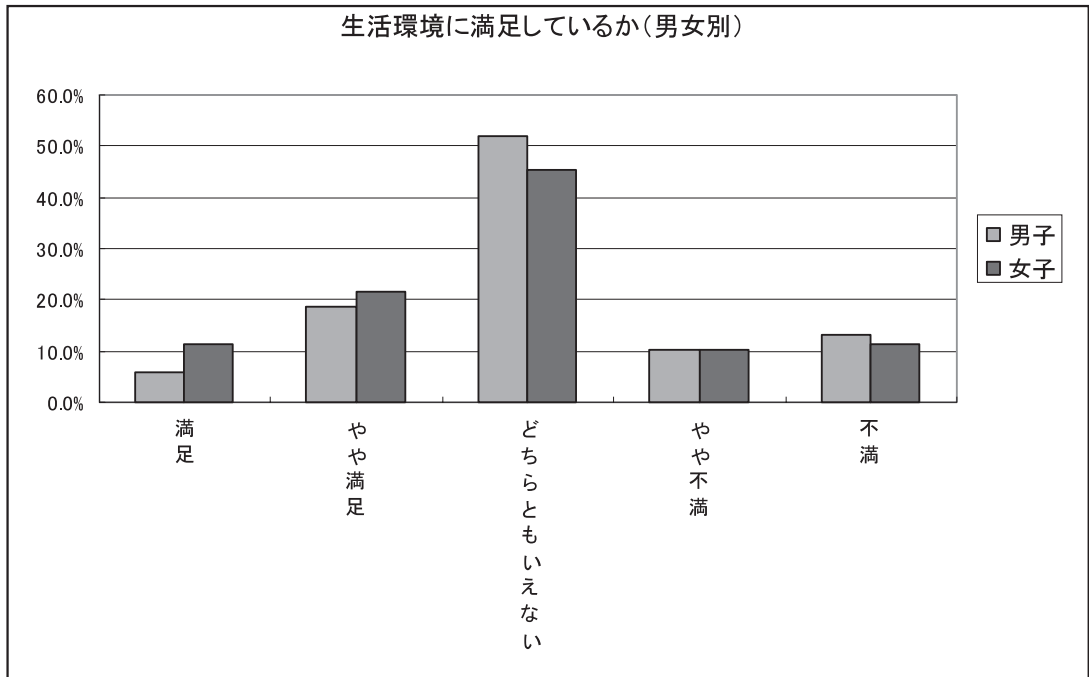
ここでは、年齢推移表を基に、柏崎の生活環境の満足度（資料編 共通インデックス（33）参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、「どちらともいえない」が50%前後で推移している。次いで「やや満足」が20%前後となっている（図3-17）。

男女別で見ると、目立った有意差は見られないが、やや女子の満足度が高くなっている（図3-18）。全体として見ると、柏崎の生活環境の満足度は「普通からやや高い」といえる。



(図3-17)



(図3-18)

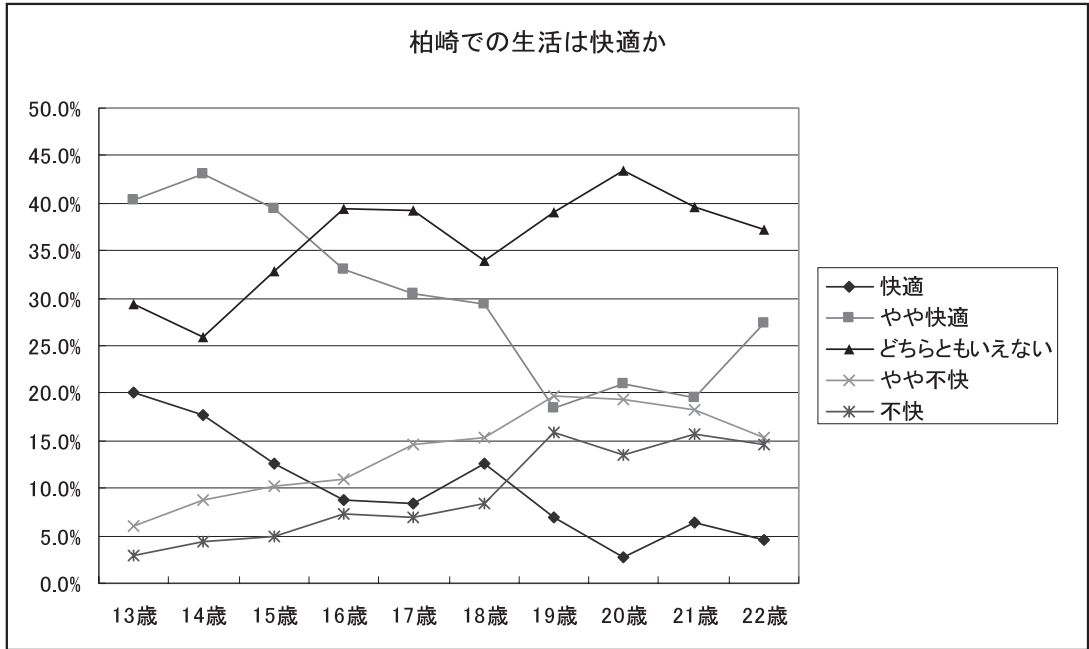
● 柏崎での生活の快適性

ここでは、年齢推移表を基に、柏崎での生活の快適性（資料編 共通インデックス（34）参照）を年齢別と男女別に集計した。

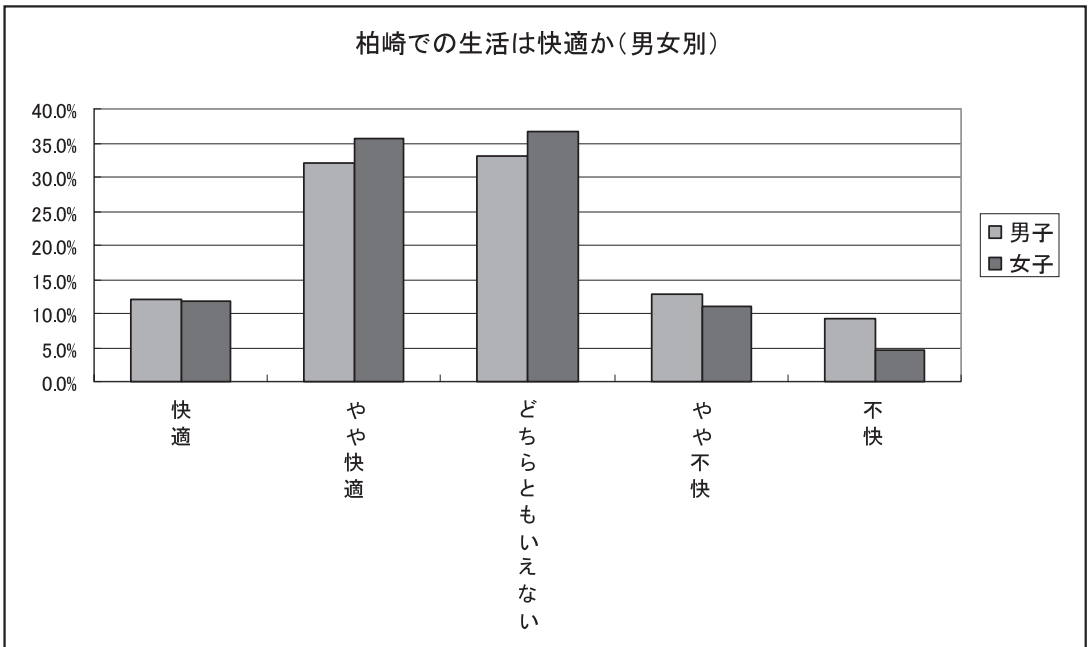
年齢推移で見ると、13歳から15歳では「やや快適」という回答が多かったが、16歳以降では減少傾向にある。かわって「どちらともいえない」「やや不快」「不快」という回答が年齢上昇とともに増加する傾向にある（図3-19）。

また、男女別に見ると、いずれも「やや快適」か「どちらともいえない」に回答が集中していることがわかる（図3-20）。

全体として見ると、柏崎での生活の快適性は「普通からやや高い」といえる。



(図3-19)



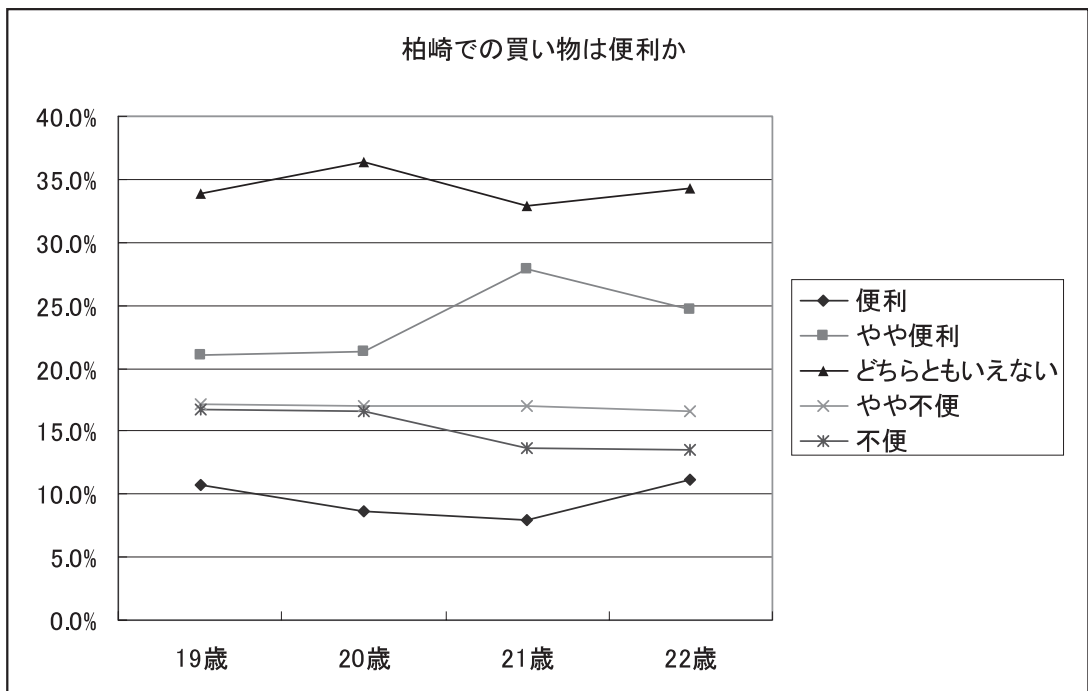
(図3-20)

● 柏崎での買い物の利便性

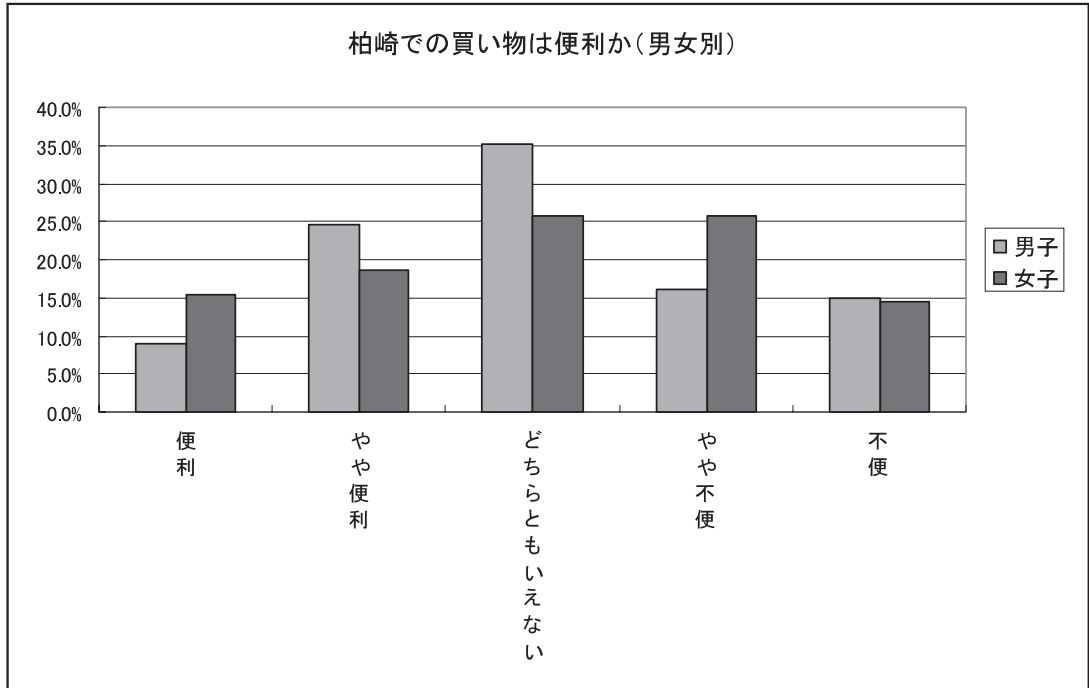
ここでは、年齢推移表を基に、柏崎での買い物の利便性（資料編 共通インデックス（35）参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、各年齢で「どちらともいえない」が一番多く、次いで「やや便利」となっている（図3-21）。

男女別で見ると、違いがはっきり出ており、男子は「どちらともいえない」または「やや便利」が多くなっているが、女子は比較的回答が割れているのがわかる（図3-22）。



(図3-21)



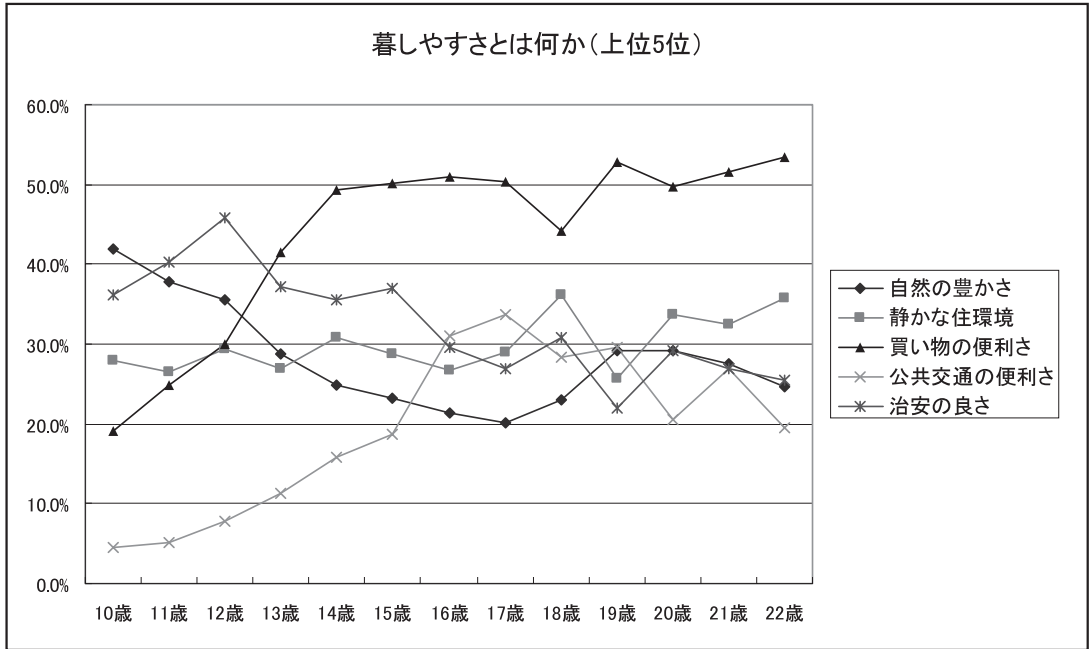
(図3-22)

●暮らしやすさとは何か

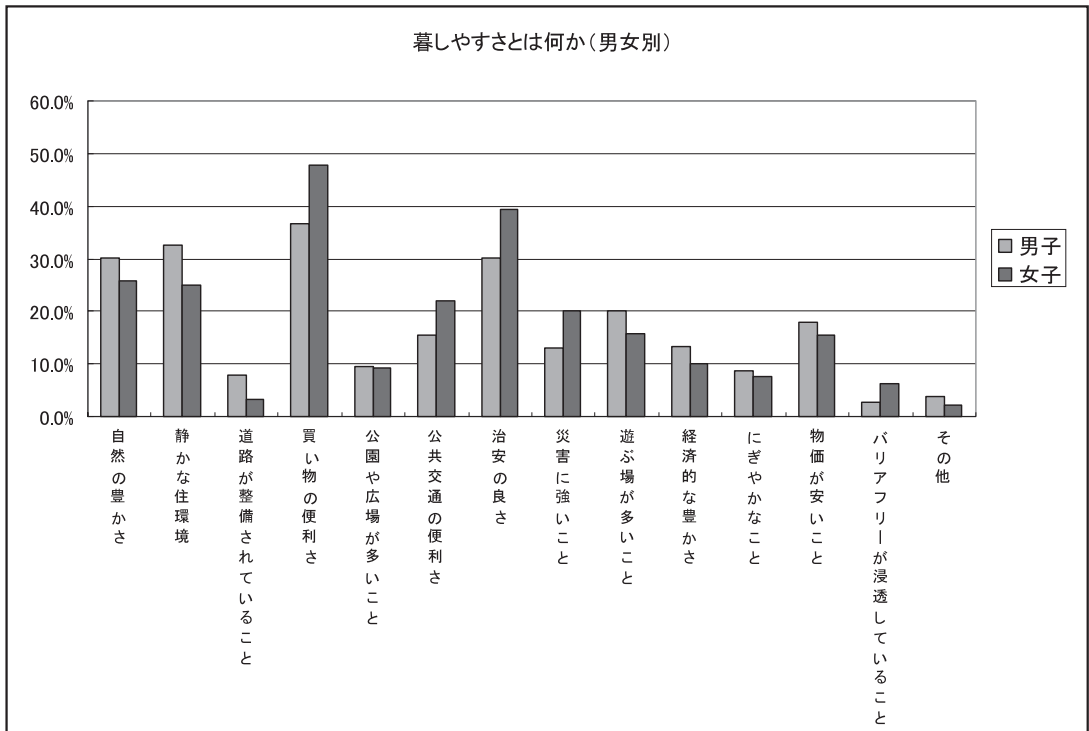
ここでは、年齢推移表を基に、暮らしやすさとは何か（資料編 共通インデックス（40）参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、「買い物の便利さ」は年齢上昇とともに増加する傾向にある。また、16歳から19歳で「公共交通の便利さ」が急増している（図3-23）。

男女別で見ると、男子は「自然の豊かさ」「静かな住環境」が多いのに対して、女子は「買い物の便利さ」「治安のよさ」「公共交通の便利さ」が多くなっている（図3-24）。



(図3-23)



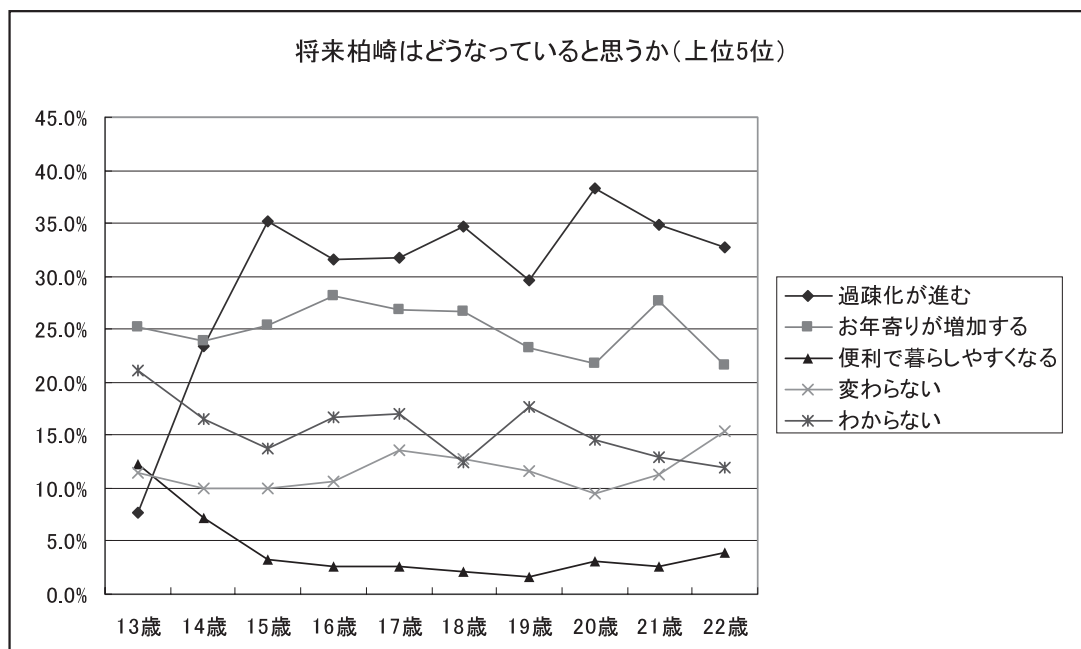
(図3-24)

●将来柏崎はどのような状態になると思うか

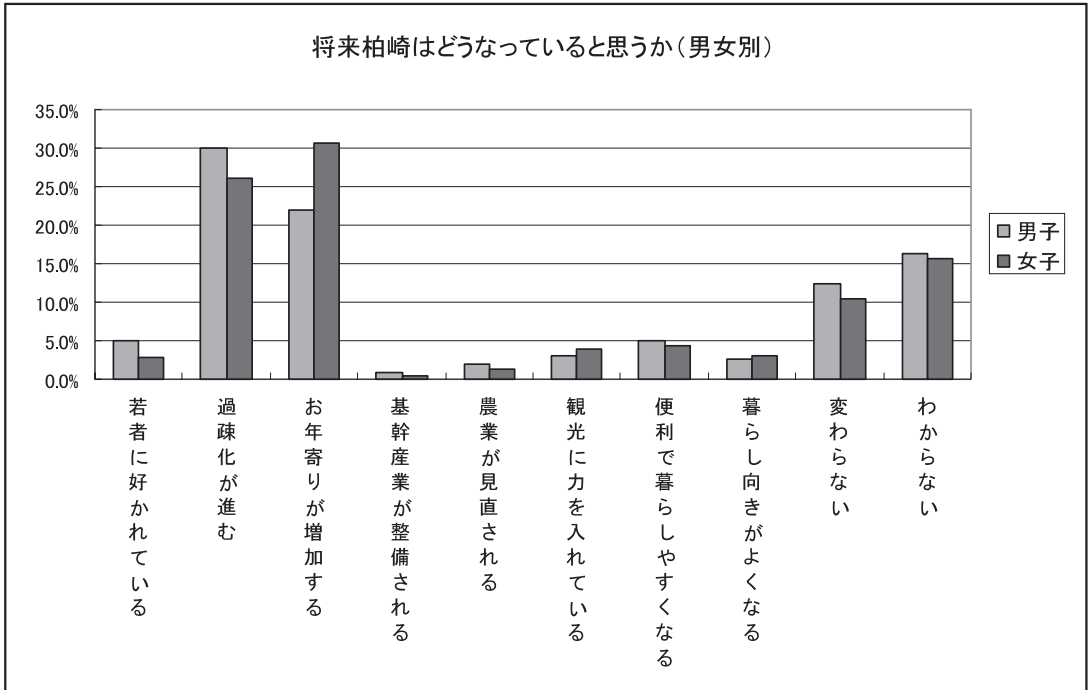
ここでは、年齢推移表を基に、将来柏崎はどのような状態になっていると思うか（資料編 共通インデックス（43）参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、「過疎化が進む」という回答は13歳では7.7%であったがその後は急増し、30%前後で推移している。「お年寄りが増加する」がそれに次いでいる（図3-25）。

男女別に見ると、どちらも「過疎化が進む」と「お年寄りが増加する」に集中しているが、男子は「過疎化が進む」が多く、女子は「お年寄りが増加する」が多くなっている（図3-26）。



(図3-25)



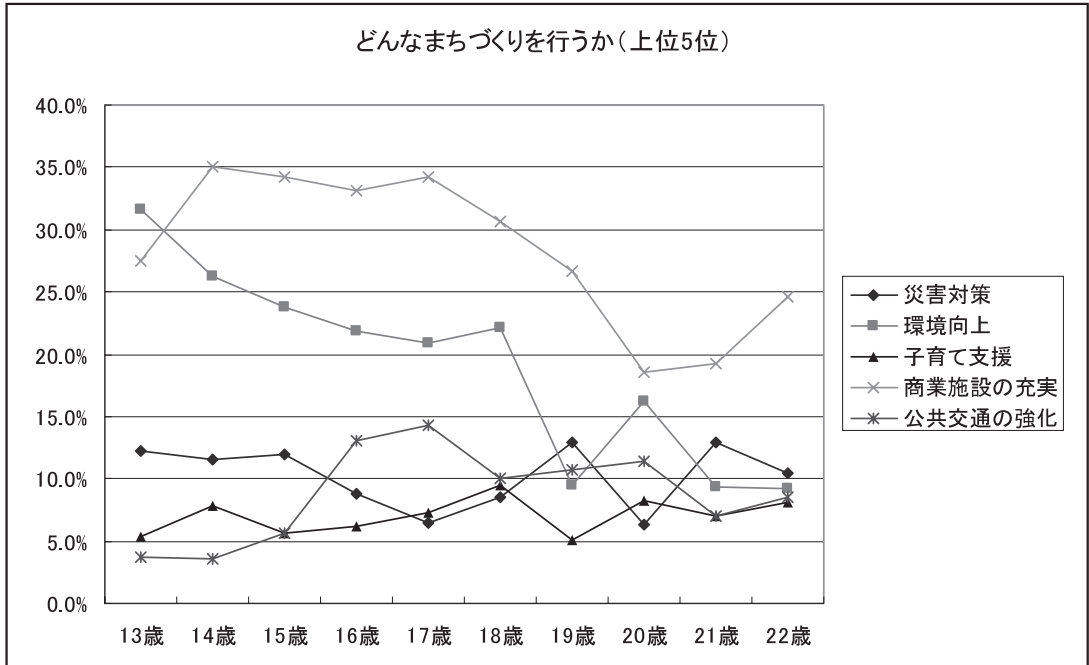
(図3-26)

●どんなまちづくりを行うか

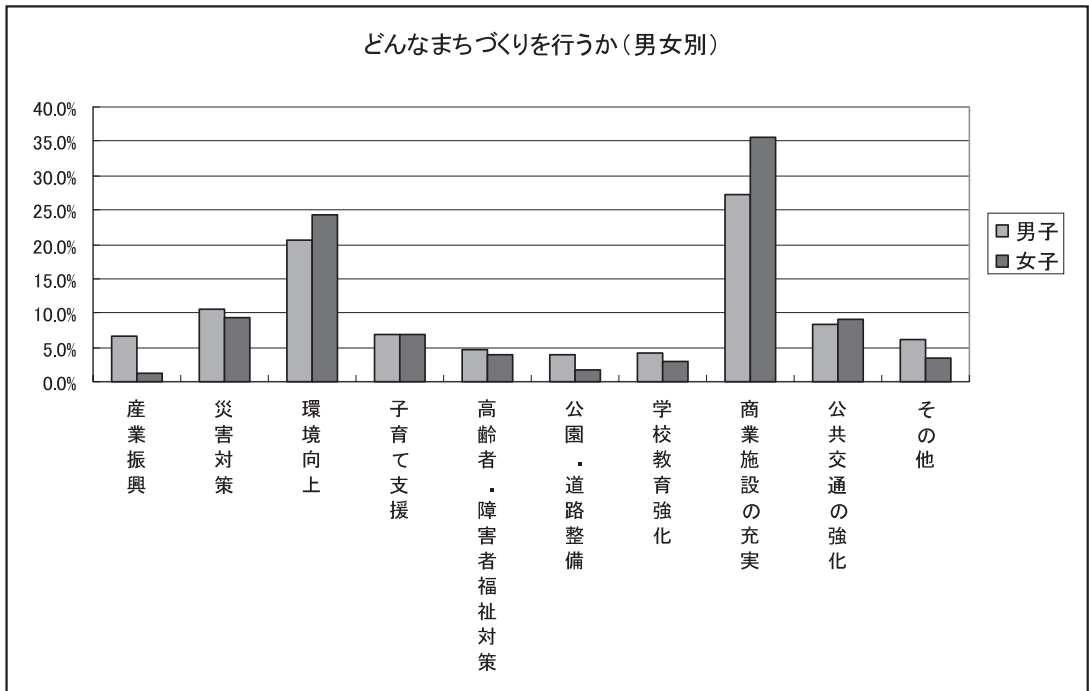
ここでは、年齢推移表を基に、どんなまちづくりを行うか(資料編 共通インデックス(44) 参照)を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、「商業施設の充実」と「環境向上」が上位にあるが、年齢上昇とともに減少する傾向にある。また、16歳と17歳で「公共交通の強化」が急増している(図3-27)。

男女別に見ると、「商業施設の充実」と「環境向上」は男子に比べ女子の方が多くなっている(図3-28)。



(図3-27)



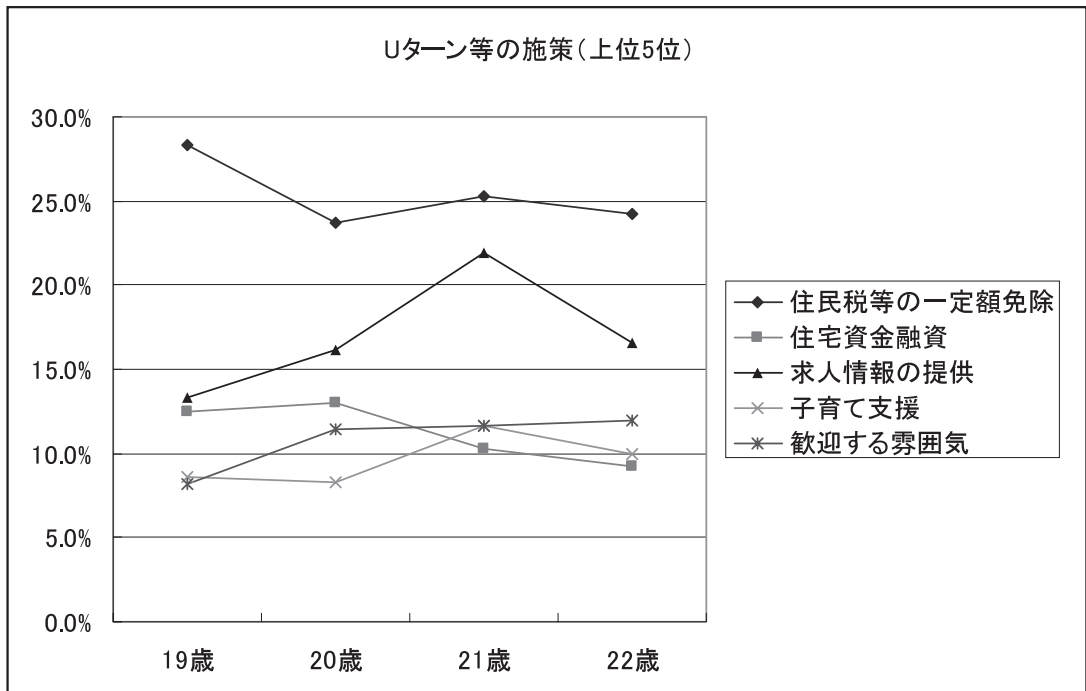
(図3-28)

●Uターン等の施策

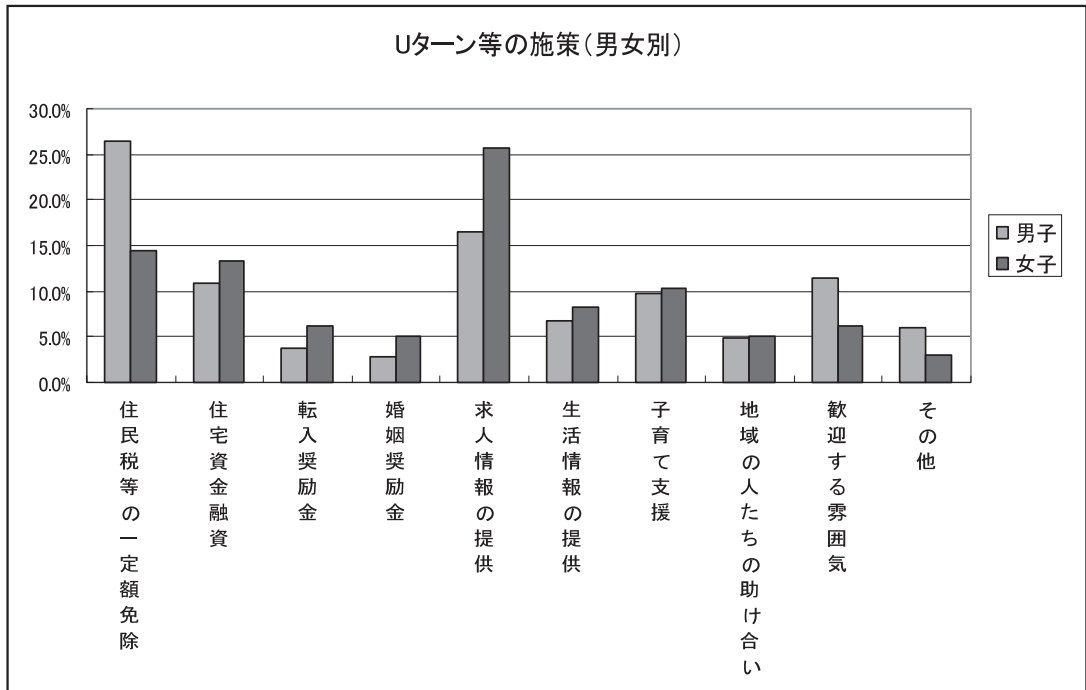
ここでは、年齢推移表を基に、どんなUターン等の施策が有効か（資料編 共通インデックス（45）参照）を年齢別と男女別に集計した。

年齢推移で見ると、各年齢とも「住民税等の一定額免除」が一番多く、次いで「求人情報の提供」という順になっている（図3-29）。

男女別に見ると、男子は「住民税等の一定額免除」の割合が高く、女子は「求人情報の提供」の割合が高くなっている（図3-30）。



(図3-29)



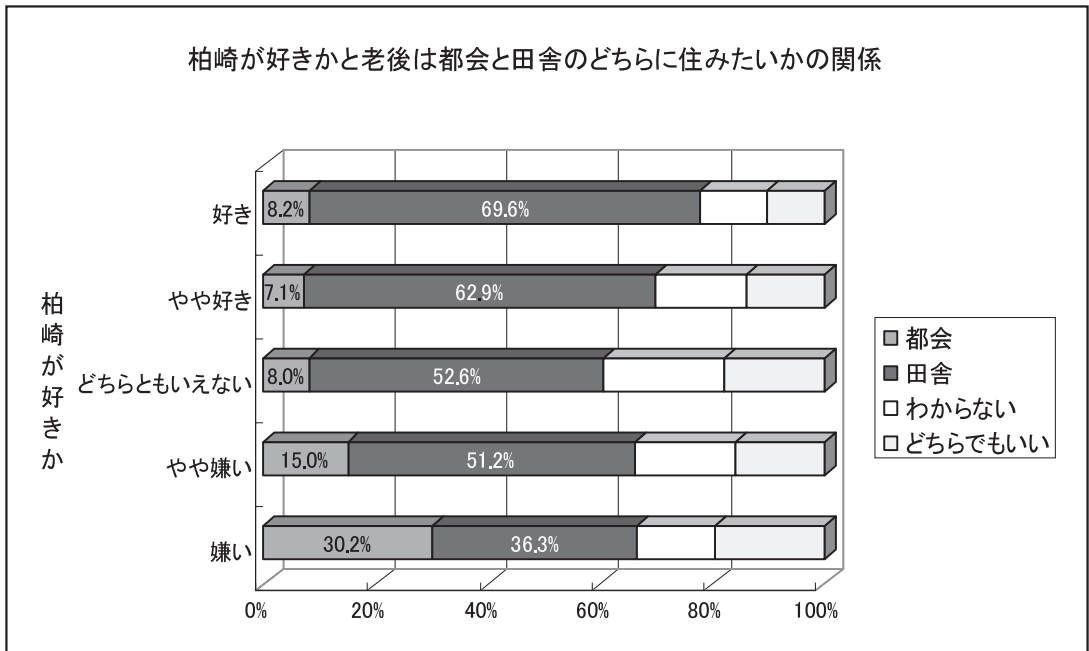
(図3-30)

② クロス集計分析

● 「柏崎が好きか」と「老後は都会と田舎のどちらに住みたいか」の関係

ここでは、「柏崎が好きか」という質問と「老後は都会と田舎のどちらに住みたいか」という質問のクロス集計を行った（図3-31）。

柏崎が「好き」と答えた人ほど老後は「田舎」に住みたいと思っていることがわかる。一方、柏崎が「嫌い」と答えた人ほど老後は「都会」に住みたいと思っている。



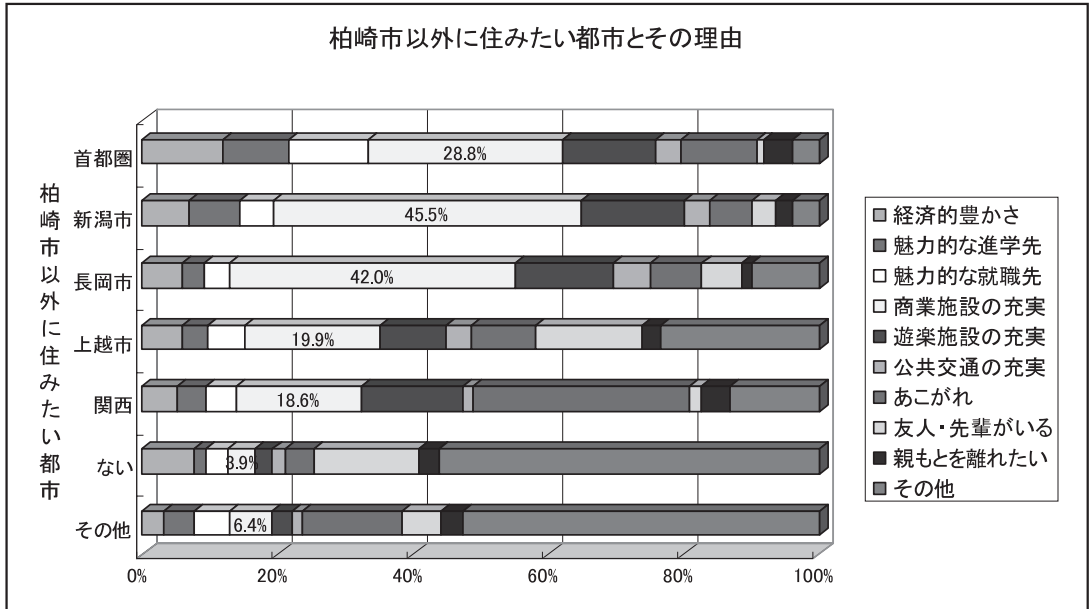
(図3-31)

● 「柏崎市以外に住みたい都市」と「その理由」の関係

ここでは、「柏崎市以外に住みたい都市は」という質問と「その理由」についてクロス集計を行った（図3-32）。

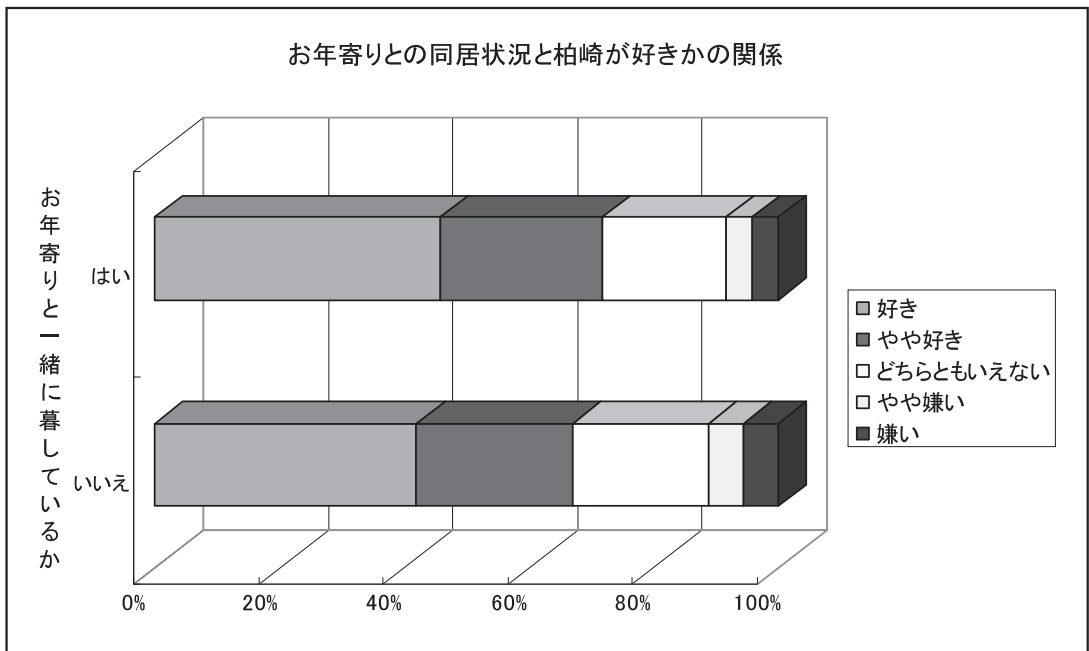
いずれの都市においても「商業施設の充実」が占める割合が高い。また、「商業施設の充実」は首都圏よりも新潟市や長岡市で高くなっているのが特徴的である。

関西については「あこがれ」をあげる人が多くなっている。



(図3-32)

● 「お年寄りとの同居状況」と「柏崎が好きか」の関係



(図3-33)

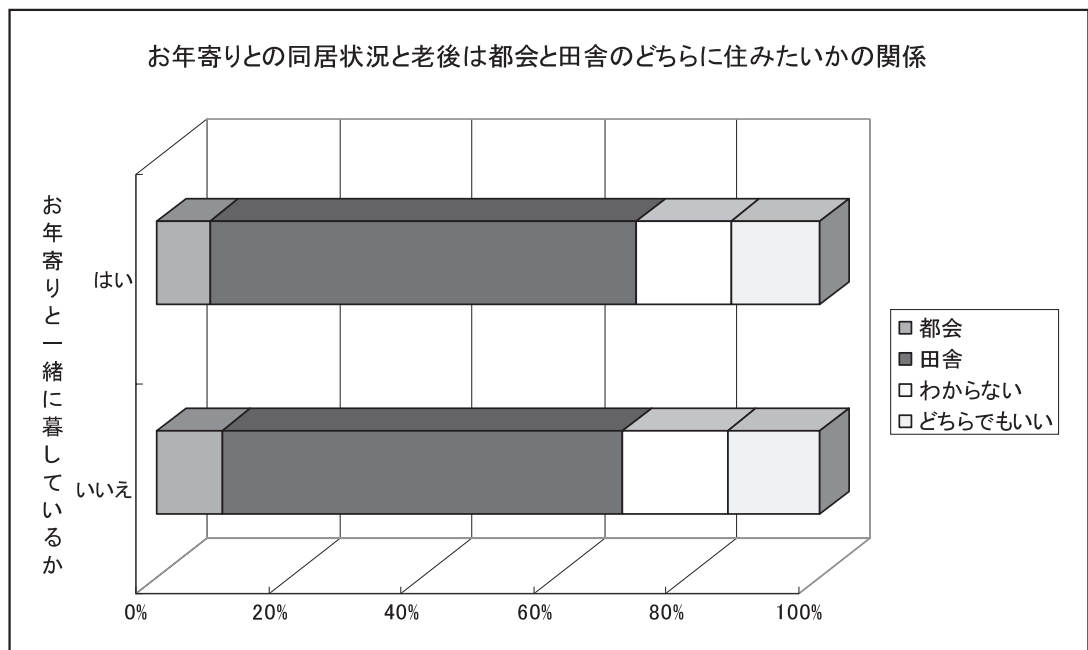
ここでは、「お年寄りと一緒に暮しているか」という質問と「柏崎が好きか」という質問のクロス集計を行った（図3-33）。

お年寄りとの同居状況の違いによって、柏崎が好きかという回答の割合に変化が見られないことがわかる。

● 「お年寄りとの同居状況」と「老後は都会と田舎のどちらに住みたいか」の関係

ここでは、「お年寄りと一緒に暮しているか」という質問と「老後は都会と田舎のどちらに住みたいか」という質問のクロス集計を行った（図3-34）。

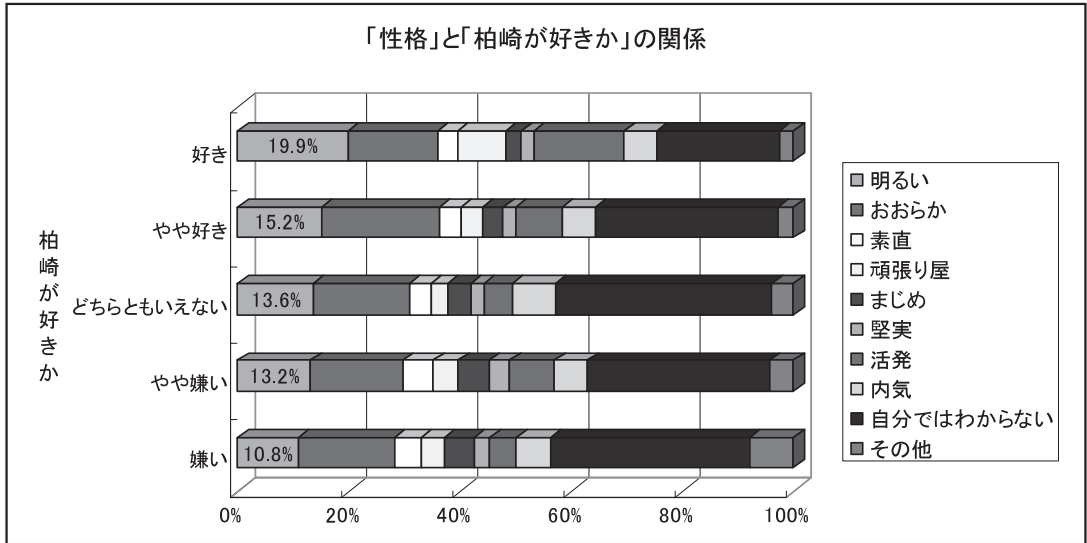
お年寄りと一緒に暮していない人の方が若干ながら「都会」に住みたいと答えているが、両者の間に大きな有意差が見られるとはいえない。



(図3-34)

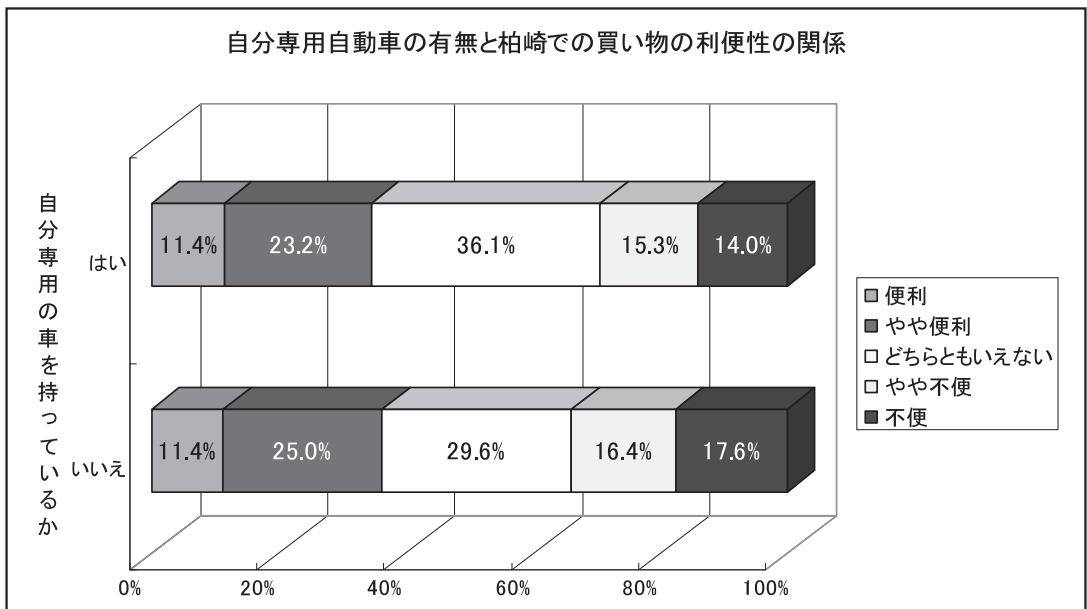
● 「性格」と「柏崎が好きか」の関係

ここでは、「性格」と「柏崎が好きか」という質問のクロス集計を行った(図3-35)。明るい性格の人ほど柏崎が「好き」と答える割合が高くなっているのがわかる。



(図3-35)

● 「自分専用自動車の有無」と「柏崎での買い物の利便性」の関係



(図3-36)

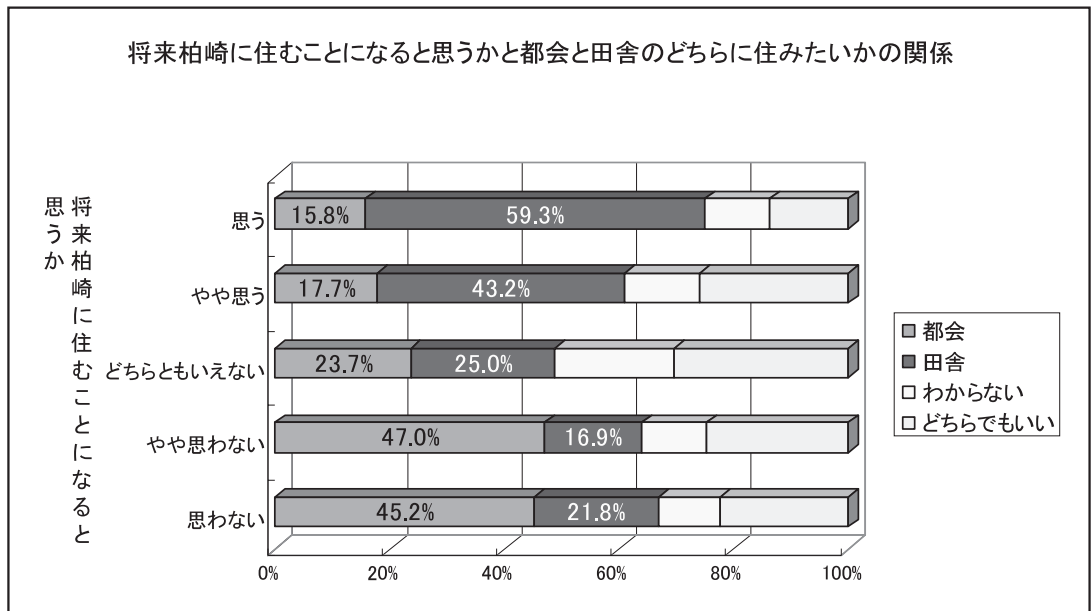
ここでは、「自分専用の車を持っているか」という質問と「柏崎での買い物は便利か」という質問のクロス集計を行った（図3-36）。

両者の間に大きな有意差は見られないが、若干「車を持っていない」と答えた人の方が柏崎での買い物を「不便」と感じている。

● 「将来柏崎に住むことになると思うか」と「都会と田舎のどちらに住みたいか」の関係

ここでは、「将来柏崎に住むことになると思うか」という質問と「都会と田舎のどちらに住みたいか」という質問のクロス集計を行った（図3-37）。

「将来柏崎に住むことになると思う」と答えた人ほど、「田舎」に住みたいと答えている。一方、「将来柏崎に住むことになると思わない」と答えた人ほど、「都会」に住みたいと答えている。



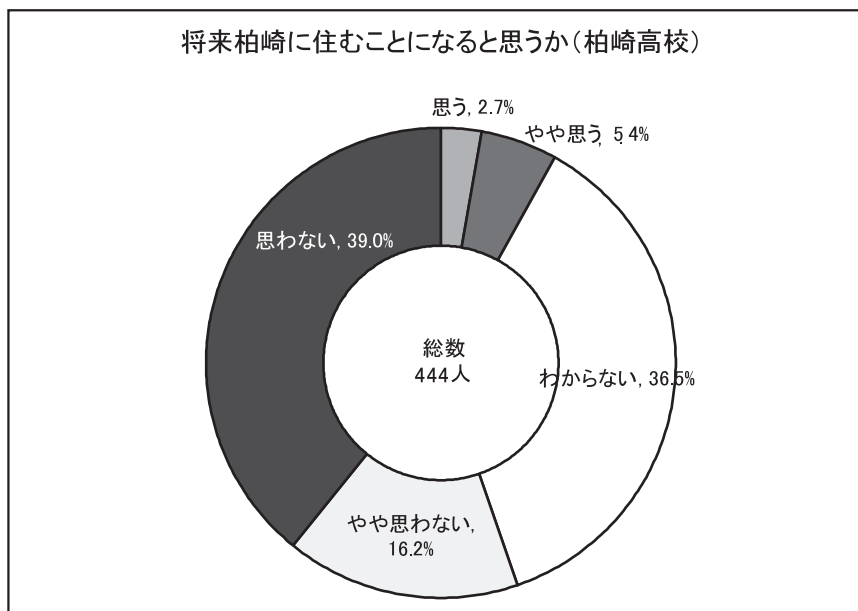
(図3-37)

(4) 高校ごとの傾向分析

高校ごとの違いを探るため、①将来柏崎に住むことになると思うかと、②希望する進学先・就職先があれば柏崎に住みたいかという2つの質問を取り上げた。

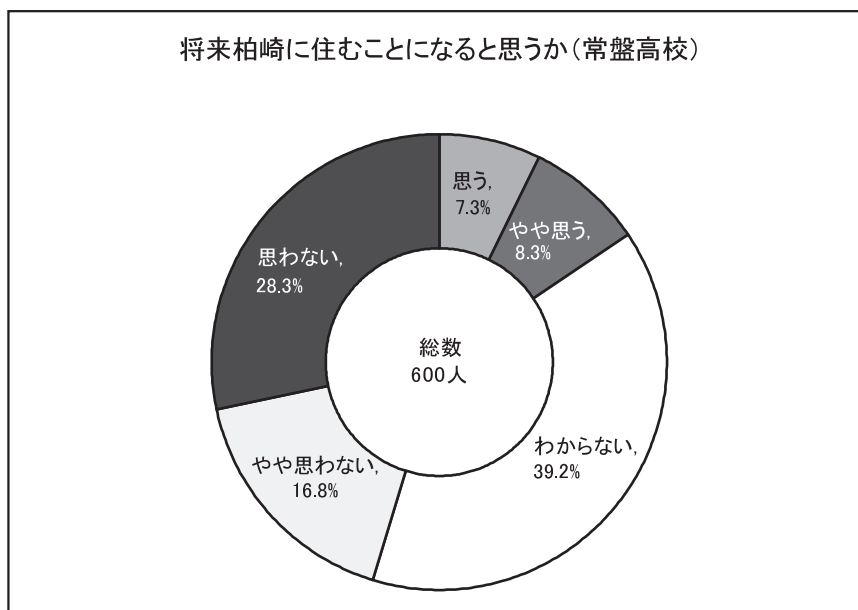
① 将来柏崎に住むことになると思うか

● 柏崎高校



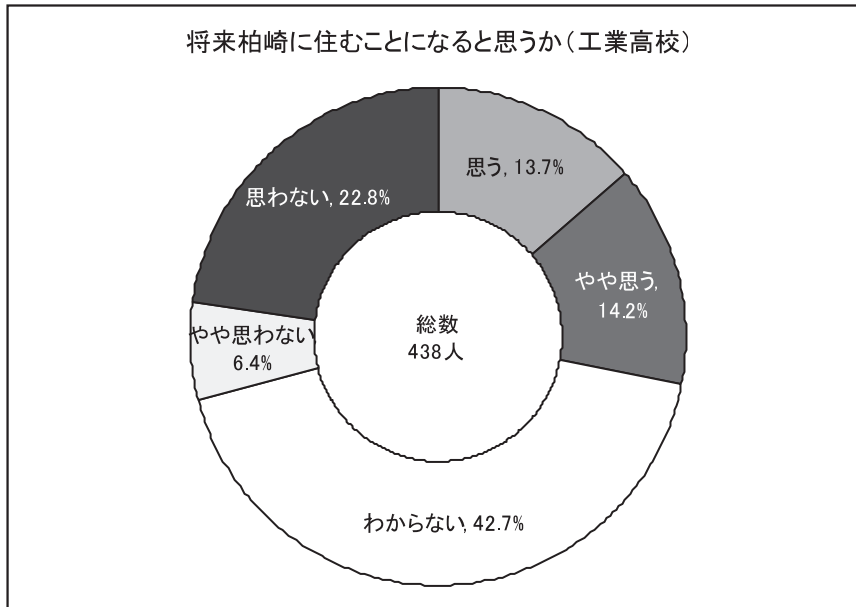
(図4-1)

● 常盤高校



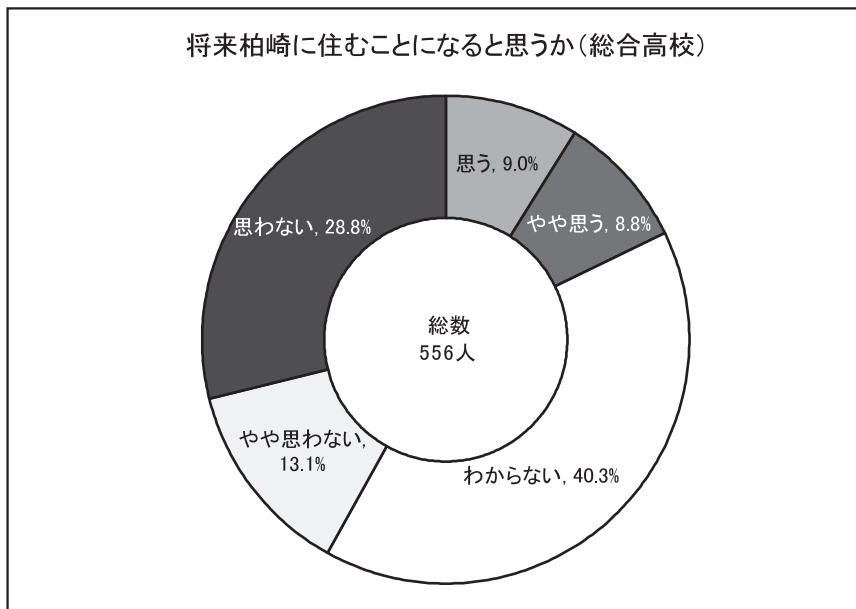
(図4-2)

●工業高校



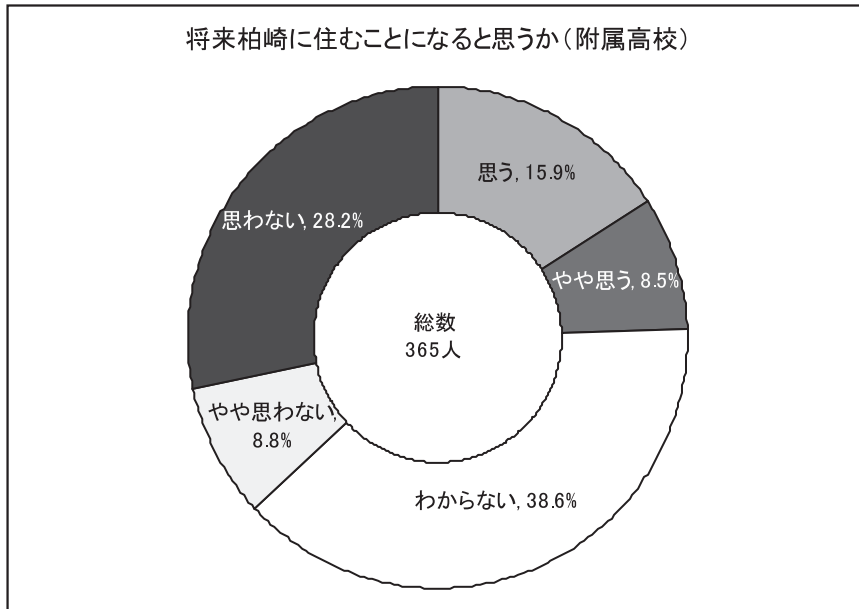
(図4-3)

●総合高校



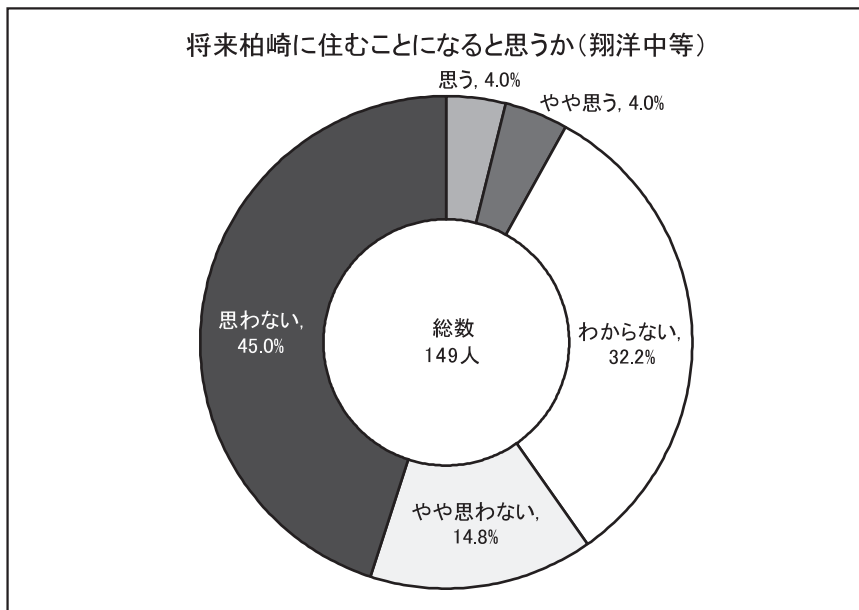
(図4-4)

●附属高校



(図4-5)

●翔洋中学校

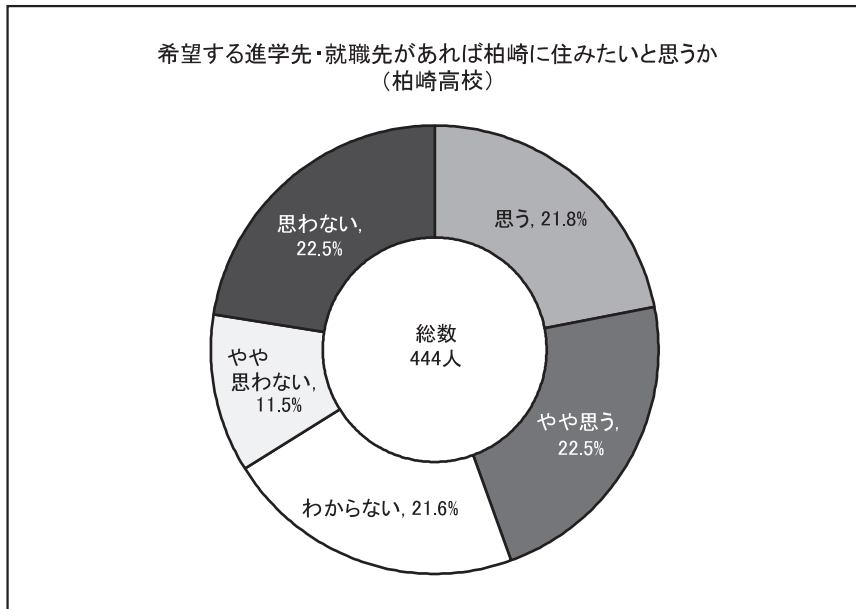


(図4-6)

全体として見ると、「思う」「やや思う」と答えた割合が低く、多くは「わからない」と答えている。また、柏崎高校と翔洋中学校において「思わない」という回答が多いことが特徴的である。

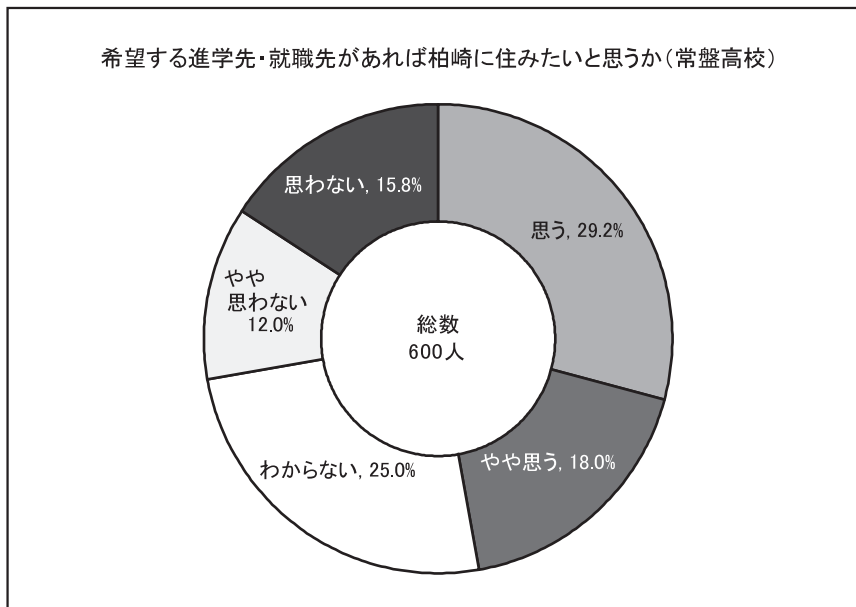
② 希望する進学先・就職先があれば柏崎に住みたいか

● 柏崎高校



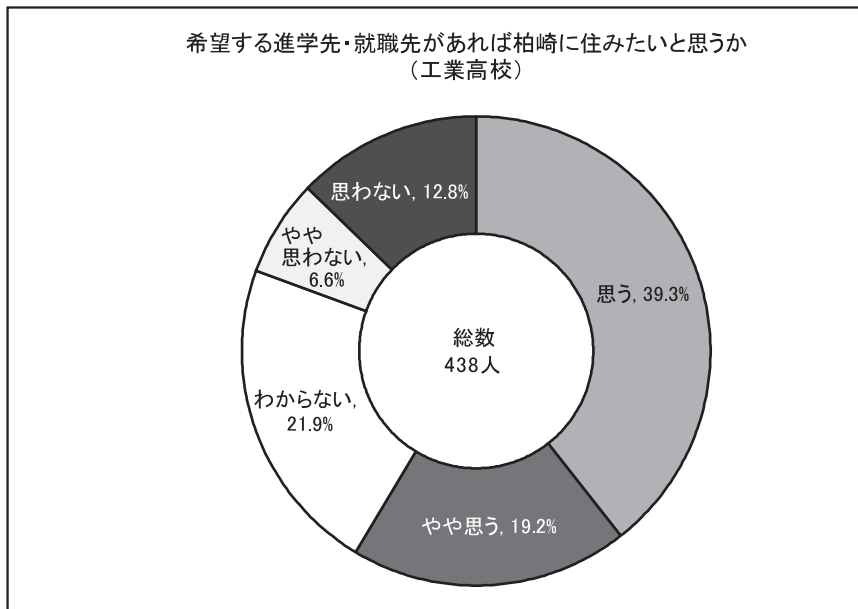
(図4-7)

● 常盤高校



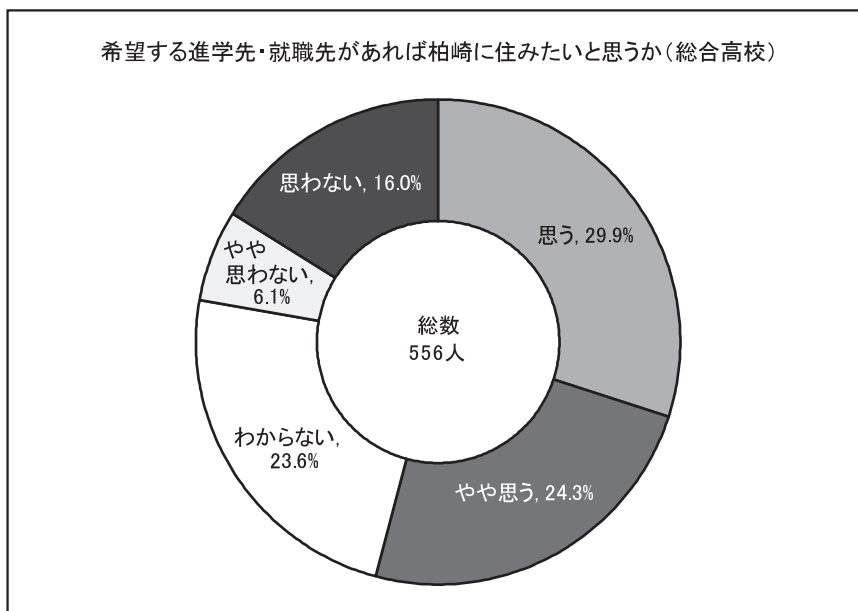
(図4-8)

● 工業高校



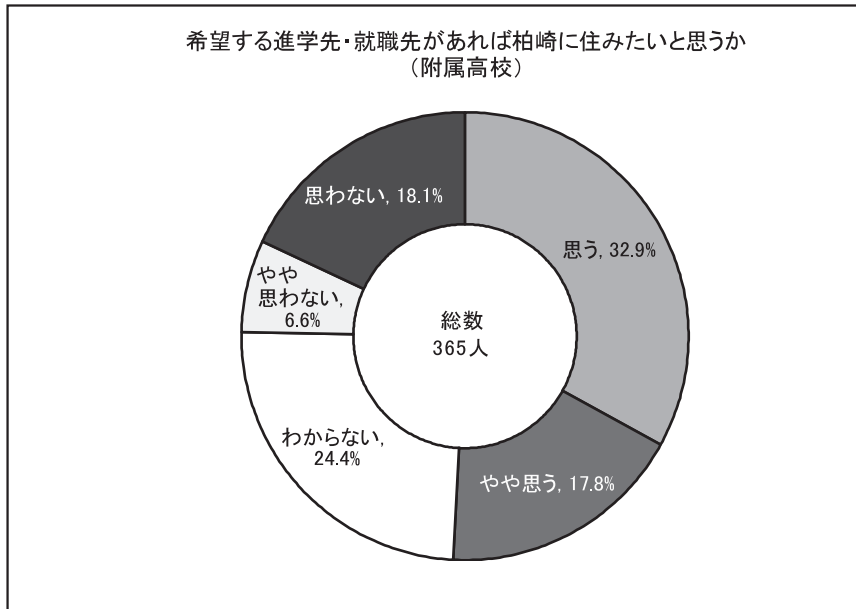
(図4-9)

● 総合高校



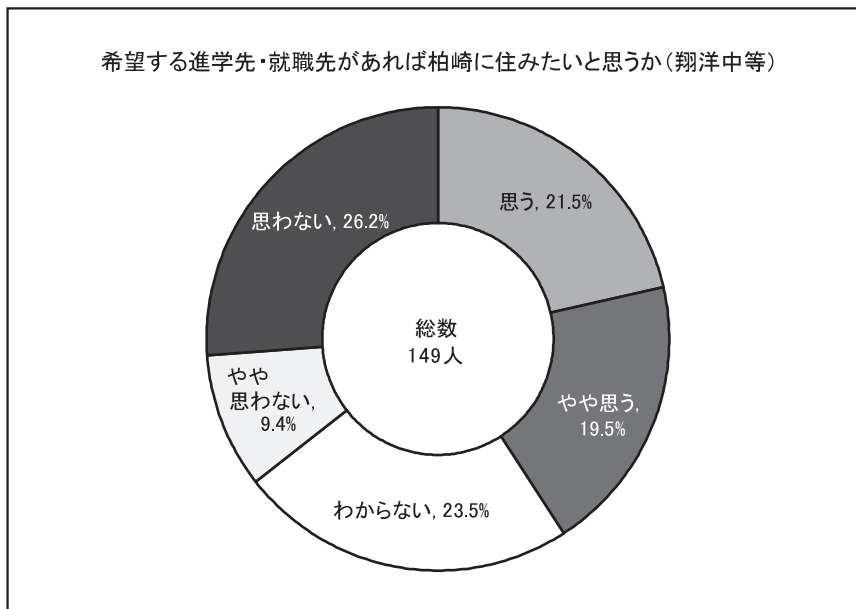
(図4-10)

● 附属高校



(図4-11)

● 翔洋中等学校



(図4-12)

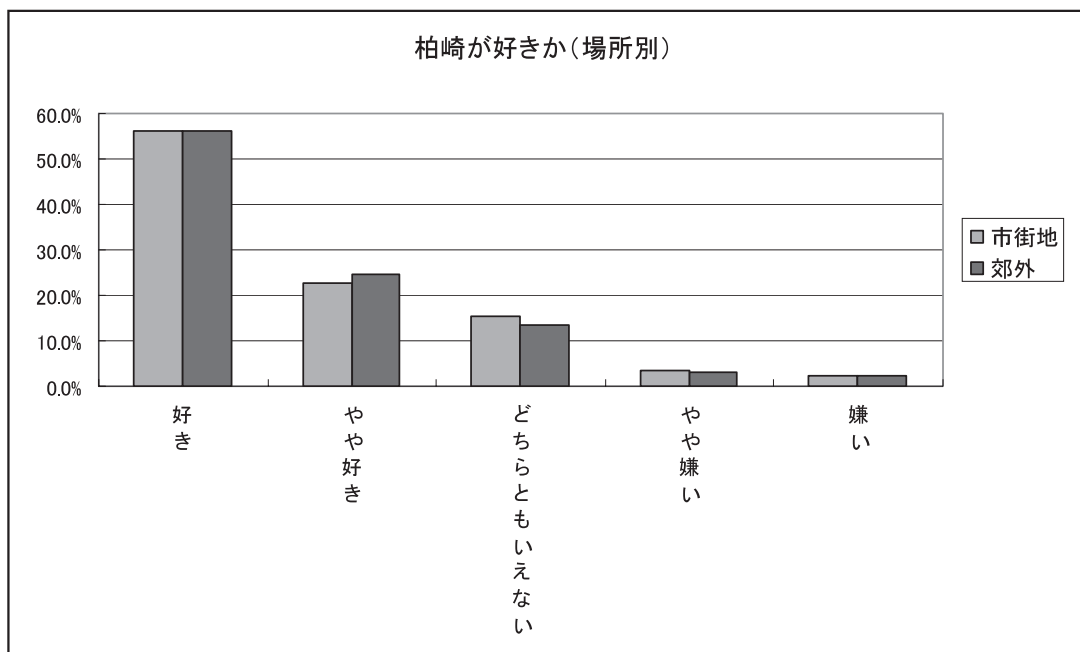
常盤高校・工業高校・総合高校・附属高校で「思う」という回答が多くなっている。逆に、柏崎高校と翔洋中等学校では「思う」と答えた人よりも「思わない」と答えた人の方が多くなっている。

(5) 市街地の小中学校と郊外の小中学校の傾向分析

ここでは、①柏崎が好きか、②将来柏崎に住むことになると思うか、③地震が住みたい度に与えた影響という3点について、市街地の小中学校と郊外の小中学校との違いを探った。

また、本調査では、市街地の学校区域を、小学校では柏崎小学校および比角小学校、中学校では第一中学校および第二中学校とし、それ以外を郊外の小中学校として定義した。

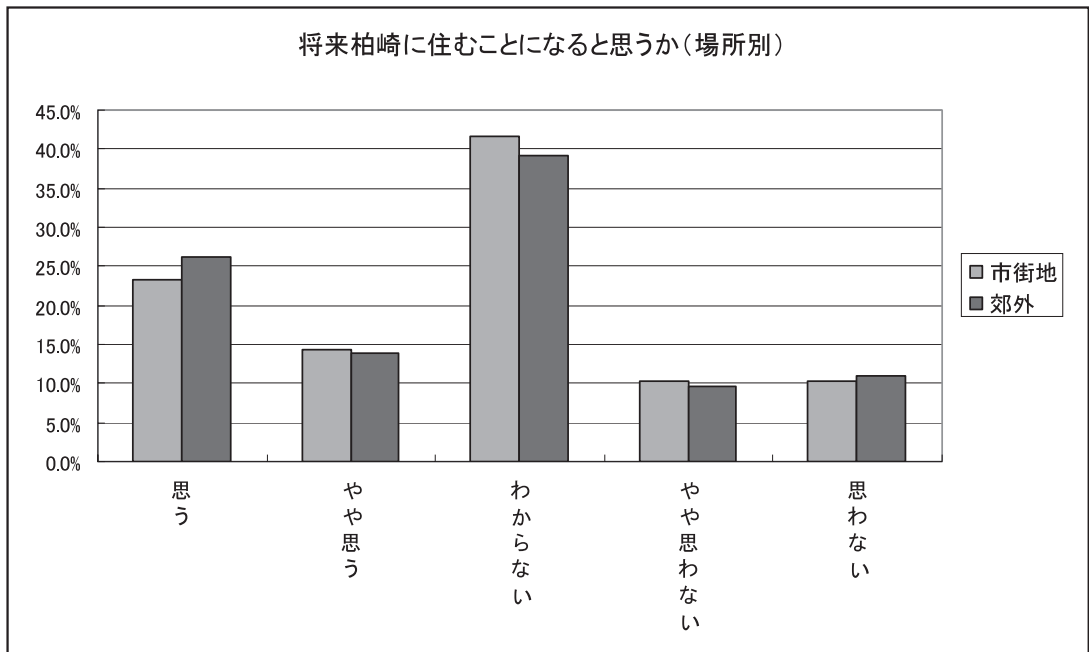
① 柏崎が好きか



(図5-1)

どちらにおいてもほぼ同じ割合であることから、市街地と郊外との間に有意差があるとは言えない。

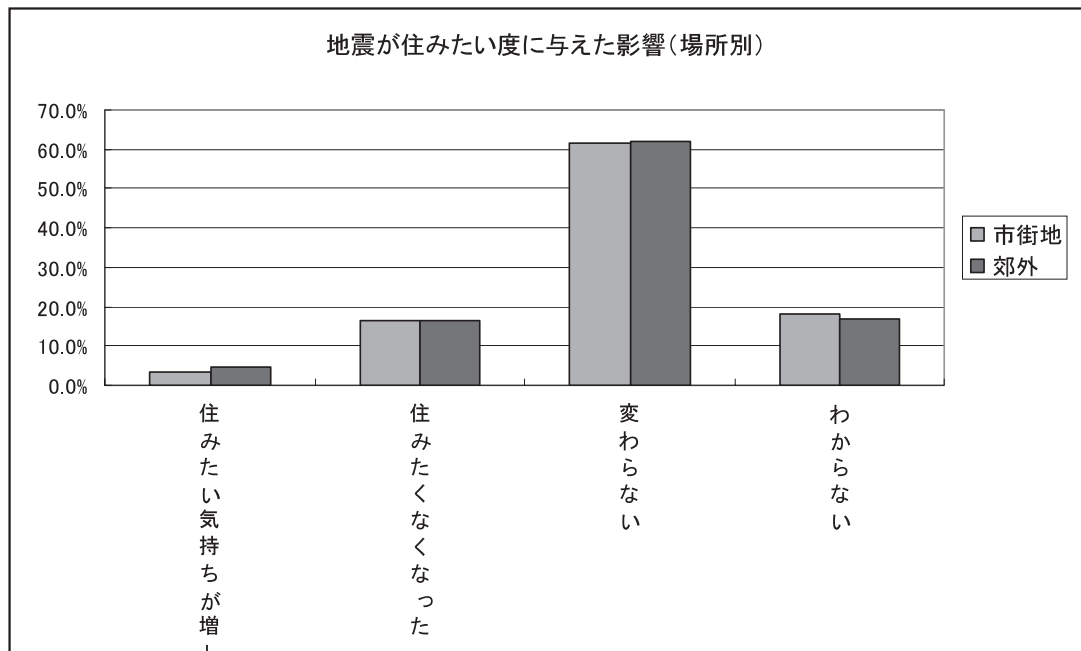
② 将来柏崎に住むことになると思うか



(図5-2)

郊外の方が「思う」という回答が若干高いが、どちらにおいてもほぼ同じ割合であることから、市街地と郊外との間に大きな有意差があるとは言えない。

③ 地震が住みたい度に与えた影響



(図5-3)

どちらにおいてもほぼ同じ割合であることから、市街地と郊外との間に有意差があるとは言えない。

(6) 問題の所在

ここでは、以上の分析結果より、住みたい度の向上を妨げる問題の所在(阻害要因)を明らかにする。

まず、1つ目として、最大の問題は、年齢が上昇するにつれて柏崎が好きではなくなることである。これは住みたい度の向上以前に、柏崎への愛着度の向上から取り組まなければいけない課題である。

2つ目は、音楽や映画を楽しめる場が少ないことである。これは、音楽や映画を趣味に持つ若者が多いなか、柏崎市内の施設では享受しきれない現状がある。

3つ目は、冬が嫌な存在になっていることである。年齢の上昇とともに冬が好きではなくなるのは、冬の厳しい気象条件等のマイナスイメージが先行し、冬を楽しめなくなっていることが推測される。

4つ目は、若者向けの商業施設・遊樂施設の不足である。多くの若者がこれらの施設を求めていることから、その実現が急務である。また、自動車を持たない小・中・高校生のことを考えると、郊外に点々と商業施設があるより、市街地に集約された形の方が効率が良い。

5つ目は、進学先・就職先の問題である。柏崎には2つの大学が存在するが、両大学ともに女子学生の数が極端に少ない。女子学生に人気のある学部や専門学校の設立が必要である。また、大学

や専門学校を卒業した後の就職先として、学校で学んできたことが活かせる職場も必要である。

6つ目は、公共交通の不便さである。バスの減便により、市内の公共交通の利便性は低下している。また、アンケート結果から、高校生が、柏崎の悪いところとして「バス・電車が少ないこと」を多く選んでいることから利便性の低さがうかがえる。

7つ目は、地震による影響である。二度にわたる大地震によって住みたい度が低下したことがわかった。

その他として、アンケート結果ならびに柏崎市内の雰囲気から推測されるのは「柏崎は格好悪い」「柏崎はダメだ」という風潮があることだ。これは、特別、若者に関して言えることではなく、親の世代にもそのような風潮があることから、世代を超えて柏崎への愛着度を向上させなければならない。

また、総じて言えるのは、これらの問題が複雑に絡み合っていること（相互関連性）、そして、柏崎離れが住みたい度を低下させ、さらに柏崎離れを促進する悪循環（循環性）が生じていることから、どれかひとつをクリアすれば住みたい度の向上につながるというものではなく、総合的に問題解決に取り組むことが必要である。

(7) アイデア一覧

趣味	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツを通じた柏崎への愛着心の向上 ■映画館の誘致や若者向けコンサートの開催
冬が好きか	<ul style="list-style-type: none"> ■学校教育によるウィンタースポーツの更なる定着 ■面倒な除雪や雪かきのマイナスイメージの排除 ■降雪時の歩道の除雪や歩行者にとって歩きやすい工夫 ■イルミネーションを活用した暖かい雰囲気づくり
柏崎のメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■海を大切にすること ■水のおいしさの魅力アピール ■祭りに参加させることによる愛着度の向上 ■柏崎の良いところのアピール ■イルカウォッチングのWeb活用によるリアルタイム情報発信 ■パーティー付きサンセットクルージング ■海と商店街を利用した日帰り旅行コースの立案 ■Webを利用した若い世代からの情報発信 ■柏崎の良いところを紹介しあうプレコンの開催 ■海の幸を堪能できるバーベキュー料理の提供 ■かしわざき最適人間空間化計画 ■景観スポットに愛称をつけ定着化を図る
柏崎のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■公共交通の充実 ■子どもがバスに乗りたくなるような工夫 ■歩いて必要な買い物ができること

柏崎のデメリット	<ul style="list-style-type: none"> ■御用聞き制度の立ち上げ ■商店街近辺に無料駐車場の設置 ■エコライクな色調による景観の統一 ■建物の劣化を防ぎ街並の清潔感を保つこと ■アウトレットショッピングモールの設営 ■商店街の抜本的な再開発 ■自然エネルギー発電の重視 ■歩行者天国で骨董品やリサイクル品のバザール開催
都会と田舎のどちらに住みたいか	<ul style="list-style-type: none"> ■都会への交換留学制度 ■都市に対する差別化
働くことへの意識	<ul style="list-style-type: none"> ■中学・高校での早期インターンシップ制度の確立 ■アパレル企業の誘致
地震による住みたい度への影響	<ul style="list-style-type: none"> ■超長期かしわざき景観ビジョン策定 ■精神的ダメージを受けた人へのカウンセリングの充実 ■災害に強いまちづくり

(8) かしわざき住みたい度を向上させるための提言

若者のかしわざき住みたい度が低下している原因は、商業施設の不足や魅力的な進学先・就職先がないこと、若者の趣味に対応できていないことなど上述した通りである。しかし、それらは枝葉的な存在であり、問題の根本は若者が柏崎が好きではなくなることにある。年齢が上がるにつれて柏崎の良いところよりも悪いところに目がいくようになり、柏崎の良さに気付かなくなっているのが現状である。

そこで、上記に示したアイデアを踏まえ、かしわざき住みたい度を向上させるための提言を述べる。

第一に、「未来かしわざきプレコン」という柏崎の良いところを紹介しメリットを共有しあう目的のプレゼン・コンテストを開催する。具体的には、「地賛地奨」をテーマに柏崎の良いところを探し出し、磨き上げ、アイデアを出し合う。コンテストの前段階として、小中高大の生徒たちの情報教育の授業にも組み込んでもらい、全員参加型の柏崎プレゼンをホームページに掲載する。そこでカウントの高かった人をコンテスト参加資格者とする。コンテストは市当局だけではなく、大学や商工会議所や企業の方々から後援していただき華やかな催しとすることができれば話題性もあり、柏崎のメリットの掘り起こしとしてもうまくいくのではないか。また、市外からもコンテストに参加できる道筋をたてることでUターン等の刺激になる。

第二に、今ある柏崎の魅力を磨き上げ、若者にとっても素晴らしい誇りの持てるものにする。例えば、海岸線に並行する松林を整備し、「海と松林」という景観の良さをつくりあげる。そして、風の丘など景観の良い所で、海の幸を用いたバーベキューを提供できるようにする。また、「花いっぱい丘と海の町」や「日本で一番夕日が美しい海」というイメージ付けを行う。柏崎の最大の魅力である海を全身で味わうことができれば、若者にとっての魅力付けが可能であろう。

第三に、柏崎の文化や風土を取り入れた都市景観づくりを行う。新しく都市計画を企てる際、高

層ビルやコンクリートの建物だけでは、他の都市との差別化ができず、柏崎の魅力が薄れる恐れがある。例えば、埼玉県川越市や長野県小布施町では、景観法を適用し、街並の整備に努めた。古くから残る建物は守りながら磨き上げ、新しくつくる建物は、伝統を受け継がせることで、景観の統一を図り、観光地として知られるようになった。つまり、柏崎も地域独自の文化を取り入れた景観を整備し、PRすることが必要である。また、柏崎は潮風の影響で建物の劣化が早く進むので、手入れの行き届いた建物の保存を行う必要がある。

今の若者は柏崎の魅力に気付いていないのが実情である。そのため、柏崎への愛着が薄れ、最終的に住みたい度の低下を引き起こしている。若者が柏崎の魅力を再発見することができれば、柏崎への愛着度は上がり、それとともにかしわざき住みたい度も向上するであろう。

(9) まとめ

今回の調査は、柏崎市から「柏崎の個性・魅力づくり調査研究」の委託研究として、若者の現実的住みたい度と潜在的住みたい度を測定し、それに伴う阻害要因を分析することを主目的とした。この調査では、若者に限定し、市内の小学校、中学校、中等教育学校、高校、大学の全数を対象にアンケートを実施するという大胆な試みをし、サンプリング数を増やすことで、より忠実に若者の姿を映し出した。

調査結果を見ると、現実的住みたい度と潜在的住みたい度は、年齢上昇とともに下降し、若者の柏崎離れを裏付ける結果が出た。しかしながら、重点分析を行うと、「音楽・映画を趣味に持つ人をカバーしきれていないこと」、「商業施設の少なさ」、「公共交通の少なさ」、「冬が嫌いな人ほど柏崎も嫌いと感じること」、「魅力的な進学先・就職先がないこと」など、阻害要因がいくつか見つかった。これらを総合的にクリアすることで、若者のかしわざき住みたい度は上昇すると考えられる。

また、若者は都会の華やかさに魅力を感じている傾向にあり、柏崎の持つ独自の魅力に気付いていないようである。つまり、柏崎の魅力若者が再発見できれば、愛着度は上がり、それとともにかしわざき住みたい度も上昇するといえる。

そこで、当委員会では、柏崎の良さを共有しあうことと、柏崎の強みを磨き上げることをコンセプトとして提言を述べた。

1つ目は、「地賛地奨」をテーマに、柏崎の良いところを紹介しメリットを共有しあうプレコンの開催である。

2つ目は、「海と松林」という柏崎が元来持っていた美しい景観の整備と、海の幸を使った柏崎の魅力付けである。

3つ目は、柏崎の文化や風土を活かした街並の整備である。

これらを行うことで、柏崎にしかない魅力を作り上げることができ、他都市との差別化が可能となる。「他都市にはない魅力が柏崎にはある」と若者は柏崎に自信を持つことができ、柏崎への愛着度は上がり、延いてはかしわざき住みたい度が向上する。

ここでお詫びしなくてはならないことは、本来であれば柏崎を何らかの原因で離れている柏崎出身者にアンケート調査を行う予定だったが、中越沖地震の影響で準備が遅れたことにより、今回の調査ではそこまで実施することができなかった。次回の調査研究では、柏崎を離れている人にもアン

ケート調査を実施したい。

最後に、かなり多くの質問項目であったにもかかわらず、92.9%という高い回収率を実現できたことは、アンケートに回答していただいた児童・生徒ならびに学生の皆様、また、膨大な枚数の配布・回収に協力していただいた先生方、柏崎教育委員会ならびに柏崎市役所の皆様のご協力によるものであり、感謝申し上げますとともに、今回集計したデータを基に柏崎の魅力づくりにおおいに活用していきたい。

新潟産業大学住みたい度調査研究委員会名簿

氏名	所属・職名
山 崎 一 輝	新潟産業大学教授
江 口 潜	新潟産業大学准教授
山 本 康 太	新潟産業大学大学院 経済学研究科

若者かしわざき住みたい度調査研究

報 告 書

～資 料 編～

3. 資料編

●アンケート票の説明

本調査研究では、アンケート対象者の年齢にかなりの幅があったため、①小学校低学年用、②小学校高学年用、③中学・高校用、④大学・一般用という4つのアンケート票を用いてアンケートを実施した。

■総括票

小学校低学年用	小学1年生～3年生が対象
小学校高学年用	小学4年生～6年生が対象
中学・高校用	中学生と高校生が対象
大学・一般用（Webも含む）	大学生と社会人が対象

また、共通インデックスとは、同じ質問であるが、それぞれのアンケート票において問題番号が異なるため、大学・一般用の問題番号を基準とするものである。

小学生低学年用アンケート票

小学校低学年用

わかもの 若者かしわざき住みたい度調査研究

新潟産業大学経済学部 新潟産業大学住みたい度調査研究委員会

《アンケートのかきかた》

いまからアンケートをします。あなたが思う答えをひとつだけえらんで四角の中に数字を書いてください。

【例】あなたは柏崎が好きですか。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらでもない
4 どちらかといえばきらい 5 きらい

 /

この四角の中に数字を書いてください

かきかたの例をよくみて、次のアンケートに答えてください。

(1) あなたはおとこの子ですかおんなの子ですか。

- 1 おとこの子 2 おんなの子

(2) あなたはいま、おじいさんかおばさんといっしょに暮らしていますか。

- 1 いいえ 2 いいえ

(3) あなたはどんな性格ですか。

- 1 あかるい 2 のんびりしている 3 すなお 4 がんばりや

- 5 まじめ 6 しっかりしている 7 元気がいい

- 8 はずかしがりや 9 じぶんではわからない

- 10 そのた ()



(4) あなたは家族でいっしょに食事をとることが多いですか。

- 1 多い 2 どちらかといえば多い 3 どちらともいえない

- 4 どちらかといえば少ない 5 少ない

(5) あなたは冬が好きですか。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない

- 4 どちらかといえばきらい 5 きらい



柏崎でメ知識 ～乳んま市～


江戸時代から300年の歴史をもち、もともとは馬を売る「馬市」が始まりました。現在ではおよそ600店の露店がならび、3日間で21万人が訪れます。柏崎市の一大イベントです。

(6) あなたは柏崎が好きですか。

1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
4 どちらかといえばきらい 5 きらい

(7) あなたはおとなになったら柏崎に住むことになると思いますか。

1 思う 2 どちらかといえば思う 3 わからない
4 どちらかといえば思わない 5 思わない



(8) あなたがとりあえず住むとしたら東京のようなとかいと柏崎のような
いなかのどちらをえらびますか。

1 とかい 2 いなか 3 わからない 4 どちらでもいい


(9) あなたがおじいさんやおばあさんになったとき、東京のようなとかい
と柏崎のようないなかのどちらに住みたいと思いますか。

1 とかい 2 いなか 3 わからない 4 どちらでもいい

柏崎マメ知識 ～登山～
柏崎市と旧村崎町の境界にある高さ993メートルの雄峰です。日本300名山にも選ばれ、登山道の途中に「ガンバレ」と書かれたガンバレ岩があるので探してみましょう。

(10) あなたは柏崎のどんなところが好きですか。(1つから3つえらんで
ください)

1 山 2 海 3 まわりの人びとのやさしさ 4 けしき
5 おまつり 6 としょかん 7 はくぶつかん
8 かいものべんりさ 9 しずかさ
10 げんしりよくはつでんしよ



11 むかしのものがいっぱいこっていること 12 ない
13 その他 ()

(11) あなたは柏崎のどんなところがきらいですか。(1つから3つえら
んでください)

1 にぎやかでないこと 2 かいものができるお店がすくないこと
3 バスやでんしゃがあまりこないこと
4 まわりの人がうとうしいこと 5 すごくきらいな人がいること
6 あそぶところがすくないこと
7 しごとをするところがすくないこと 8 風・雨・雪
9 げんしりよくはつでんしよ 10 祭開気 11 ない
 12 その他 ()


小学校高学年用アンケート票

小学校高学年用
わかもの 若者 **かしわざき 住みたい** **どちょうせけんきょう 度調査研究**
 新潟産業大学住みたい度調査研究委員会

＜アンケートの書き方＞
 次のアンケートの中から当てはまるものを選び、回答欄に選んだ数字を1つだけ記入してください。
 【記入例】あなたは相手が好きですか。
 ①好き ②どちらかといえば好き ③どちらともいえない
 ④どちらかといえば嫌い ⑤嫌い
 / 左の四角の中に記入してください。
 記入例を参考にして、以下のアンケートにお答えください。

(1) あなたの性別をお選びください。
 ① 男 ② 女

(2) あなたは今、おじいさんかおばあさんと一緒に暮らしていますか。
 ① はい ② いいえ




(3) あなたはどんな性格ですか。
 ① 明るい ② のんびりしている ③ 素直 ④ 頑張り屋 ⑤ まじめ
 ⑥ しっかりしている ⑦ 活発 ⑧ 内気 ⑨ 自分ではわからない
 ⑩ その他 ()

(4) あなたの趣味は何ですか。
 ① スポーツ ② 読書 ③ まんが・アニメ ④ アウトドア ⑤ 旅行
 ⑥ 音楽・映画 ⑦ 洋服・おしゃれ ⑧ 料理 ⑨ ゲーム・インターネット
 ⑩ その他 ()

(5) 物事を決めるとき、周りの意見にどのくらい影響を受けますか。
 ① かなり影響を受ける ② すこし影響を受ける ③ わからない
 ④ あまり影響を受けない ⑤ まったく影響を受けない

(6) あなたは食事をするとき、パンとご飯のどちらが多いですか。
 ① パン ② ご飯

(7) あなたは家族と一緒に食事をとることが多いですか。
 ① 多い ② どちらかといえば多い ③ どちらともいえない
 ④ どちらかといえば少ない ⑤ 少ない



(8) あなたは茶が好きですか。

1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
 4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(9) あなたは栢崎が好きですか。

1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
 4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(10) あなたは天人になったら栢崎に住むことになると思いますか。

1 思う 2 どちらかといえば思う 3 わからない
 4 どちらかといえば思わない 5 思わない

(11) あなたがとりあえず住むとしたら東京のような都会と栢崎のような田舎のどちらを選びますか。

1 都会 2 田舎 3 わからない 4 どちらでもいい

(12) あなたがおじいさんやおばあさんになったとき、東京のような都会と栢崎のような田舎のどちらに住みたいと思いますか。

1 都会 2 田舎 3 わからない 4 どちらでもいい




(13) あなたは栢崎のどんなところが好きですか。(1つから3つ選んでください)

1 山 2 海 3 まわりの人々の優しさ 4 景色 5 お祭り 6 図書館
 7 博物館 8 買い物の便利さ 9 静かさ 10 原子力発電所
 11 昔の文化が多く残っていること 12 ない
 13 その他 ()

(14) あなたは栢崎のどんなところが嫌いですか。(1つから3つ選んでください)

1 にぎやかでないこと 2 買い物ができるお店が少ないこと
 3 電車がバスがあまり来ないこと 4 まわりの人がうとうとしこと
 5 すごく嫌いな人がいること 6 遊ぶところが少ないこと
 7 働く場が少ないこと 8 風・雨・雪 9 原子力発電所 10 雰囲気
 11 ない 12 その他 ()



栢崎マメ知識 ~えんま市~
 江戸時代から300年の歴史をもち、もともとは馬を売る「馬市」が始まりました。現在ではおよそ600店の店舗がならび、3日間で21万人が訪れます。栢崎市の一大イベントです。

(15) わずか3年の間で柏崎は強い地震を2度も経験し、さらに原子力発電所の火災が悪い印象を与えましたが、それによってあなたのかしわざき住みたい度のような影響がありましたか。

- 1 住みたい気持ちが増した 2 住みたくなかった 3 変わらない
4 わからない

(16) あなたが暮らしやすいと思うのはどんなことですか。(1つから3つ選んでください)

- 1 山や海が多いこと 2 静かに暮らせること 3 道路が広いこと
4 買い物をするお店が多いこと 5 公園や広場が多いこと
6 電車やバスが使いやすいこと 7 危険な事件が起きないこと
8 地震などの災害にたええられること 9 遊ぶお店が多いこと
10 みんながお金持ちになること 11 にぎやかなこと
12 暮らしにお金が掛からないこと 13 車イスでどこでも行きやすいこと
14 その他 ()



柏崎マメ知識 ～米山～

柏崎市と巨港町の境界にある高さ993メートルの雄峰です。日本300名山にも選ばれています。登山道の途中に「ガンバレ」と書かれたガンバレ岩があるので探してみましよう。

(17) あなたはこれからの柏崎に何を望みますか。(1つから3つ選んでください)

- 1 服屋さんを増やす 2 遊べるお店を増やす
3 何でも売っている大型店を増やす 4 遊園地をつくる
5 食事ができるお店を増やす 6 電車やバスを使いやすいにする
7 木や花を大切にす 8 働く場を多くする 9 地震などの災害に強くなる
10 静かに住めるようにする 11 図書館や博物館を増やす
12 商店街を盛り上げる 13 子どもを育てやすくする
14 病院を増やす 15 お年寄りが住みやすくする
16 地域の入たちが仲良くなる 17 農業をする人を増やす
18 漁業をする人を増やす 19 柏崎に旅行しに来る人を増やす
20 その他 ()



柏崎マメ知識 ～海～

柏崎にはおよそ42km続く海岸線に15ヶ所の海水浴場があります。4月上 旬から5月下旬にかけてはイルカウォッチングを楽しめます。イルカと一緒に柏崎の海を堪能してみたいかでしょうか。

中学・高校生用アンケート票

中学・高校生用

若者かしわざき住みたい度調査研究

新潟産業大学住みたい度調査研究委員会

＜アンケートの書き方＞

次のアンケートの中から当てはまるものを選び、回答欄に選んだ数字を1つだけ記入してください。

【記入例】あなたは柏崎が好きですか。

① 好き ② どちらかといえば好き ③ どちらともいえない
④ どちらかといえば嫌い ⑤ 嫌い

/

左の四角の中に記入してください


記入例を参考にして、以下のアンケートにお答えください。

(1) あなたの性別をお選びください。
1 男 2 女

(2) あなたは今、おじいさんかおばあさんと一緒に暮していますか。
1 はい 2 いいえ

(3) あなたはどんな性格ですか。
1 明るい 2 のんびりしている 3 素直 4 頑張り屋 5 まじめ
6 しっかりしている 7 活発 8 内気 9 自分ではわからない
10 その他 ()


(4) あなたの趣味は何ですか。
1 スポーツ 2 読書 3 まんが・アニメ 4 アウトドア 5 旅行
6 映画 7 洋服・おしゃれ 8 料理 9 ゲーム・インターネット
その他 ()



(5) 物事を決めるとき、まわりの意見にどのくらい影響を受けますか。
1 かなり影響を受ける 2 少し影響を受ける 3 わからない
4 あまり影響を受けない 5 まったく影響を受けない

(6) 両親はあなたに柏崎に残ってほしいと願っていますか。
1 すごく願っている 2 少し願っている 3 わからない
4 あまり願っていない 5 まったく願っていない
6 願っているが親の意見は関係ない 7 どちらでもいい

(7) あなたは食事をするとき、パンとご飯のどちらが多いですか。
1 パン 2 ご飯




(8) あなたは家族で一緒に食事をとることが多いですか。
1 多い 2 どちらかといえば多い 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば少ない 5 少ない

(9) あなたは冬が好きですか。
1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(10) あなたは柏崎が好きですか。
1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(11) あなたは将来柏崎に住むことになると思いますか。
1 思う 2 どちらかといえば思う 3 わからない
4 どちらかといえば思わない 5 思わない



柏崎マメ知識 ～米山～

柏崎市と旧神崎町の境界にある高さ993メートルの雄峰です。日本300名山にも選ばれています。登山道の途中に「ガンバレ」と書かれたガンバレ岩があるので探してみよう。

- (12) あなたは都会と田舎のどちらに住みたいと思いますか。
1 都会 **2** 田舎 **3** わからない **4** どちらでもいい
- (13) あなたが老後に暮らすとしたら、都会と田舎のどちらを選びますか。
1 都会 **2** 田舎 **3** わからない **4** どちらでもいい
- (14) 柏崎市以外に住みたいと思うところはありますか。
1 首都圏 **2** 新潟市 **3** 長岡市 **4** 上越市 **5** 関西 **6** ない
7 その他 ()
- (15) 上記(14)の質問で答えた理由は何ですか。
1 経済的豊かさ **2** 魅力的な進学先がある
3 魅力的な就職先がある **4** 買物ができるお店がいっぱいある
5 遊べるお店がいっぱいある **6** 電車やバスの本数が多い
7 他のまちにあこがれている **8** 友達・先輩がいる **9** 親もとを離れたい
10 その他 ()
- (16) 柏崎にあなたが望む就職先・進学先があれば、柏崎に住み続けたいと思いますか。
1 思う **2** どちらかといえば思う **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば思わない **5** 思わない
- (17) 家族が仲良く、ゆとりある生活を送るのに向いているのは次のうちどれだと思いますか。
1 首都圏 **2** 柏崎市 **3** 新潟市 **4** 長岡市 **5** 上越市 **6** ない
7 その他 ()



- (18) あなたは柏崎のどんなところが良いと思いますか。(1～3つまで選択可)
1 山 **2** 海 **3** 地域の人の優しさ **4** 景色 **5** お祭り **6** 図書館
7 博物館 **8** 買物物の便利さ **9** 静かさ **10** 原子力発電所
11 昔の文化が多く残っていること **12** ない
13 その他 ()
- (19) あなたは柏崎のどんなところが悪いと思いますか。(1～3つまで選択可)
1 にぎやかでないこと **2** 買物ができるお店が少ないこと
3 電車やバスの本数が少ないこと **4** 周りの人がうとうしいこと
5 すぐく嫌いな人がいること **6** 遊ぶところが少ないこと
7 働く場が少ないこと **8** 風・雨・雪 **9** 原子力発電所 **10** 雰囲気
11 ない **12** その他 ()
- (20) 柏崎にあるいくつかの図書館に満足していますか。
1 満足 **2** どちらかといえば満足 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不満 **5** 不満
- (21) 柏崎での生活は快適だと思いますか。
1 快適 **2** どちらかといえば快適 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不快 **5** 不快
- (22) 中越沖地震が発生したとき、あなたはどこにいましたか。
1 市内 **2** 市内(旧西山町) **3** 市内(旧高柳町) **4** 刈羽村
5 県内(市外) **6** 県外(首都圏を除く) **7** 首都圏
- (23) 中越沖地震について、あなたはどう感じましたか。
1 とても恐かった **2** まままあ恐かった **3** わからない
4 それほど恐くなかった **5** 全然恐くなかった

柏崎マズ知照 ～えんま市～
 江戸時代から300年の歴史をもち、もともとは馬を売る「馬市」が始まりでした。現在ではおよそ600店の露店が並び、3日間で21万人が訪れます。柏崎市の一大イベントです。

(24) わずか3年の間で柏崎は強い地震を2度も経験し、さらに原子力発電所の火災が悪い印象を与えましたが、それによってあなたの**かしわざき**住みたい度にどのような影響がありましたか。

- 1 住みたい気持ちが増した 2 住みたくなかった 3 変わらない
4 わからない

(25) あなたが暮らしやすいと思うのはどんなことですか。(1~3つまで選択可)

- 1 山や海が多いこと 2 静かに暮らせること 3 道路が広いこと
4 買い物をするお店が多いこと 5 公園や広場が多いこと
6 電車やバスが使いやすいこと 7 危険な事件が起きないこと
8 地震などの災害にたえられること 9 遊ぶお店が多いこと
10 景気がいいこと 11 にぎやかなこと
12 暮らしにお金がかからないこと 13 バリアフリーが浸透していること
14 その他 ()

(26) あなたはこれからの柏崎に何を望みますか。(1~3つまで選択可)

- 1 服屋さんを増やす 2 遊ぶお店を増やす
3 何でも売っている大型店を増やす 4 遊園地をつくる
5 食事ができるお店を増やす 6 電車やバスの本数を増やす
7 木や花を大切にすること 8 働く場を多くすること 9 地震などの災害に強くなる
10 静かに住めるようにすること 11 図書館や博物館を増やす
12 商店街を盛り上げる 13 子どもを育てやすくすること 14 病院を増やす
15 お年寄りが住みやすくすること 16 地域の人たちが仲良くなる
17 農業をする人を増やす 18 漁業をする人を増やす
19 柏崎に旅行しに来る人を増やす 20 その他 ()



(27) 柏崎にどんな職場があれば若い人が増えると思いますか。(1~3つまで選択可)

- 1 病院などの医療関係 2 老人ホームなどの介護施設 3 本を出版する企業
4 何でもあつかう総合商社 5 テレビなどのマスコミ関係 6 工場
7 ホテルや旅館 8 海外商品をあつかう企業 9 洋服をあつかう企業
10 パソコンやインターネットで販売をする企業 11 美容院・床屋さん
12 銀行 13 家を買ったり貸したりする企業 14 ビルや家を建てる企業
15 電気やガスを売る企業 16 レストラン 17 遊園地
18 社会のことを調べたり研究したりする企業 19 何をしても増えない
20 その他 ()

(28) 将来柏崎市はどうなっていると思いますか。一番に思う事柄を選んでください。

- 1 若者に好かれるまちづくりをしている 2 過疎化が進む
3 お年寄りが増える 4 基幹産業が整備される 5 農業が見直される
6 観光に力を入れるまちづくりをしている 7 便利で暮らしやすくなる
8 暮らし向きがよくなる 9 変わらない 10 わからない

(29) あなたが皆に柏崎を好きになってもらうまちづくりをすすめるとしたら、どんな施策を行いますか。一番やりたい事柄を選んでください。

- 1 工場を増やす 2 地震などの災害に強くなる 3 街をきれいにすること
4 子どもを育てやすくすること 5 お年寄りが住みやすくすること
6 公園を増やす 7 学校の勉強を楽しくすること
8 買い物ができるお店を多くすること 9 電車やバスの本数を増やす
10 その他 ()



柏崎マズ知識 ~海~

柏崎にはおよそ42km続く海岸線に15ヶ所の海水浴場があります。4月上旬から5月下旬にかけてはイルカウォッチングを楽しめます。イルカと一緒に柏崎の海を堪能してみたいかどうでしょうか。

(12) 両親はあなたに柏崎に残ってほしいと願っていますか。

- 1 すごく願っている 2 少し願っている 3 わからない
4 あまり願っていない 5 全く願っていない
6 願っているが親の意見は関係ない 7 どちらでもいい

(13) あなたは買い物をするとき、以下で挙げるうちのどこを多く利用しますか。

- 1 コンビニ 2 スーパー 3 専門店 4 百貨店 5 その他 ()

(14) あなたは食事をするとき、パンと米のどちらが多いですか。

- 1 パン 2 米

(15) あなたは家族と一緒に食事をとることが多いですか。

- 1 多い 2 どちらかといえば多い 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば少ない 5 少ない

(16) あなたは冬が好きですか。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(17) あなたは柏崎が好きですか。

- 1 好き 2 どちらかといえば好き 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば嫌い 5 嫌い

(18) あなたは将来柏崎に住むことになると思いますか。

- 1 思う 2 どちらかといえば思う 3 わからない
4 どちらかといえば思わない 5 思わない

(19) あなたは都会と田舎のどちらに住みたいと思いますか。

- 1 都会 2 田舎 3 わからない 4 どちらでもいい

(20) あなたが老後に暮らすとしたら、都会と田舎どちらを選びますか。

- 1 都会 2 田舎 3 わからない 4 どちらでもいい

(21) 住むか住まないかは別として、心の中では柏崎に住みたいと思いますか。

- 1 住みたい 2 どちらかといえば住みたい 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば住みたくない 5 住みたくない

(22) 柏崎市以外に住みたいと思う都市はありますか。

- 1 首都圏 2 新潟市 3 長岡市 4 上越市 5 関西 6 ない
7 その他 ()

(23) 上記(22)の質問で答えた理由は何か。

- 1 経済的豊かさ 2 魅力的な進学先がある 3 魅力的な就職先がある
4 商業施設の充実 5 遊樂施設の充実 6 公共交通の充実
7 他都市へのあこがれ 8 友人・先輩がいる 9 親もとを離れたくない
10 その他 ()

(24) 柏崎にあなたが望む就職先・進学先があれば、柏崎に住み続けたいと思いますか。

- 1 思う 2 どちらかといえば思う 3 どちらともいえない
4 どちらかといえば思わない 5 思わない

(25) 家族が仲良く、ゆとりある生活を送るのに向いているのは次のうちどれだと思いますか。

- 1 首都圏 2 柏崎市 3 新潟市 4 長岡市 5 上越市 6 ない
7 その他 ()

(26) 今よりもっと暮らし向きが良くなった場合、あなたの柏崎に住みたいという思いは強くなりますか。

1 強くなる **2** どちらかといえば強くなる **3** 変わらない
4 どちらかといえば弱くなる **5** 弱くなる

(27) 自家用車がない場合に比べて、ある場合は、あなたの柏崎に住みたいという思いは強くなりますか。

1 強くなる **2** どちらかといえば強くなる **3** 変わらない
4 どちらかといえば弱くなる **5** 弱くなる

(28) 休日が多ければ多いほど、あなたの柏崎に住みたいという思いは強くなりますか。

1 強くなる **2** どちらかといえば強くなる **3** 変わらない
4 どちらかといえば弱くなる **5** 弱くなる

(29) あなたが思う柏崎の良い点は何ですか。(1～3つまで選択可)

1 山 **2** 海 **3** 人・地域 **4** 風景・景色 **5** お祭り・イベント **6** 図書館
7 博物館 **8** 商業施設 **9** 静かな住環境 **10** 原子力発電所
11 歴史・文化 **12** ない **13** その他 ()

(30) あなたが思う柏崎の悪い点は何ですか。(1～3つまで選択可)

1 にぎわいがないこと **2** 商業施設が少ないこと **3** バス・電車が少ないこと
4 近所付き合いが面倒なこと **5** すぐ嫌いな人がいること
6 遊び場が少ないこと **7** 働く場が少ないこと **8** 風・雨・雪
9 原子力発電所 **10** 閉鎖的 **11** ない
12 その他 ()

(31) 柏崎市にあるいくつかの図書館施設(所蔵数、座席数など)に満足していますか。

1 満足 **2** どちらかといえば満足 **3** どちらともいえない
どちらかといえば不満 **5** 不満

(32) ある調査によると、柏崎市の教養文化指数が高ポイントを得ています。あなたは柏崎の教養文化性に満足していますか。(教養文化指数・集会施設面積、図書館数、博物館数を人口で割ったもの)

1 満足 **2** どちらかといえば満足 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不満 **5** 不満

(33) ある調査によると、柏崎市の生活環境指数が高ポイントを得ています。あなたは柏崎の生活環境に満足していますか。(生活環境指数・道路舗装率、上下水道普及率、公園面積を指標としている)

1 満足 **2** どちらかといえば満足 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不満 **5** 不満

(34) 柏崎での生活は快適だと思いますか。

1 快適 **2** どちらかといえば快適 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不快 **5** 不快

(35) 柏崎市内での食材や日用品の買い物は便利だと思いますか。

1 便利 **2** どちらかといえば便利 **3** どちらともいえない
4 どちらかといえば不便 **5** 不便

(36) 中越沖地震での家屋の被害状況はどの程度でしたか。

1 全壊 **2** 大規模半壊 **3** 半壊 **4** 一部損壊 **5** 被害なし

(37) 中越沖地震が発生したとき、あなたはどこにいましたか。

1 市内 **2** 市内(旧西山町) **3** 市内(旧高柳町) **4** 刈羽村
5 県内(市外) **6** 県外(首都圏を除く) **7** 首都圏

(38) 中越沖地震について、あなたはどう感じましたか。(遠方の方もお答えください)

1 とても恐かった **2** まあまあ恐かった **3** わからない
4それほど恐くなかった **5** 全然恐くなかった

(39) わずか3年の間で柏崎は強い地震を2度も経験し、風評被害もあったわけですが、それによってあなたの**かしわざき**住みたい度のような影響を与えましたか。

- 1 住みたい気持ちが増した 2 住みたくなかった 3 変わらない
4 わからない

(40) あなたにとっての暮らしやすさとは何ですか。(1~3つまで選択可)

- 1 自然の豊かさ 2 静かな住環境 3 道路が整備されていること
4 買い物の便利さ 5 公園や広場が多いこと 6 公共交通の便利さ
7 治安の良さ 8 災害に強いこと 9 遊ぶ場が多いこと
10 経済的な豊かさ 11 にぎやかなこと 12 物価が安いこと
13 バリアフリーが浸透していること 14 その他 ()

(41) あなたはこれからの柏崎に何を望みますか。(1~3つまで選択可)

- 1 おしゃれな洋服店・雑貨店 2 遊楽施設 3 大型商業施設
4 レジャー施設 5 飲食店 6 公共交通の強化 7 自然環境の保持
8 働く場の創出 9 災害の安全性 10 静かな居住環境 11 教育施設
12 商店街の復興 13 子育て支援 14 医療機関の充実
15 介護福祉施設の充実 16 地域のつながり 17 農業の発達
18 水産業の発達 19 観光都市化 20 伝統・文化の継承
21 その他 ()

(42) 柏崎にどのような職種の企業があれば若者が増えると思いますか。(1~3つまで選択可)

- 1 医療関係 2 介護福祉関係 3 広告・出版関係 4 商社 5 マスコミ関係
6 製造業 7 観光・ホテル・旅行業 8 貿易・流通業 9 アパレル関係
10 IT関係 11 美容関係 12 金融・保険業 13 不動産業 14 建設業
15 電気・ガス・水道業 16 フード関係 17 レジャー産業
18 研究機関・シンクタンク 19 なにをしても増えない
20 わからない 21 その他 ()

(43) 将来柏崎市はどのような状態になると思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 若者に好かれるまちづくりをしている 2 過疎化が進む
3 お年寄りが増加する 4 基幹産業が整備される 5 農業が見直される
6 観光に力を入れるまちづくりをしている 7 便利で暮らしやすくなる
8 暮らし向きがよくなる 9 変わらない 10 わからない

(44) あなたが皆に柏崎を好きになってもらうまちづくりをすすめるとしたら、どんな施策を行いますか。1つだけ選んでください。

- 1 産業振興 2 災害対策 3 環境向上 4 子育て支援
5 高齢者・障害者福祉対策 6 公園・道路整備 7 学校教育強化
8 商業施設の充実 9 公共交通の強化 10 その他 ()

(45) UターンやIターン、Jターンをする際に、どのようなことがあればより多くの若者が柏崎に戻ってくると思いますか。1つだけ選んでください。

- 1 住民税等の一定額免除 2 住宅資金融資 3 転入奨励金 4 婚姻奨励金
5 求人情報の提供 6 生活情報の提供 7 子育て支援
8 地域の人たちの助け合い 9 歓迎する雰囲気
10 その他 ()